

基本情報

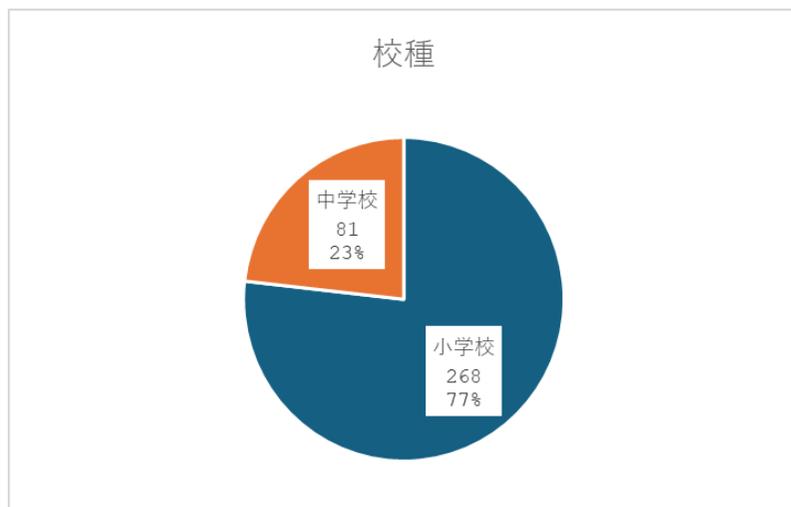
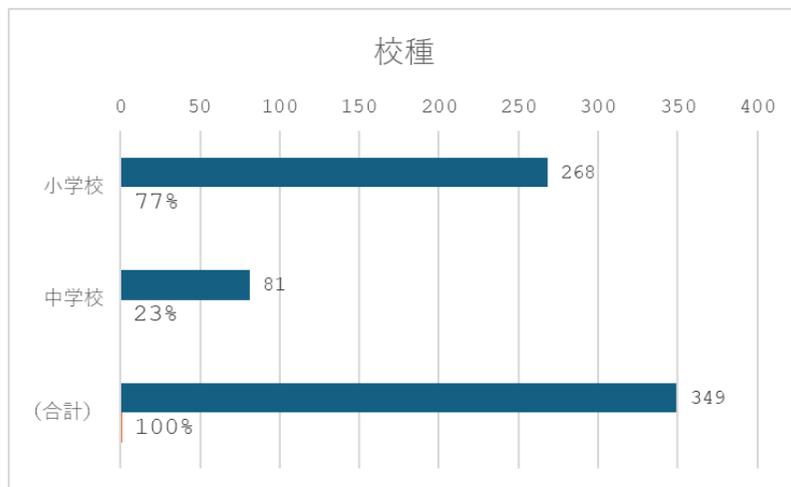
お子さまの校種を教えてください。

令和6年10月23日

第3回第三次多摩市特別支援教育推進計画有識者会議

資料1

校種	人数	割合
小学校	268	77%
中学校	81	23%
(合計)	349	100%

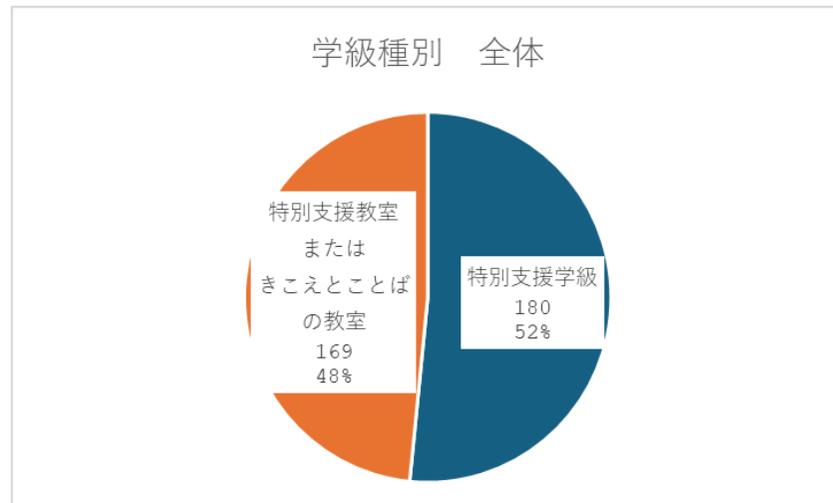
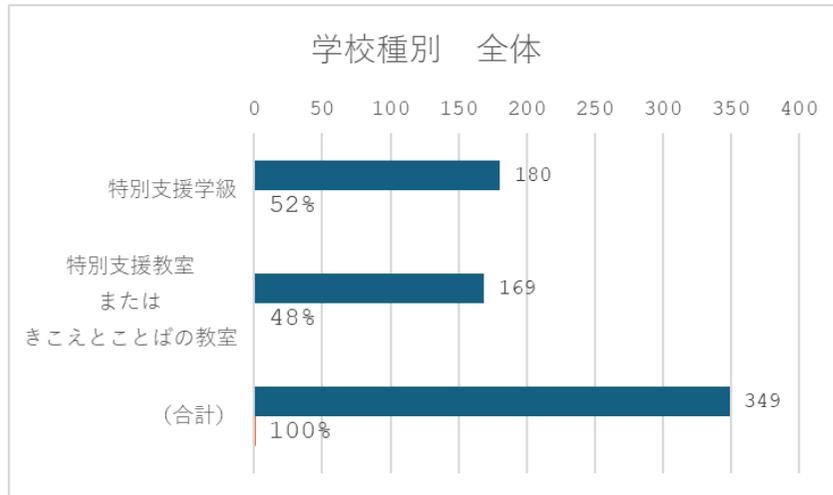


## 基本情報

お子さまの学級種別等を教えてください。

■全体（小学校・中学校 特別支援全体 349人）

学級種別	人数	割合
特別支援学級	180	52%
特別支援教室 または きこえとことばの教室	169	48%
(合計)	349	100%



- ・小学校でも約半数の特支教室も回答あり。
- ・小学の利用数からも、利用にあたっての理解は進んでいる、または利用にあたっての学校との意思疎通ができている、といえるか。
- ・中学は進学も控えており、より一層教室の保護者の意識が上がっているか

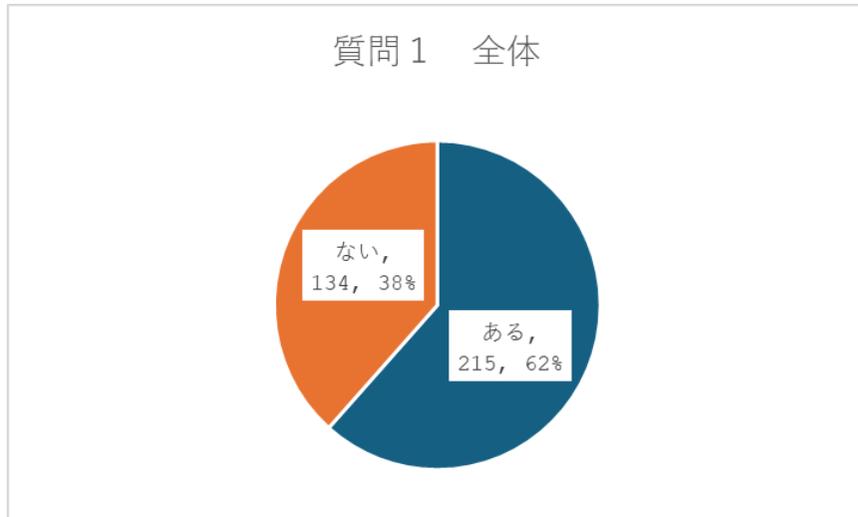
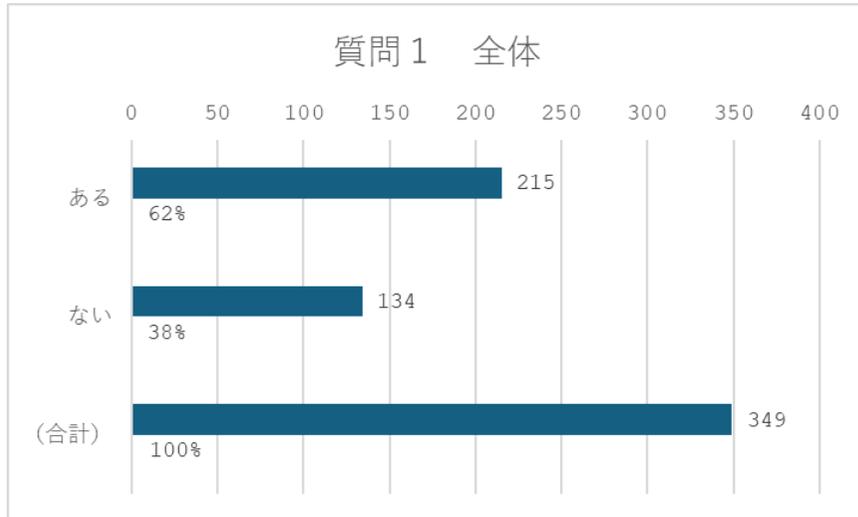
(1) 学校での個別的な配慮について

質問1 これまでに（在籍以来）学校が、学級全体への指導や支援とは別にお子様に対する具体的な配慮（以下、配慮）をしたことがありますか。

■全体（小学校・中学校 特別支援全体 349人）

	人数	割合
ある	215	62%
ない	134	38%
(合計)	349	100%

- ・小・中でみても配慮は6割・
- ・ないと答えた4割弱をどうみるか。※課題

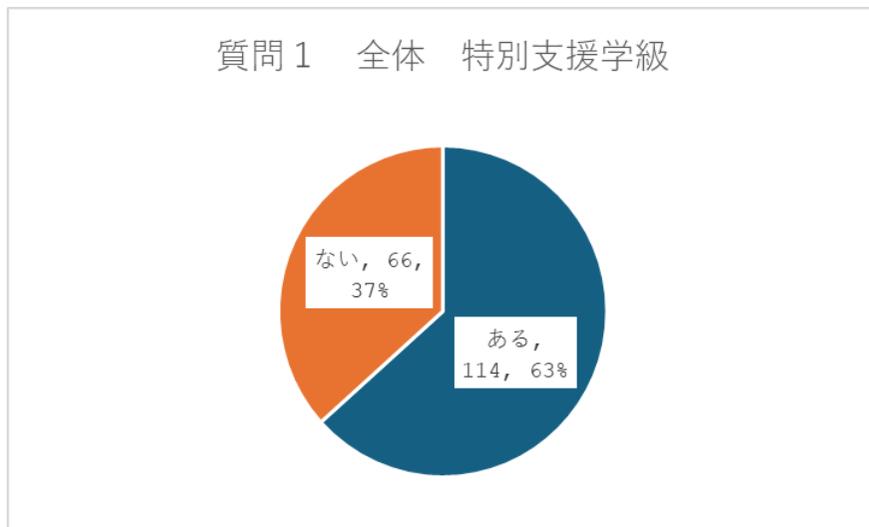
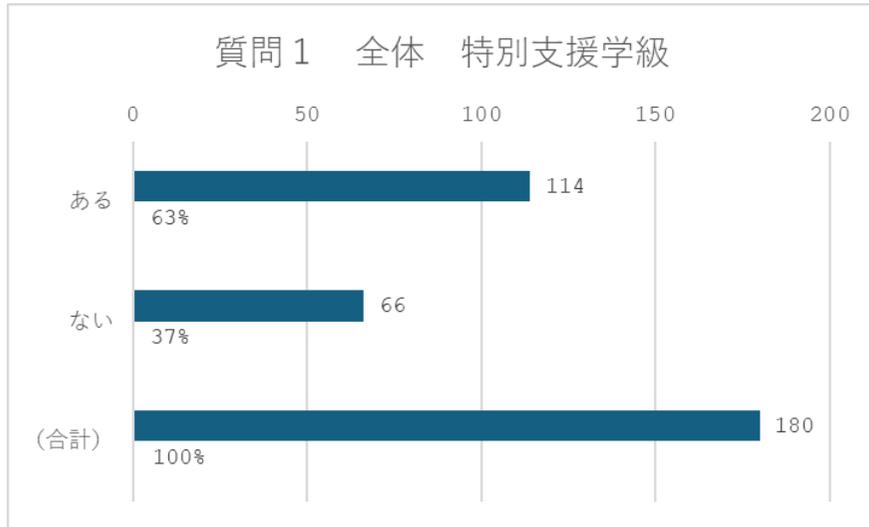


(1) 学校での個別的な配慮について

質問1 これまでに（在籍以来）学校が、学級全体への指導や支援とは別にお子様に対する具体的な配慮（以下、配慮）をしたことがありますか。

■特別支援学級（180人／小学校・特別支援全体 268人）

	人数	割合
ある	114	63%
ない	66	37%
(合計)	180	100%

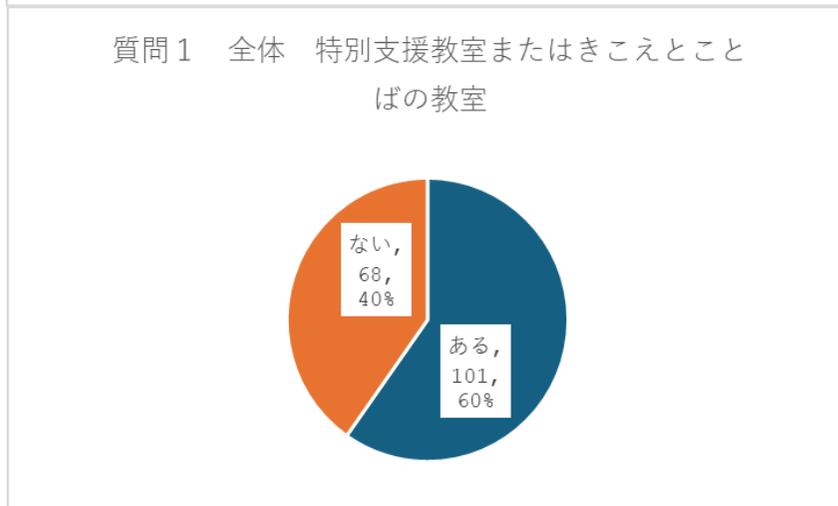
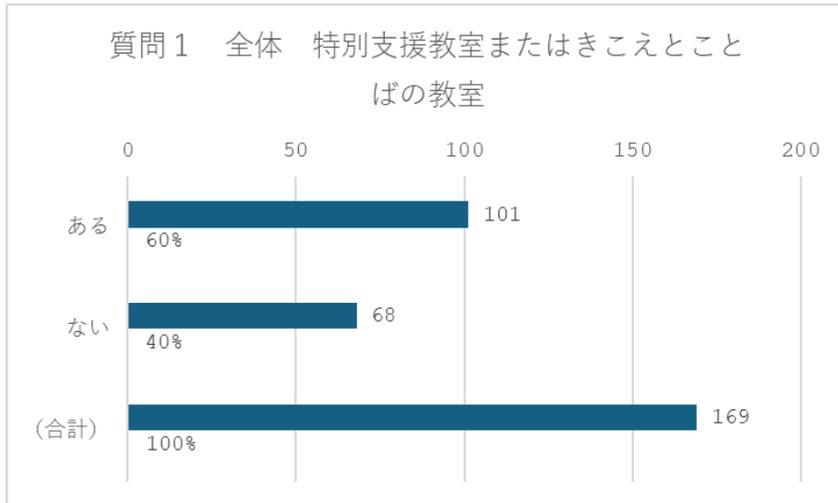


(1) 学校での個別的な配慮について

質問1 これまでに（在籍以来）学校が、学級全体への指導や支援とは別にお子様に対する具体的な配慮（以下、配慮）をしたことがありますか。

■特別支援教室またはきこえとことばの教室（169人／小学校・特別支援全体 268人）

	人数	割合
ある	101	60%
ない	68	40%
(合計)	169	100%



(1) 学校での個別的な配慮について

質問2 その配慮をするきっかけは何でしたか。

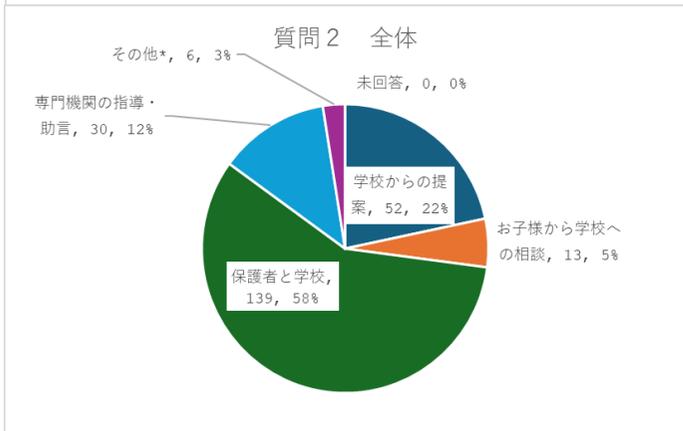
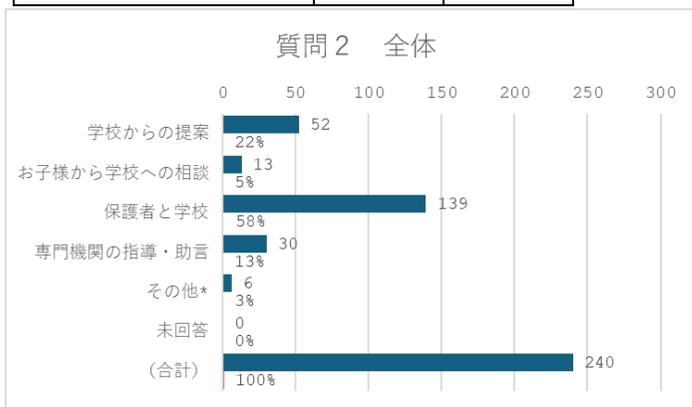
※質問1で「(学校側が配慮したことが)ある」と答えた回答者(215人/小学校・中学校 特別支援全体 349人)を対象

※複数回答を含む総数

■全体(215人/小・中 特別支援全体 349人) ※複数回答を含む総数

項目	回答数	割合
学校からの提案	52	22%
お子様から学校への相談	13	5%
保護者と学校	139	58%
専門機関の指導・助言	30	13%
その他*	6	3%
未回答	0	0%
(合計)	240	100%

\*その他の内容  
 担任の判断で始まっていた。子供から聞き  
 知りました。学校からの報告はなし。  
 学校での子供の様子を見て、先生の判断など  
 子供と先生との相談  
 ことばの教室との相談



★どの種別、小・中別でも、保護者と学校の面談が半数を占めている。  
 保護者との疎通は取れているといえるか？

(1) 学校での個別的な配慮について

質問2 その配慮をするきっかけは何でしたか。

■全体 特別支援学級 (114人/小・中 支援学級全体 180人) ※複数回答を含む総数

項目	回答数	割合
学校からの提案	30	22%
お子様から学校への相談	12	9%
保護者と学校	77	57%
専門機関の指導・助言	13	10%
その他*	2	1%
未回答	0	0%
(合計)	134	100%

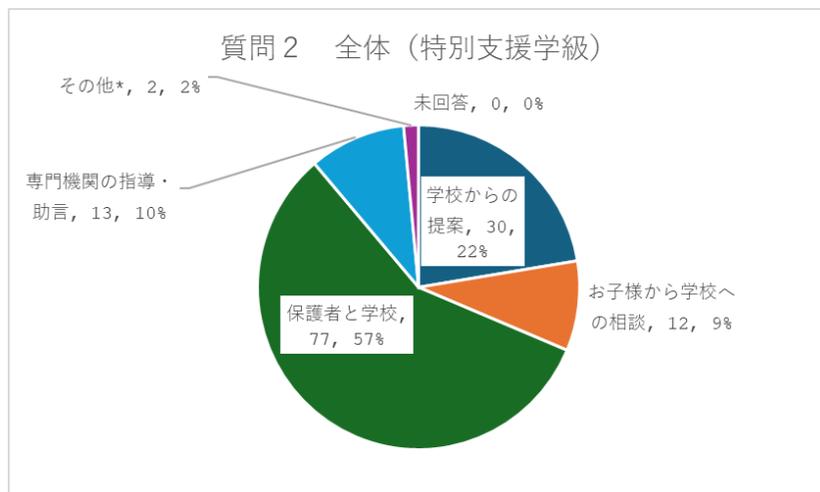
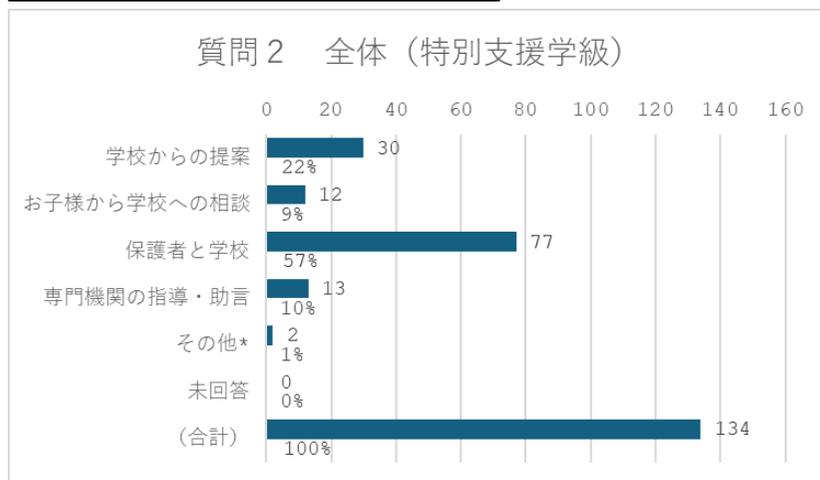
その他\*

子供と先生との相談

・中学になると、特に学級の子は自分の苦手をよく理解できるようになるからか

自分から提案する率が上がる？

実数としては「4」なので、そこまでいえるか？



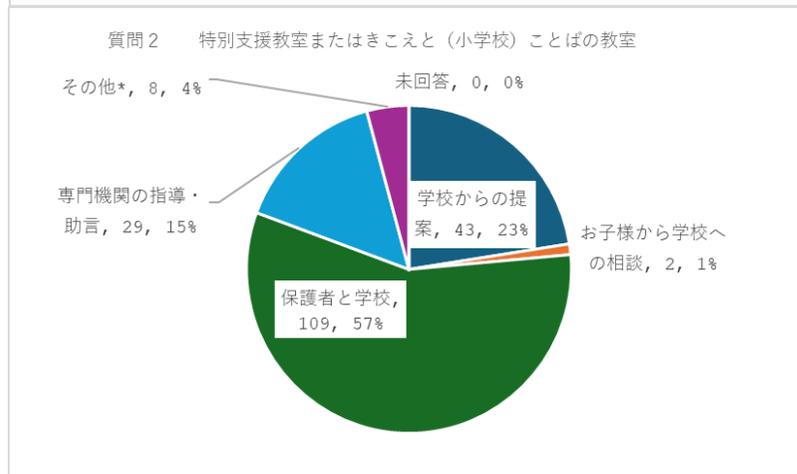
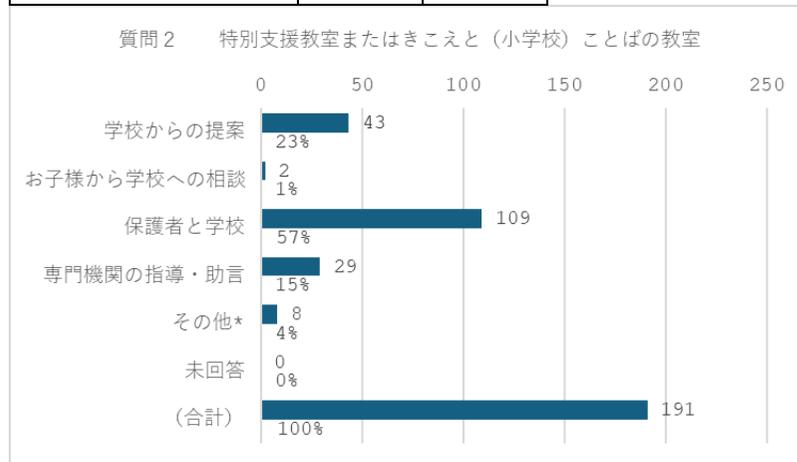
(1) 学校での個別的な配慮について

質問2 その配慮をするきっかけは何でしたか。

■全体 特別支援教室またはきこえとことばの教室（101人／小・中 支援教室等全体 169人）※複数回答を含む総数

項目	回答数	割合
学校からの提案	43	23%
お子様から学校への相談	2	1%
保護者と学校	109	57%
専門機関の指導・助言	29	15%
その他*	8	4%
未回答	0	0%
(合計)	191	100%

その他\*  
担任の判断で始まっていた。子供から聞き  
知りました。学校からの報告はなし。  
学校での子供の様子を見て、先生の判断など  
ことばの教室との相談



(1) 学校での個別的な配慮について

質問3 どのような配慮内容でしたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援学級)

※質問1で「(学校側が配慮したことが) ある」と答えた回答者(215人/小学校・中学校 特別支援全体 349人)を対象

※自由記述のため、未記載者あり

■小学校 特別支援学級(学校側からの配慮を経験した 83人 / 小学校・特別支援全体 129人)

まとめ(暫定 4 カテゴリー:「授業参加」「授業参加/学校生活」「学校生活」「就学環境調整」)

"※カテゴリー(暫定)

- ・授業参加:教材や学習面、学習環境等に関する手立て(主に授業参加に関わる内容)
- ・学校生活:対人面、行動(計画)面、登校面等に関する手立て(授業に関する内容は「授業参加」を優位)
- ・就学環境調整:就学に関わる相談等(外部機関を含む)

(\*その他:上記に該当しないもの)"

No.	カテゴリー	配慮内容
1	授業参加	・タブレット活用の宿題方法の工夫 ・テスト解答時のヒントの出し方 ・授業に集中できないときは公文の宿題をする
2	授業参加	テストの時に問題文を読んでほしい
3	授業参加	一斉指示が通らないので、配慮してもらうよう担任に相談
4	授業参加	漢字の学習でなぞり書きができるように担任が記入してくれていた
5	授業参加	集団や通常級と一緒にいる時、イヤーマフを使う さわがしい子とはなれた席にしてもらう
6	授業参加	教室へ入れない為、廊下においても他学級から見えないようにパーテーションを設置してくれた 宿題をやる時だけに配慮してくれた 文字を書く量を減らし、タブレット活用
7	授業参加	文字を書くのが苦手で、書字障害の疑いがあるとドクターより言われたことを学校に伝え、 連絡ノートをコピー版にしたり、

(1) 学校での個別的な配慮について

質問3 どのような配慮内容でしたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援学級)

		宿題等でも文字を書く機会を減らし、 本人が取り組みやすいようにしている
8	授業参加	授業時間以外での先生と本人に 1:1 での対応 テスト中に、先生からの助言
9	授業参加	家で宿題をしない為、放課後、担任の先生が見てくださる事になりました
10	授業参加	学習障害。 目と耳、両方の情報がないと理解が難しい。 集団行動がなかなかできない。
11	授業参加	一斉指示が通りにくいので、前の座席にしてもらう。 個別に声かけ
12	授業参加	・口頭で指示を受ける事が苦手で、視覚的表示の方が意識しやすく、実物やイラストを提示しながら、指示をしてもらうと理解しやすいのでお願いしました。 (授業で使う教科書とノートを見せながら、準備を指示など) ・見通しがつかない事に不安を感じるので、1日の予定をイラストと文字などで表示してもらい、終わった予定は消したり、?印をして、これから何をするのかを意識できるようにお願いしました。 ・物事の切り替えが苦手なので、タイムタイマーなどで終わりが視覚的に表示される物で、終わりを意識できるようにお願いしました。
13	授業参加	板書よりも授業の理解を優先させてほしい  集中力の持続が難しいので、前列の席にしてほしい  宿題の量の調整など
14	授業参加	席を一番前にして、先生の目が届きやすいようにしてもらう
15	授業参加	ルールを守ることにこだわってしまう特性があるが、クラス内に行動の気になる子(ルールを無視してしまうなど)がいて、授業に集中できなかったためパーテーションで視界を遮ってもらった。
16	授業参加	集中力が足りないため、学級の席を前列にしてくれた。
17	授業参加	全体指示が通りにくい、集中力にける息子に対し、それにちょうどよい指導をしてくれる方向性を示してくれた

(1) 学校での個別的な配慮について

質問3 どのような配慮内容でしたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援学級)

18	授業参加	授業で習うリコーダーについていけず、音楽会への参加が難しそうな時、担任が授業外で個別にゆっくり教えてくれ、本人も投げ出さず最後までやり遂げられた。
19	授業参加	言われた指示をり会し易いように、1番前の席にしてもらう。
20	授業参加	こどもの為を思慮した授業への取り組み方など
21	授業参加	① 子供が相手が話している言葉の意味が、理解出来ない事が多いですが、先生が子供にわかりやすく話して下さっています。
22	授業参加	体育の授業に参加しづらい特性の為、配慮をお願いしました。
23	授業参加	長時間座って居られない息子に対し、課題が終わったらクールダウンエリアに行っても良い。と言って頂けた。
24	授業参加	漢字の止め、ハネや、漢字の形にとらわれず、書けた事を褒め、勉強に対する意欲をなくさない配慮。 席を前の方にし、先生の目が届きやすい位置に座る。 ノートなどが書き取れない場合、必要な所だけ、先生と一緒に書き写す。 テストで文章が理解出来ない場合、先生が読んで、意味を解説して、答えを導き出す。
25	授業参加	学校の授業で理解できない内容など、 特別学級で日常生活と結びつけながら教えてくれたり、興味を持てるように誘導してくれているように感じる
26	授業参加	机にパーテーションをつけて頂いた。
27	授業参加	通常級での理科、社会の授業への参加
28	授業参加	具体的には忘れましたが担任が子供の特性に配慮した方法を試してくれたり助言をくれたりした。
29	授業参加	不登校状態 ・別室で先生と一対一で学習する。 ・放課後に先生と一対一で学習する時間を設ける。 ・宿題はなし
30	授業参加	家で宿題をしない為、放課後、担任の先生が見てくださる事になりました
No.	カテゴリー	配慮内容
1	授業参加 学校生活	本人がスッポリ入れる位大きなダンボール箱を置いてもらった 教室内で気持ちが落ち着くまで入らせて頂いてました

(1) 学校での個別的な配慮について

質問3 どのような配慮内容でしたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援学級)

2	授業参加 学校生活	読み書き、計算の定着に時間がかかるため、 問題や読む場面を少なくし、 達成感を持たせ自信をつけていく 困っていても助けを求めることが苦手だったので、 ヘルプカードを持たせてもらい、 辛くなったら別室で過ごせるようにする 時々音に敏感になるため、 イヤマフを持参ししんどくなったら身に着けるようにした
3	授業参加 学校生活	嫌な感情が高まると教室の外に飛び出してしまうので、クールダウンしたい時のルールを本人と先生で決めた (一声先生にかける、教室内の決まった場所でクールダウンする、等)
4	授業参加 学校生活	本人の特性に対して、個別に対応いただいた
5	授業参加 学校生活	子どもがイライラしたときのルール化やクールダウン出来る場所を決めたりしていただきました
6	学校生活 授業参加	1 担任の先生からの提案 着席時にじっと座ってられず、お尻の位置を変えたり片足を入れたりしていて落ち着かなかった。クッションを入れますとってエアクッションを入れて下さった。(しかも面談で説明を受けてすぐに) 本人は落ち着くようで、姿勢が安定したようだった。更に、落ち着いた様子を見てクッションを外して下さった。  2 子供からの相談 1年生なりたての頃、宿題を楽しみにしていたが、まだなかった。 連絡ノートで事情を説明するとすぐに翌日から宿題を出して下さった。 本人は大喜びで、より前向きに学習に取り組むようになった。  3 親からの提案 毎日日直をやりたいと聞かず、授業のスムーズな流れを遮断してしまっていた。

(1) 学校での個別的な配慮について

質問3 どのような配慮内容でしたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援学級)

		面談時に、“日直以外に何か役割を与えたら納得するのでは”と伝え、翌日からクラス全員に役割が与えられた。 本人は自分の仕事ができ日直に固執しなくなった。
7	授業参加 学校生活	気持ちカード、宿題の軽減、課題をクリアできた時のハンドサイン
8	授業参加 学校生活	気持ちが不安定な時にクールダウンとして教室から離れるが辛かった時があり、教室が見える位置にクールダウンスペースを用意していただきました。また、本人が学校生活に必要なアイテムの提案（落ち着くためのブランケット・イヤーマフ・書字をサポートするグッズ）もいただきました。 また宿題も書くことが苦手なので量を減らしたり、本人が興味のある絵柄を用いたプリントを宿題として用意していただきました。
9	学校生活 授業参加	??個別の箸、スプーンフォークの持参 ??一度に沢山の情報が(学習プリント含む) 視覚に入るとパニックになる為、プリントを折って目に入る量を減らしてもらう ??自分の気持ちや意思を言葉にするのが苦手な為、ホワイトボードを活用し先生に分かりやすく伝えられる工夫 ??情緒の安定のためセンサーグッズの持ち込み
10	授業参加 学校生活	整理整頓が苦手なため声掛けをしたりプリントを一緒にまとめる等手伝ってもらった。不安が大きいときは話を聞いてもらっていた。
No.	カテゴリー	配慮内容
1	学校生活	同じクラスの仲良かった子に、友達やめる！とか、先生やママに言っちゃダメと言ってきつい言葉を言われたり、反省しろ！！と言われたりしていた事を子供から私に報告があり、先生に相談しました しばらくの間、2人きりにならないようにしてくれました
2	学校生活	落ち着いて過ごせるためのクールダウンスペースの増設 具体的には、教室の一部に簡易的なしきりと敷物を用いてスペースを作ってくださいました
3	学校生活	中休みまでにおなか为空いてしまうため、おにぎりを（小さいもの）持参する 他の子供たちに見えない場所で食べさせてもらっていました
4	学校生活	・「一番がいい」とこだわりが強く、先生から、その都度、くり返し指導して下さっています ・自由時間でないのに、自由帳へのお絵かきを許可して下さっている（算数や国語の時間など）
5	学校生活	子供が苦手なこと（切替え、大きな音、食べ物の好き嫌いなど）への対応
6	学校生活	困っていてもきいたり相談することができないことがあるので、困っていないか気にかけてもらいたい

(1) 学校での個別的な配慮について

質問3 どのような配慮内容でしたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援学級)

7	学校生活	落ち着きがなくなったり、テンションが高くなりすぎてふざけてしまって集団の中でむずかしくなったり… 大勢の中での活動を嫌がりできなくなったので無理なくできるように病院の先生の助言ももらい先生とも相談し対応してもらった
8	学校生活	遅刻、無断欠席等に対してなども含め、時間の使い方など
9	学校生活	不安を感じた時に和らげる。
10	学校生活	・排泄感覚の弱さからの失敗を防ぐ声かけ ・強い疲労感を軽減するための休憩の取り方に関する配慮 ・ストレスレグによる起立姿勢の維持の困難さから朝会などで座るまたは歩き回ることへの許可(許可を得るような問題でも無いと感じますが)
11	学校生活	登下校について 友だち関係について
12	学校生活	トイレに強いこだわりや不安があり、付き添いと見守りをしています。
13	学校生活	聴覚過敏があるが、昇降口が騒がしく登下校時に通ることが負担だった。そのため静かな場所で履き替えが出来るようにしてもらった。
14	学校生活	小学校にドラムセットが無かった為、学級の先生が音楽の先生に相談して下さったところ、丁度捨てようと思っていたからと学校に持って来て下さいました。たまに休み時間に叩かせて頂いています。
15	学校生活	感情がコントロール出来なくなった時の逃げ場を用意してくれた
16	学校生活	本人の気持ちをくみとる
17	学校生活	休み時間に外で遊ぶ時など、教員がそばについて行動を見守るようにしています。
18	学校生活	教室に入れない子供を慣らすために、玄関で付き添ってもらって、校内に入るのに鳴らした。
19	学校生活	知的以外に病気もあるので、どうやったら楽しく学校生活ができるか、考えてくれています。
20	学校生活	息子は人が大好きで、お友達と先生がお話している時でも、状況(今は、先生が他のお友達とお話しているから、少し待ってようとか)を確認せずに、その時に自分が思った事を割り込んで話をしてしまう事について相談しました。  そしたら先生は「皆 そうだから気にしなくて良いですよ」と納得させてくれました。
21	学校生活	微細な日常の出来事から行事に関わることまで。 その出来事毎の子供の心象風景から、常に連絡帳で共有させてもらい、必要な声かけ、アクションをして頂きました。

(1) 学校での個別的な配慮について

質問3 どのような配慮内容でしたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援学級)

22	学校生活	<p>こだわりが強い息子で「先生や友達の名前を言えないこだわり」が入学当初からありました。</p> <p>それに対して担任の先生が、先生一人一人に動物のあだ名を息子と一緒に考えてくれて(ねこ先生、ひつじ先生、など)先生方をあだ名で呼ばせていただきました。</p> <p>お友達の名前は、先生が毎回一文字ずつ息子と交互に言ってくれたり(先生→「た」息子→「ろ」先生→「う」…という感じ)根気強く付き合っていました。</p> <p>おかげで、3年生になった今では(まだ少し言いにくそうにする場面はあるものの)どの人の名前も9割方言える様になりました。</p> <p>更に、学校の生徒用トイレで排便が出来ないこだわりもあり(騒がしい、ウォシュレットがない、などの理由で。おしっこは出来てます)便意が来ると我慢してしまい、その後の活動に支障が出てしまう(いつも以上にボーっとする、イライラするなど)でしたが</p> <p>担任の先生が校長先生に許可をとっていただき、子供達の教室から離れた職員室近くのウォシュレット付きのお客様トイレを貸していただけただけで、学校で便意が来ても1人でサラッと行き、またすぐに活動に戻れるようになりました。</p>
23	学校生活	<p>子供だけでは対処が難しい時に特別支援学級の先生に子供の様子を見て頂きアドバイスなども子供にして頂いた。</p>
24	学校生活	<p>無理に学校に行かなくていい。</p> <p>遅刻してもいい。給食食べに来るだけでもいい。</p> <p>と子どもが登校しやすいように声かけさしてくれた。</p>
25	学校生活	<p>気持ちのコントロール</p>
26	学校生活	<p>トイレのサポート、給食時のサポートなど。</p>
27	学校生活	<p>入学式のリハーサルに風邪で出席できなかったが、当日の朝、リハーサルを行ってもらった。</p> <p>入学式の流れをタブレットで画像などで見せてもらい、説明してもらった。上履きを履けなかったが、裸足でも大丈夫と安心できるよう声掛けをしてもらった。式の間、母が付き添いをする事、式の途中で教室に戻ることを許可してもらった。</p>
28	学校生活	<p>給食での牛乳が瓶になった時に飲まなくなり、</p> <p>ストローの使用を提案してもらい飲めるようになりました。</p> <p>授業中に動かずに座ってられないと言われ、</p> <p>机の足にゴムをつけて対応してもらった。</p>
29	学校生活	<p>登下校に付き添いをしなくても、遅刻、早退ができる</p>

(1) 学校での個別的な配慮について

質問3 どのような配慮内容でしたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援学級)

No.	カテゴリー	配慮内容
1	就学環境調整	登校があまりできず（母親が送迎できずにいたため）スクールソーシャルワーカーとのつながりを作ってくれました
2	就学環境調整	文字の見方がおかしく、担任の先生が気づいてくれ、子供も学級に行きたいと話していたため
3	就学環境調整	特別支援学級に通うにあたり、その教室内の見学、内容説明、流れについてを教えてもらい、子ども自身も通いたいと思うようにさせて頂いた
4	就学環境調整	特別支援学級に通うにあたり、その教室内の見学、内容説明、流れについてを教えてもらい、子ども自身も通いたいと思うようにさせて頂いた
5	就学環境調整	・日本語指導員の配置（帰国子女のため） ・宿題の軽減 ・特別支援級への転学
6	就学環境調整	転学前の学校での不登校（聴覚過敏、子供が先生を怖い存在と思っていた為、先生と子供の信頼関係の回復）をお話しし、（転学先の学校の先生）配慮としていただきました
7	就学環境調整	wisc など検査の案内
8	就学環境調整	おおぞら教室の紹介、にじ組への転入をすすめられた。
9	就学環境調整	知能検査や特別支援教室についての案内

★個別的な配慮では、前の席にする、予定変更を前もって伝えるなどの取り組み意欲に関連するものあり。

(1) 学校での個別的な配慮について

質問3 どのような配慮内容でしたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

☑小学校 特別支援教室またはきこえとことばの教室 (学校側からの配慮を経験した 85人 / 小学校・支援教室等全体 139人)

まとめ (暫定 5 カテゴリー:「授業参加」「授業参加/学校生活」「学校生活」「就学環境調整」「その他」)

※カテゴリー (暫定) の観点

- ・ 授業参加：教材や学習面、学習環境等に関する手立て (主に授業参加に関わる内容)
  - ・ 学校生活：対人面、行動 (計画) 面、登校面等に関する手立て (授業に関する内容は「授業参加」を優位)
  - ・ 就学環境調整：外部機関への相談等
- (\*その他：上記に該当しないもの)

No.	カテゴリー	配慮内容
1	授業参加	一番前の席での目配り 連絡帳 (市販のもの) が書けない (あきらめる) ので国算…○持…など丸するだけ、書く量が少ない連絡帳を手作りいただいている 写真を送ってきてくれる
2	授業参加	小3の息子は小1秋から不登校で母子分離不安 (病院でも診断済) があります。以下の3点を配慮していただきました。 ①小2春～夏休み前まで特別支援教室に母子同室で通った (結局秋から行かなくなった) ②小3夏に「図工なら行けるかも」と本人が言ったので、母子別室で行けました ③遠足に母子同伴で参加できました
3	授業参加	・ 通常級に特別支援教室の先生が時々様子を見に来てくれ、その様子について、フィードバックしてもらってます ・ 通常学級の担任が特別支援教室の先生とのやり取りを頂き、クラスでも様子見て配慮いただけてます
4	授業参加	書字に困難があるので書字の量を減らす タブレットの活用、 漢字テストなどは選択式や読みの確認に変える 気持ちを表すカードの提示によるやりとり 病院の療育指導に来ていただきました
5	授業参加	教室の席の位置 離席に対する対応

(1) 学校での個別的な配慮について

質問3 どのような配慮内容でしたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

		姿勢保持への対応 座席に滑り止めを敷く
6	授業参加	小1の時に、読み飛ばしや書く字が大きかったり小さかったりと指摘を受けて、兄が病院を利用していたので、ビジョントレーニングを始めました その事もきっかけで、席は前列で先生が、こまめにチェックしてくれていました
7	授業参加	テストの問題文読み上げ（先生が横で代読して下さる） 板書をタブレットでの撮影で代用 席を一番前にして先生からの指示が通りやすくする
8	授業参加	板書が嫌がってできないことに対して、担任から個別にタブレットを利用してとりくみやすいように配慮してもらった
9	授業参加	不登校気味となり、担任からの電話等のサポート 短時間でも行けるような支援など
10	授業参加	きこえとことばの教室で担当していただいている先生から、日誌でアドバイスを記して、それを学校の担任の先生が実施してくれているかと思えます
11	授業参加	在籍学級の席を一番前にして先生の目の届くところに配置された
12	授業参加	入学前に専門機関より座席の配慮の依頼や、子どもの特性など相談できる事があると伺ったので、入学前に面談させてもらい、心配な点などを聞いて頂きました 座席は、担任の先生の目が届きやすい席で、過ごさせています
13	授業参加	クラスでの席順 (配慮してるとは言われていないが、おそらく配慮してくれてると思う)
14	授業参加	席を前方にする
15	授業参加	特別支援教室を利用していた時、援助要請が苦手な時期があったので、席を先生の目が届く位置にしてもらいました その後は周りの様子を見られる様に後ろの席にしたり、その時の状況にあわせて対応を変えていってもらいました
16	授業参加	漢字50問テストを書きから読みに変更してくれた。
17	授業参加	集中できるような座席配置
18	授業参加	整理整頓がしやすいような配慮 座席の位置の配慮

(1) 学校での個別的な配慮について

質問3 どのような配慮内容でしたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

19	授業参加	国語の教科書はルビつきの物を印刷してもらい使用している。
20	授業参加	低学年の時、板書をやりたがらない子に対して、前の方の席で先生に声がけをしてもらいながら書く量を少なめに過ごしました。宿題も漢字練習は他の子の半分くらいで提出しつづけさせてもらいました。
21	授業参加	座席の指定 授業中の行動、やることがないときに読書やドリルをする、など
22	授業参加	前の席に座る 人の話を最後まできく練習
23	授業参加	○一番前の席にする ○イスにゴムバンドのようなものをつける ○デイリーレポートカードに日々の課題の評価をつける
24	授業参加	気がちりやすいので席を前の方にする  全体での指示が通りにくいので個別に声をかけてもらう
25	授業参加	授業中何もせず、動かないときは声をかけて貰う。 日直で無理に声を出さなくても良いようにする
26	授業参加	席を一番前にしていた。
27	授業参加	音楽室に入ることができず、担任の先生から本人が快く入れるようにどのような環境を整えたら良いかというご相談をいただきました。慣れるまでは先生と一緒に入り口まで連れて行ってくださったりしていただきました。
28	授業参加	宿題の量の調整をお願いしました。具体的には、出されている3つの宿題のうち、1つだけ取り組むというような、宿題量を減らしてもらうことです
29	授業参加	・算数の計算の理解速度 ・記号の理解能力
30	授業参加	集中力が足りない。
31	授業参加	支援教室の後、個別に補足授業をしていただいた。 急な変更弱いので、前もって説明して頂いたり、やむを得ないときは気持ちが整理できるようピアティーチャーをつけて対応していただいた。

(1) 学校での個別的な配慮について

質問3 どのような配慮内容でしたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

32	授業参加	席を前にしてもらう 宿題の量を減らす
33	授業参加	教室の席を前の方にする。
34	授業参加	個別の声掛け・注意の促し・指先の不器用さを考慮した漢字の採点
35	授業参加	先生が口頭で説明したことを、黒板に書いて確認出来るようにしてくれたり、席を一番前にして分からないことがあればすぐ質問出来る環境を作ってくれました。
36	授業参加	吃音に対する理解授業を学年単位でしていただいた。
37	授業参加	特別支援教室に登校する・すごす・オンライン授業をうける。
38	授業参加	書字障害があり、漢字の書き取りの宿題が大きな負荷だったが、かかりつけの病院の心理士の助言で、紙に書く代わりに、書き取りの一部をアプリで指なぞりを繰り返す方法にしてもらえよう相談し、受け入れていただいた
39	授業参加	タイマー、ノートへのメモで視覚的に時間や活動内容がわかるようにしている。座席の位置を前方にってもらう。机の上に必要なものしか置かない。
40	授業参加	気が散りやすく、短期記憶も低めな為一斉指示が通りづらいので、席を前方にしてもらいました。 また、席は比較的落ち着いて過ごせる子の隣などにしてもらいました。
41	授業参加	座席を前にしてもらう。板書への配慮。
42	授業参加	発表の時の言葉が、言いやすいかどうか、本人に確認
43	授業参加	席替えのたびに本人がより集中できる場所を検討していただいた(一番前の列?窓側?廊下側等)。
44	授業参加	・座席を前にする ・書字障害に対して、板書書き写しの減免 ・宿題の調整(本人のできる範囲) ・授業中の声かけなど
45	授業参加	手先を使った動作をたくさんして下さるよう配慮いただきました。
46	授業参加	・出される宿題の量に対応できなかったため、少ない量で対応していただいた。 ・教室内の座席配置について、前方の席で担任の先生の目の行き届く範囲で助言を受ける。
47	授業参加	全体の声掛けの後個別で声掛けしていただいていた
48	授業参加	発表や日記などの文章を書くのに、とても時間がかかったり、書くことができなかつたりしたため、先生が代わりに書いたりしていた

(1) 学校での個別的な配慮について

質問3 どのような配慮内容でしたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

49	授業参加	補聴器をつけているため、座席の配慮や、椅子にテニスボールなどをつけてくれたりなどの配慮をしていただきました
No.	カテゴリー	配慮内容
1	授業参加 学校生活	スクイーズやタイマーの持参
2	授業参加 学校生活	登校しぶり→保健室と特別支援教室ですごく 教室が苦手
3	授業参加 学校生活	困ったときやわからないときにヘルプを出すことが難しいことがあるため、本人がどんなところに困ったり、どんなサインを示すか、それらに対してどのような支援ができるかを考えました。学級では、字に書いて説明したり、先生の近くに座ったり、声をかけるなどをさせていただきました。
4	授業参加 学校生活	本人の休憩を取りたい時間の制限の一旦停止、ステップアップの内容の見直し。また、登校についてはペースを緩め、短時間登校や支援教室への登校のみ、といった配慮をしていただきました。
5	授業参加 学校生活	授業中の待ち時間にプリントを貰える(暇だと手の皮を剥くため) テストの裏に絵を描いて良い 手慰みグッズ持ち込み可 登校時に玄関で時間になるまで座ってて良い
6	授業参加 学校生活	授業中ずっと座っていられなかったり、興味のない授業だと違うことをしてしまっていた。 授業中に立ち歩いてしまうことについて本人に理由を聞くと『教室の音でしんどくなる』と言っていたので、先生が申告すれば教室を出て休憩してきて良いと言ってくれた。決めた時間に戻ってくるように伝えと、時間通りにリフレッシュして戻ってきたそうです。 授業中、違うことをしていると周りのお友達が気になってしまうので、授業とは別の静かに集中出来る本やドリルを持たせても良い事にして頂きました。
7	授業参加 学校生活	席の位置、 落ち着かない時のクールダウン(水を飲みに行く、別室に行くなど)
8	授業参加 学校生活	・心が落ち着かないときに、適宜クールダウンする(廊下に出たり、クールダウンの部屋や保健室で少し休んでから教室に戻る)。 ・クイズ係(問題を出す役割)を担当していたが、相手にわかりづらい表現をすることが多かったので、発表前に担任と相談し、回答を3択にしたり、他の児童にも理解しやすい表現に変更するなど毎回一緒に考えてもらっていた。

(1) 学校での個別的な配慮について

質問3 どのような配慮内容でしたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

9	授業参加 学校生活	持ち物をお道具箱とランドセルだけでは管理しきれないので、専用のボックスを用意してもらい、一時保存する。また、座席はできるだけ集中できるよう仲の良い子とは離れた席や、手の行き届きやすい前の方にしてもらおう。連絡ノートを通して、子どもの様子やクラスでの過ごし方について細かくかつ定期的にご報告いただく。授業が退屈で放棄してしまうことがあったので、その際は自宅から持たせたドリルの実施を許可していただく。連絡ノートを書き忘れがちなもののためにドリルに直接「○月?日宿題はここ」など先生が書き込んで持ち帰らせてくれる。。など、多くの配慮をいただいています。
10	授業参加 学校生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校指定の体操服の着心地が苦手なので、着慣れた幼稚園の体操服を着る事になった。</li> <li>・給食当番の三角巾や帽子を被りたくなく、赤白帽子を被ることにした。</li> <li>・入学式の予行練習をさせてもらえた。</li> <li>・初めての事が苦手なので、入学式では親が付き添わせてもらえた。</li> <li>・子どもが困った時の、子どもからの援助要請の方法を考えてもらえた。(手を挙げるなど)</li> <li>・大きな音が苦手なので、イヤーマフを持っていかせてもらった。</li> </ul>
11	授業参加 学校生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食のおかずが混ざると食べられないので別皿によそう(小1)</li> <li>・給食を食べられないので弁当持参(小2～)</li> <li>・吃音についてクラスへの周知</li> <li>・吃音と弁当持参について、クラスメイトから質問された時の説明用絵本の持参許可</li> <li>・宿題の書字量軽減</li> <li>・タブレットでの板書撮影許可</li> <li>・DCD 向けのリコーダーや補助具使用許可</li> </ul>
No.	カテゴリー	配慮内容
1	学校生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスの子の声等で不安を感じた時、保健室や廊下に出ること</li> <li>・不安を感じない授業に出る</li> <li>・給食を保健室でとる</li> </ul>
2	学校生活	<p>緊張して困ったことがあった際、先生に SOS を言葉で出せない為、悲しい失敗を何度かしていたので、担任の先生をはじめ、一年担当をされている教師の方に手をあげたり、目線を送ったり、先生のそばにまず行ける事と、本人が話せる様に雰囲気を作って下さったりしてくれました。</p> <p>(声の出し方や子供と目線の高さにしゃがむなども)</p> <p>また、気軽に声かけもして頂きながら、話せる環境をご配慮下さいました</p>

(1) 学校での個別的な配慮について

質問3 どのような配慮内容でしたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

3	学校生活	友達とのけんかの仲介
4	学校生活	はなをほじってしまいクラスメイトから避けられるようなことがあったが、手が空いてしまうとソワソワしそのような行動に出ると判断してくださり、スクイズのようなものを手がソワソワしたときは渡してくれていた
5	学校生活	友達とのコミュニケーション 言葉の代弁など
6	学校生活	ポイントカードのような物を作り、人に優しくできたり、優しい言葉を使えたら丸を書いてポイントがたまるというもの
7	学校生活	授業中、不安や緊張が見られる際、ぼうしをかぶって周りからの視線から逃れるようにしていたのを見た担任が、ぼうしをかぶることを許可してくれた その後も度々ぼうしをかぶることで発表やグループ活動にも参加できていた 担任が電話にてそのような現状を提案、知らせてくれ、感謝している
8	学校生活	今後の学校生活を本人が楽しく過ごすために、コミュニケーションの勉強をすること。
9	学校生活	給食が食べられない、視線を気にしてしまうので席をうしろの端にして頂きました。
10	学校生活	お友達とのトラブルに対して個別に対応してくれた。
11	学校生活	子供が教室で吃音により困難な状況に置かれたままにならないように、からかわれたら注意して欲しいこと、突然の指名はやめて欲しいこと、最初の自己紹介などは簡潔にして欲しいことなどをお願いしていた。
12	学校生活	言葉が不明瞭な為、伝わらない時の方法やそのことでコミュニケーションが難しいことで友達との関わり。 トイレの促し
No.	カテゴリー	配慮内容
1	就学環境調整	クラス担任がかわり、個人面談で席の配慮や学習の取り組み方において話をしたものの中々伝わらず、対応してもらえない事で息子の困り感が増したので、療育の医師に相談し、支援教室の先生を通して、もう一度担任にお話ししてもらった
2	就学環境調整	就学支援シートを提出し、特別支援教室への通級をしています
3	就学環境調整	聞かなくても今の状態をおしえてくれたり、相談に乗ってくれます
4	就学環境調整	授業の内容についていけないことがある、また理解していないような素振りがあるとのことを当時の担任の先生から説明を受けました。 私も心当たりがあったので、すぐに受け入れられました。

(1) 学校での個別的な配慮について

質問3 どのような配慮内容でしたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

5	就学環境調整	<p>学力ではなく、生活面で改善が必要。                  カウンセラーに授業の様子を見てもらった。                  ということで、カウンセラー？が子供の授業の様子を見た結果を連絡帳で伝えられ、その後面談もあった。</p>
6	就学環境調整	<p>きこえとことばの教室に通い、遅れての登校になる事が凄く嫌だ！と話していた息子に担任の（1年）先生が、クラスみんなにわかりやすくきこえとことばの教室の内容を説明して下さいました。遅れて登校する息子にクラスの全員が、「おはよう～お帰り～」と言ってくれた事で息子は頑張れました。3年生と4年生となり、息子のきこえとことばの教室に通う事や学校に行くのがイヤになった時期がありました。休み連絡を入れるたびに担任の先生が電話ごしに息子の話を傾聴し答えて下さいました。毎日の様に、担任の先生から連絡があり息子の変わった様子や成長した事を教えて下さいました。また、私（親）の心配事にも1つ1つ話を聞いて下さいました。学校内にあるカウンセリングの先生へ事情を話して下さい、息子とカウンセリングの先生がお話する時間を設けて下さいました。また、私が予約を取れるよう配慮して下さいました。学校以外でも、多摩市の支援センターで提出する書類。かかりつけの病院の先生宛に担任から見た学校生活の情報を書類にして下さり病院の先生がわかりやすくして下さいました。                  担任の先生方も、忙しい中時間をわざわざ作って頂き本当に感謝でいっぱいです。</p>
7	就学環境調整	<p>言葉が少し遅いから始まりました。</p>
No.	カテゴリー	配慮内容
1	その他	<p>登校しぶり・教室へ行きたくない→特別支援教室・保健室で過ごす                  学校や教室へ行けない子どもたちが、過ごせる場所（固定）を作ってほしい（先生もいる）                  特別支援教室の先生が他校と掛け持ちで週2しかいない                  安心感という意味でも毎日いるようにしてほしい</p>

(1) 学校での個別的な配慮について

質問3 どのような配慮内容でしたか。自由にご記載ください。(中学校：特別支援学級)

※質問1で「(学校側が配慮したことが) ある」と答えた回答者(215人/小学校・中学校 特別支援全体 349人)を対象

※自由記述のため、未記載者あり

◆中学校(学校側からの配慮を経験した 47人/ 中学校・特別支援全体 81人)

<p>②中学校 特別支援学級(学校側からの配慮を経験した 31人/中学校・支援学級全体 51人)</p> <p>まとめ(暫定 4カテゴリー:「授業参加」「授業参加/学校生活」「学校生活」「学校生活/就学環境調整」)</p> <p>※カテゴリー(暫定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業参加:教材や学習面、学習環境等に関する手立て(主に授業参加に関わる内容)</li> <li>・学校生活:対人面、行動(計画)面、登校面等に関する手立て(授業に関する内容は「授業参加」を優位)</li> <li>・就学環境調整:就学に関わる相談等(外部機関を含む)</li> </ul> <p>(*その他:上記に該当しないもの)</p>
---

No.	カテゴリー	配慮内容
	授業参加	右耳小耳症なので席を考えて下さったり、授業での聞き方について配慮してくれてました
1	授業参加	部活で口頭指示は本人忘れてしまうので、ノートかメモで渡して欲しい
2	授業参加	①登校時間を遅らせてもらう(人混みが苦手なため) 駅前が混むため(通学路)→安心して歩ける迂回路を見つけ解消 げた箱が混み合うため→人が減るのを待っていてチャイムがなくなってしまった場合は、その旨を伝える事で解消 ②定期テストの受け方 問題が解けなかったら…と考えるだけで不安・パニックになってしまう→解答用紙に記名のみして退室させてもらう。隣室で読書をして過ごす
3	授業参加	登校できた日、クラスとは別の教室を用意していただいた
4	授業参加	読み書きが苦手なため、定期テストにおいてタブレット入力を希望したところ「他の生徒の目もあること」「別室受検には部屋も人員も不足していること」から、自宅での受検をすすめられ、本人もその方が時間延長もしやすく良いと言うので中学時代のほとんどをその方法で定期テストを受けることになりました

(1) 学校での個別的な配慮について

質問3 どのような配慮内容でしたか。自由にご記載ください。(中学校：特別支援学級)

5	授業参加	教科の個別指導
6	授業参加	苦手な科目の時は違う教室で違う勉強をさせてくれたりなるべく学校に行きやすいようにさせてくれます
7	授業参加	特性のある子への苦手な行動、場面をお伝えしたところ、細やかで丁寧な対応をいただいている <ul style="list-style-type: none"> <li>・一斉指示が苦手→適宜個別で声掛け</li> <li>・不器用→ハチマキを結んでいただいた</li> <li>・短時間で図書の本を選べない→放課後に個別で利用させていただいた</li> </ul> 等々
8	授業参加	体幹が弱く、集中力もないため、椅子に座ってられなかったので椅子に置く滑りにくいクッションや足置き代わりにゴム紐を机の下に通したりしました。
No.	カテゴリー	配慮内容
1	授業参加 学校生活	忘れ物のチェックや、体や心のストレスに対する配慮、 全体集会など負荷がかかるものは教室でタブレットできくなど
2	授業参加 学校生活	朝がどうしても起きて登校時間に間に合わず、 先生からの提案で、 本人が目指せる目標時間で何時頃までならできるか、 本人と相談をして 決めた時間にがんばってみる
3	授業参加 学校生活	春休みに子供が好きそうな遊びをして良い 他の生徒や先輩からいやなことを言われた時、その生徒に指導 クラス替えて苦手な生徒とクラスを分ける オンライン授業の許可 学校行事に無理やり参加させない
4	授業参加 学校生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育着登校（制服の布がチクチクするため）</li> <li>・イヤマフ</li> <li>・時々別室対応</li> </ul>

(1) 学校での個別的な配慮について

質問3 どのような配慮内容でしたか。自由にご記載ください。(中学校：特別支援学級)

5	授業参加 学校生活	中学入学当初に環境の変化への対応に苦労し、登校しては休みを繰り返す状況であったため、精神的な負担から来る体力への影響を考慮して、学校とも相談し、途中登校及び早退をルールと本人の意思確認と、先生に様子を見てもらって活用し、学校にいる時間ではなく登校日数を増やしていく形を取ってもらっています
6	授業参加 学校生活	不登校になった時にオンライン授業の設定をしてくださった。 また、家庭訪問の提案をしてくださった。
7	授業参加 学校生活	教室で他の子が騒ぎすぎる時別教室で休む
8	授業参加 学校生活	各科目の持ち物をどうしたら忘れないで移動する教室まで持ち運べるか提案してもらった
9	授業参加 学校生活	集団に入れないので、教室とは別に場所を用意して、朝、他の子の登校前にプリントなどの作業する時間を作ってくれた。 職場体験を学校の事務室でさせてくれた。 体育祭、始業式など、別に参加できるようにする、など毎回いろいろな配慮をしてくれている。
10	授業参加 学校生活	持ち物の整理 提出物関係の把握など
No.	カテゴリー	配慮内容
1	学校生活	不登校気味の息子に、無理のない登校をさせて下さっています
2	学校生活	感情のコントロールがつかず、大きな声をあげたり、友達にあたったり、物にあたったりした時に、個別に落ち着ける場所をつくってくれた
3	学校生活	給食での牛乳なしにさせていただきました 給食の苦手意識があり、全く食べれそうにないメニューの時はお弁当持参を許可させていただきました
4	学校生活	<学校が行った配慮> ・感情的になったり、辛くなった時、授業での活動を休ませる（見学又は別室でクールダウン） <保護者が要請し行うようにしてもらった配慮> ・学校生活全般において、叱責や注意や声かけをする場面を極力減らし、できている部分を褒める場面を増やす ・本人の言い分をよく聞き、気持ちを丸ごと受け止めて共感する

(1) 学校での個別的な配慮について

質問3 どのような配慮内容でしたか。自由にご記載ください。(中学校：特別支援学級)

5	学校生活	保健室でクールダウン イヤーマフ使用 クラスメイトに特性の説明をしてもらう 事前に苦手なことがありそうな授業など伝えてもらう
6	学校生活	部活を辞めたい事を一人で顧問に伝えに行けないので、事前に担任の先生が顧問の先生に伝え、時間がある時に一緒に伝えに行ってくださいました。
7	学校生活	特性にあった声掛けや 苦手分野の共有
No.	カテゴリー	配慮内容
1	学校生活 就学環境調整	小学4年の12月から通級を利用するが1月から不登校になる その後通級の時のみ登校 小5からは通級の日スクールカウンセラーの時間も利用 不登校の原因はいじめが主であるが、教員への不信感もあり学校の中に子供の居場所を作る為にスクールカウンセラーのところへ2年は通う 以上の経緯から中学でも担任やクラス以外により所となる場所を作る為、週に1度スクールカウンセラーの時間をとってもらっている

(1) 学校での個別的な配慮について

質問3 どのような配慮内容でしたか。自由にご記載ください。(中学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

☑中学校 特別支援教室またはきこえとことばの教室 (学校側からの配慮を経験した 16人 / 中学校・支援学級等全体 30人)

まとめ (暫定 4 カテゴリー：「授業参加」「授業参加/学校生活」「学校生活」「就学環境調整」)

※カテゴリー (暫定) の観点

- ・ 授業参加：教材や学習面、学習環境等に関する手立て (主に授業参加に関わる内容)
  - ・ 学校生活：対人面、行動 (計画) 面、登校面等に関する手立て (授業に関する内容は「授業参加」を優位)
  - ・ 就学環境調整：外部機関への相談等
- (\*その他：上記に該当しないもの)

No.	カテゴリー	配慮内容
1	授業参加	放課後に少し残って宿題を先生と一緒にやる
2	授業参加	LD (書字) があり、テストはひらがなで記入しても合っていれば丸にしてもらいました
3	授業参加	週に一度、時間をとってもらい支援教室にて子に合わせた指導を行ってもらう
4	授業参加	テスト時間の延長、問題文のルビふり、気持ちを落ち着かせたいときの別室の確保。タブレットで板書を撮影したり、ロイロノートの活用。
5	授業参加	学習の進め方について
6	授業参加	座席を1番前にする、状況を理解しているか確認する、提出物を強制しない、仲の良い友達を同じクラスにする
7	授業参加	集中力が散漫になっている時に、個別の声掛けなど。
8	授業参加	定期テスト前の特別支援教室への参加回数を減らした
No.	カテゴリー	配慮内容
1	授業参加 学校生活	色々ありますが、行動が遅い〇〇君の為に、ロッカーの整理整頓をサポートしたり、ロイロノートに黒板の写真を撮らせて、家のタブレットでも、確認出来るようにしたり、テストを受ける時にパニックになってどうしたらいいか相談してアドバイスをもらったりして、何とか学校生活がおくっています。
2	授業参加 学校生活	個別の声かけ強化
3	授業参加 学校生活	次の日の時間割を、他の生徒は手書きで連絡帳に書いてきますが、息子はタブレットで撮影できるようにしてくれました。(小学校と中学校)

(1) 学校での個別的な配慮について

質問3 どのような配慮内容でしたか。自由にご記載ください。(中学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

		<p>算数の授業で、計算機を使わせてくれました。(小学校)</p> <p>卒業文集で、作文を書かなければいけなかった時、下書きをタブレットで作成していいと言ってもらえました。(小学校)</p> <p>偏食で、給食が食べれない日は、お弁当を持たせてもいいと言ってくれました。</p> <p>(小学校と中学校)</p> <p>朝、登校後の準備について、机にやることを書いたメモを貼ってっていました。</p> <p>(小学校中学年頃)</p> <p>席を前の方にしてくれました。</p> <p>(小学校)</p> <p>感情的になった時は、特別支援教室でクールダウンや、校長室で給食を食べさせてくれたりしてくれました。</p> <p>(小学校)</p> <p>宿題を他の児童より少なくしてくれました。</p> <p>(小学校)</p>
No.	カテゴリー	配慮内容
1	学校生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校時代にいじわるをした子とクラスを離す</li> <li>・物の管理、情報の管理ができないので個別指導時に整理する</li> </ul>
No.	カテゴリー	配慮内容
1	就学環境調整	<p>支援級から通常学級への転学の際、スムーズに馴染めるように、交流授業や取り出し授業をさせていただきました。また、転学後の支援教室でも、通常学級の授業に少しでも対応できるよう学習の仕方について一緒に考えてくださっています。</p>

(1) 学校での個別的な配慮について

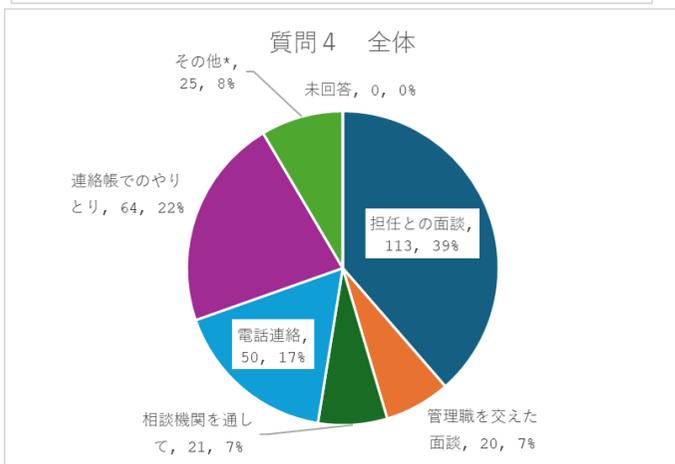
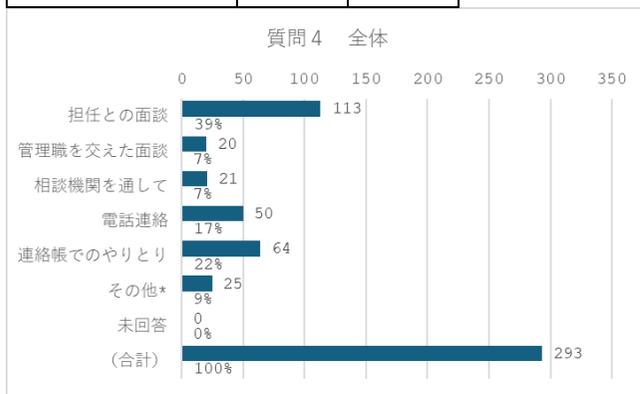
質問4 その配慮が決まるまでに、学校とどのような場でやりとりしましたか。

※質問1で「(学校側が配慮したことが)ある」と答えた回答者(215人/小学校・中学校 特別支援学級)

※複数回答を含む総数

■全体(215人/小・中特別支援全体 349人) ※複数回答を含む総数

項目	回答数	割合
担任との面談	113	39%
管理職を交えた面談	20	7%
相談機関を通して	21	7%
電話連絡	50	17%
連絡帳でのやりとり	64	22%
その他*	25	9%
未回答	0	0%
(合計)	293	100%



★個別的配慮はその時に両者が同意してすすんで当事者の困り解消につながればよいので、担任との話し合いで決まっていってよい。

逆に管理職も入って決定したのはどんな内容か、もしくは、担任で決められず管理職に相談して決定したのか。

「個別的配慮」とはどんなもので、それは「誰」が提供するのかの理解が不十分か。 ※課題

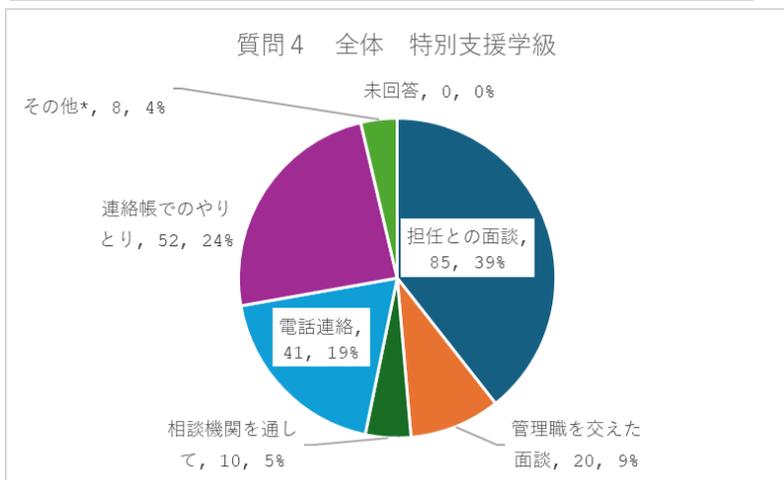
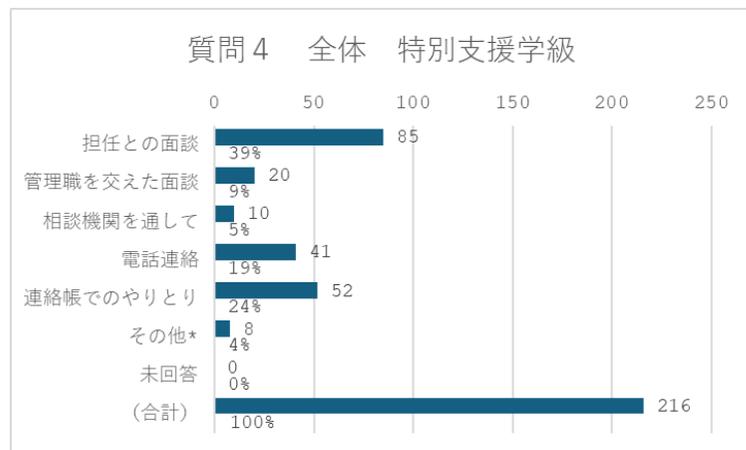
(1) 学校での個別的な配慮について

質問4 その配慮が決まるまでに、学校とどのような場でやりとりしましたか。

■全体 特別支援学級（114人／小・中支援学級全体 180人）※複数回答を含む総数

項目	回答数	割合
担任との面談	85	39%
管理職を交えた面談	20	9%
相談機関を通して	10	5%
電話連絡	41	19%
連絡帳でのやりとり	52	24%
その他*	8	4%
未回答	0	0%
(合計)	216	100%

その他\*  
おおぞら  
見送りやお迎え時の会話  
送迎時に話す  
現場での相談

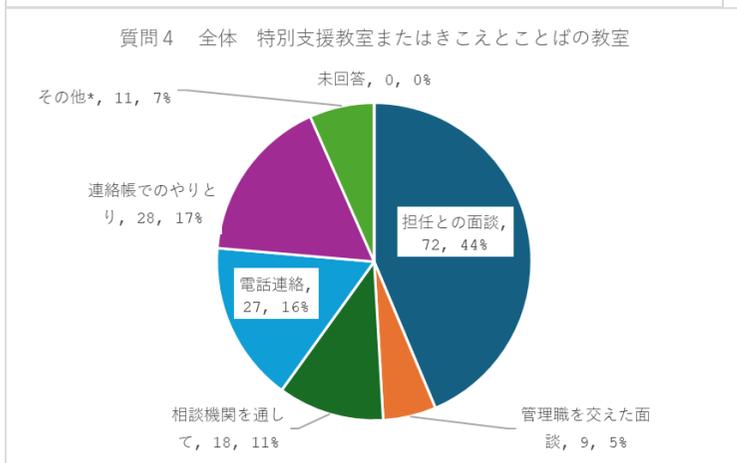
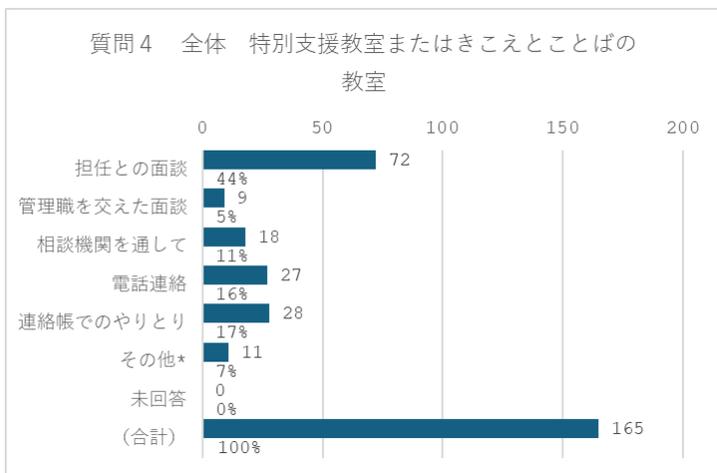


(1) 学校での個別的な配慮について

質問4 その配慮が決まるまでに、学校とどのような場でやりとりしましたか。

■全体 特別支援教室またはきこえとことばの教室 (101人/小・中 支援教室等全体 169人) ※複数回答を含む総数

項目	回答数	割合	説明
担任との面談	72	44%	既にやってくれていた 特にやり取りはなし わかば相談 その場でのやり取り 支援教室の先生との面談
管理職を交えた面談	9	5%	やりとりしていない 弁当持参の件のみ、管理職や給食担当の教員とも面談。他は担任との面談のみ。
相談機関を通して	18	11%	支援教室の面談で教科書にルビをつけている事を相談した。 特別支援教室の教諭に仲介してもらいました
電話連絡	27	16%	特別教室の先生や担任と面談 連絡はなかったです。
連絡帳でのやりとり	28	17%	入学前から相談はしてあり、先生方が臨機応変に対応して下さっているので、特に事前のやりとりはありません。
その他*	11	7%	特別支援教室での面談 通級の先生と面談
未回答	0	0%	支援教室や担任との面談を通して。また、連絡帳に母が記載したりしました。
(合計)	165	100%	支援教室の先生との面談



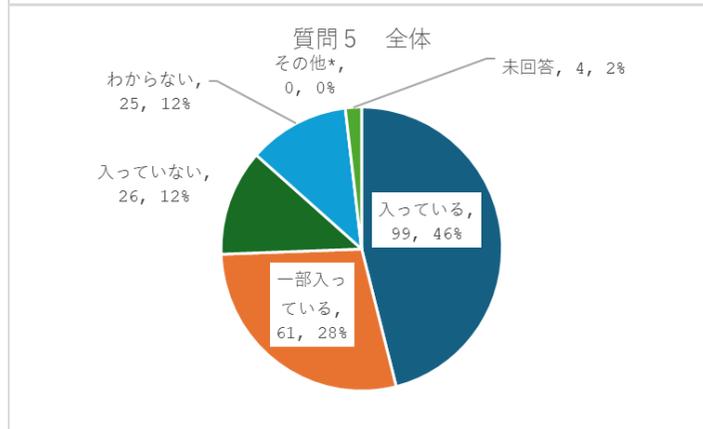
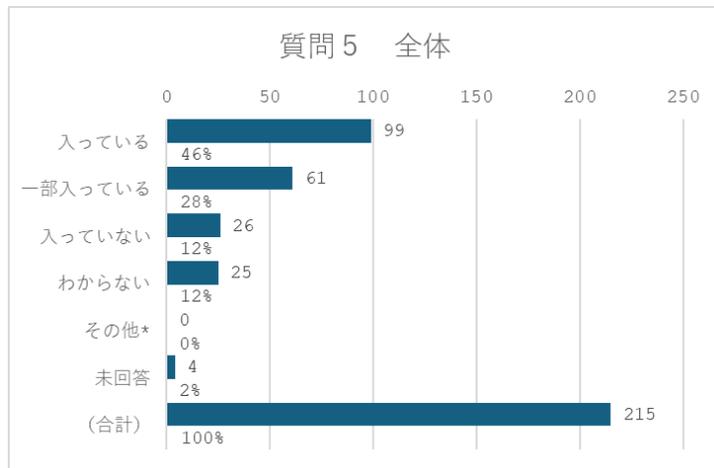
(1) 学校での個別的な配慮について

質問5 そのやりとりの中にお子さまの意見は入っていると思いますか。

※質問1で「(学校側が配慮したことが) ある」と答えた回答者(215人/小学校・中学校 特別支援全体 349人)を対象

■全体(215人/小・中 特別支援全体全体 349人)

項目	人数	割合
入っている	99	46%
一部入っている	61	28%
入っていない	26	12%
わからない	25	12%
その他*	0	0%
未回答	4	2%
(合計)	215	100%

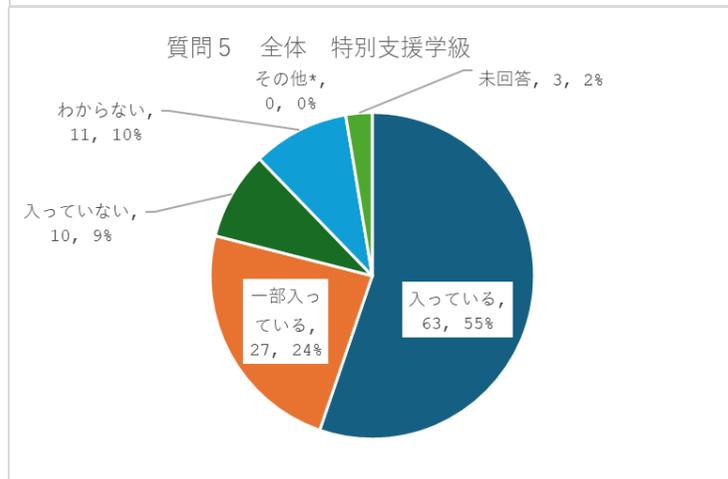
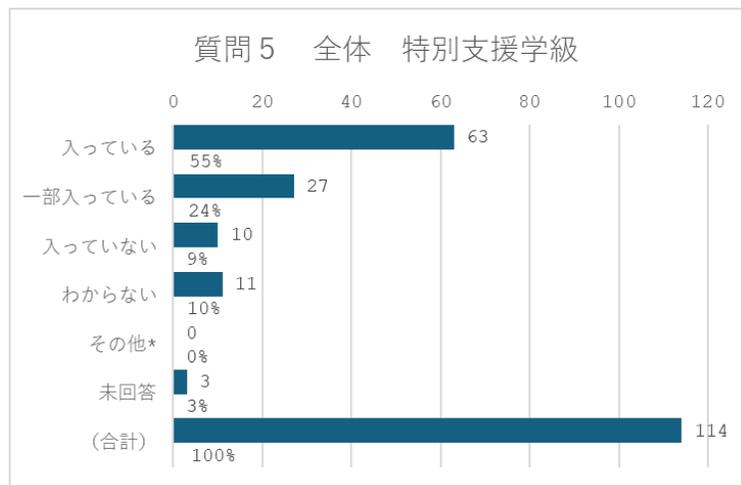


(1) 学校での個別的な配慮について

質問5 そのやりとりの中にお子さまの意見は入っていると思いますか。

■全体 特別支援学級（114人/小・中 支援学級全体 180人）

項目	人数	割合
入っている	63	55%
一部入っている	27	24%
入っていない	10	9%
わからない	11	10%
その他*	0	0%
未回答	3	3%
(合計)	114	100%



<種別>

学級と教室では「学級」の方が子どもの意見は半数以上入っている。  
7割入っている。

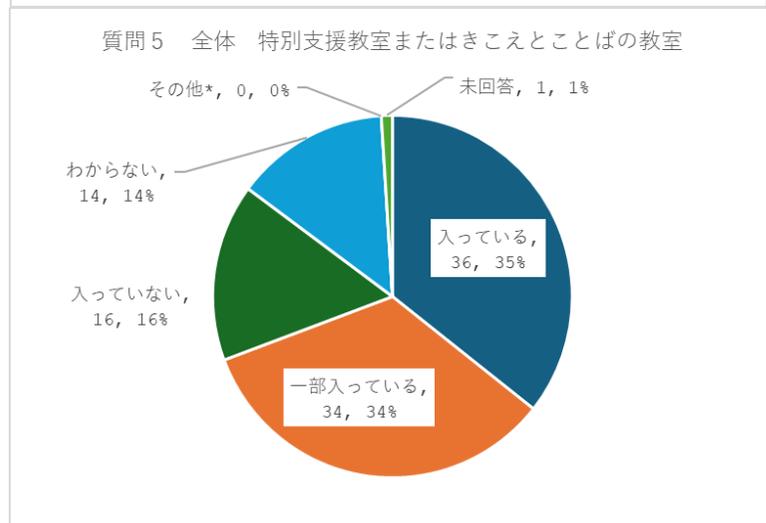
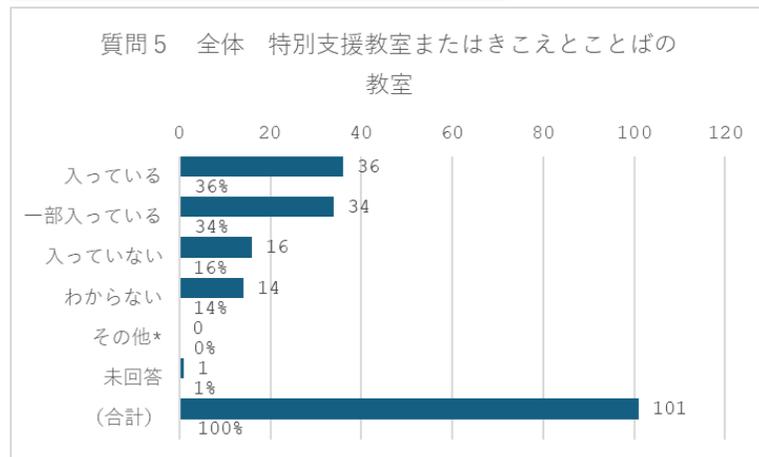
「教室」も7割か、...。  
(次ページ)

(1) 学校での個別的な配慮について

質問5 そのやりとりの中にお子さまの意見は入っていると思いますか。

■全体 特別支援教室またはきこえとことばの教室 (101人/小・中 支援教室等全体 169人)

項目	人数	割合
入っている	36	36%
一部入っている	34	34%
入っていない	16	16%
わからない	14	14%
その他*	0	0%
未回答	1	1%
(合計)	101	100%



(1) 学校での個別的な配慮について

質問6 (入っている、一部入っていると答えた方) どのようなお子さまの意見を取り入れましたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援学級)

※質問1で「(学校側が配慮したことが) ある」と答えた回答者(215人/小学校・中学校 特別支援全体 349人)を対象

※自由記述のため、未記載者あり

◆小学校(学校側からの配慮を経験した 168人 / 小学校 特別支援全体 268人)

②小学校 特別支援学級(学校側からの配慮を経験した 83人 / 小学校・特別支援全体 129人)	
まとめ(暫定 4カテゴリー:「興味」「具体的な対応」「意向」「理解」)	
※カテゴリー(暫定)	
・興味: 関心のあることややりたいこと	
・具体的な対応: 取り組めるとよいこと、現状難しいと感じている事柄への対応	
・意向: 意思や気持ち	
・理解: 現状について知ってほしいこと	

No.	カテゴリー	配慮内容
1	興味	得意なこと
2	興味	前の学校ではドラムがあって楽しかったけれど、今の学校では無くてもつまらないという意見
3	興味	大人数、決まったことをすることが苦手 自分の関心のあることを学びたい 読み書きが苦手
No.	カテゴリー	配慮内容
1	具体的な対応	家でもダンボールに入ると落ち着くと話していたので、 教室に置いてもらえたら入室がスムーズになるのでは?と本人と話していたので 学校に伝えてみました
2	具体的な対応	先生や補助の先生からの声かけをしてもらい行動する
3	具体的な対応	担任と1日1ページの宿題と約束して、子も守っている
4	具体的な対応	(恐らく)子供自身がそのようなスペースを望んだと思います

(1) 学校での個別的な配慮について

質問6 (入っている、一部入っていると答えた方) どのようなお子さまの意見を取り入れましたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援学級)

5	具体的な対応	1年前から言われていて、それが嫌で私に報告してくれました 大人や先生、他の友達がいる所では仲良くふるまってくれるので、2人きりにならないようにしてほしい！！という意見です
6	具体的な対応	いったん帰宅したい気持ちもありましたが、おなががすいてたおれそうと言う気持ちだったので 少したべて心が落ち着き、その後の活動に再び参加し続けることができ本人の自信につながった
7	具体的な対応	字を書くのに時間がかかり、授業について行けない 自分で書いた字が読めない 連絡帳が書けないと、次の日の用意が分からない
8	具体的な対応	子供の普段の家での様子から、上手く行く方法を学校と共有している
9	具体的な対応	ときどき、困っていても先生に話しかけられないことがあると相談された 大人は相談できていたと思っていたので、まだ相談できないことがあることが分かって、あらためて先生に伝達した
10	具体的な対応	本人のクールダウン自体は必要な事とした上で、本人が出来る方法と安全の両立をさぐっている
11	具体的な対応	・先生に援助要請をしやすくしたい（ヘルプカードの使用） ・イヤーマフを常に持ち歩く ・教室がうるさく感じた時は、別教室に自由に移動し、教室の続きをする（プリントなど）
12	具体的な対応	「家ではやる気がおきない（集中できない、遊びたくなる）ので学校で済ませてしまいたい」と本人も言う為
13	具体的な対応	2の宿題がやりたい。 3の何か自分の役割が欲しい。  ：2子供からの相談 1年生なりたての頃、宿題を楽しみにしていたが、まだなかった。 連絡ノートで事情を説明するとすぐに翌日から宿題を出して下さった。 本人は大喜びで、より前向きに学習に取り組むようになった。  3親からの提案 毎日日直をやりたいと聞かず、授業のスムーズな流れを遮断してしまっていた。 面談時に、“日直以外に何か役割を与えたら納得するのでは”と伝えると、翌日からクラス全員に役割が与えられた。 本人は自分の仕事ができる日直に固執しなくなった。

(1) 学校での個別的な配慮について

質問6 (入っている、一部入っていると答えた方) どのようなお子さまの意見を取り入れましたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援学級)

14	具体的な対応	困った時の対処方法
15	具体的な対応	子ども自身の言葉で困り事を列挙した上での対応。ただ、困り事の本質が言語か出来ているかの検証が弱いとは感じている
16	具体的な対応	トイレに行けるようになったので、子どもの意思が尊重できていると思う
17	具体的な対応	すぐに変更するのではなく、何度か昇降口を試してみてやっぱりダメだったら静かな場所に変えたい、とのことだったのでお試し期間を設けてもらった。
18	具体的な対応	パーテーションは立てたいが、そのせいで「どうしたの」などと注目を浴びたくないとのことだった。先生には本人が納得してOKを出すまで待ってもらった。また、外したいといった時にも本人の気持ちを優先して対応してもらった。
19	具体的な対応	「どのようにすればやりやすいか」を話し合った。
20	具体的な対応	本人が出来る量であったり内容なのか、どこまでやれるか等、その都度聞いて確認して納得してもらって取り入れているようでした。
21	具体的な対応	教室から出て行きたくなったら、先生が見える範囲にいること
22	具体的な対応	席はどこの方が落ち着くか、 質問カードなどの用意、 準備の進め方、 時間を見て行動するやり方、など、
23	具体的な対応	<p>上記の通りです</p> <p>：こだわりが強い息子で「先生や友達の名前を言えないこだわり」が入学当初からありました。それに対して担任の先生が、先生一人一人に動物のあだ名を息子と一緒に考えてくれて(ねこ先生、ひつじ先生、など)先生方をあだ名で呼ばせていただきました。</p> <p>お友達の名前は、先生が毎回一文字ずつ息子と交互に言ってくれたり(先生→「た」息子→「ろ」先生→「う」…という感じ)根気強く付き合ってくださいました。</p> <p>おかげで、3年生になった今では(まだ少し言いにくそうにする場面はあるものの)どの人の名前も9割方言える様になりました。</p> <p>更に、学校の生徒用トイレで排便が出来ないこだわりもあり(騒がしい、ウォシュレットがない、などの理由で。おしっこは出来てます)便意が来ると我慢してしまい、その後の活動に支障が出てしまう(いつも以上にボーっとする、イライラするなど)でしたが</p>

(1) 学校での個別的な配慮について

質問6 (入っている、一部入っていると答えた方) どのようなお子さまの意見を取り入れましたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援学級)

		担任の先生が校長先生に許可をとっていただき、子供達の教室から離れた職員室近くのウォッシュレット付きのお客様トイレを貸していただけただけで、学校で便意が来ても1人でサラッと行き、またすぐに活動に戻れるようになりました。
24	具体的な対応	その日の参加学年など人数が多いと参加が特に難しいので、授業の時間に参加が出来そうであれば参加する形にしてもらいました。
25	具体的な対応	学校生活での困り事を担任、子供と話して洗い出し、具体的な案を担任に提案した。
26	具体的な対応	朝イチは、学校に行きたくない=休むが自分のタイミングで行けるなら行くよ
27	具体的な対応	苦手な部分に対して先生にどうしてほしいか、要望を保護者と一緒に考え伝えた。 (我が家の場合、1人でこなすのは難しい作業を手伝ってもらうこと)
28	具体的な対応	漢字を書いても、すぐ直されてやる気が起きないなど、意欲の低下が見られた為。 テストで文章が理解出来ずに解けないと言っていた。
29	具体的な対応	日頃困っている事などを子供から聞いていて、 解決策を学校と話し合っているような形
30	具体的な対応	子どもの言動から明らかに、入学式という場面で不安感があるということが分かったので、園生活でも安心できる大人がつくことで安心して本人なりの参加をしていたことから、同じ対応をした。
31	具体的な対応	子供が先生と話して許可をもらってきたと話してきました。また、対策を考える時にどうやったらいいか?など子供と考えました。
32	具体的な対応	行けるタイミング、帰りたいタイミングで学校に通う事ができる。
No.	カテゴリー	配慮内容
1	意向	本人がやってもいいと思ったものは取り入れ、嫌がるものは見送った
2	意向	子供も希望している
3	意向	子供が学校へ行きたいというところ
4	意向	本人が学級に行きたいと希望
5	意向	子ども本人が通いたくないのであれば、通わせようと思っていなかったのですが、本人と一緒に見学したり、内容を聞いたりして、通いたいと言っていたので、子ども自身納得(意見は入っている)と考えます
6	意向	日本語の理解が不足しているので、学習進度は本人の意向をとりいれました
7	意向	どうしたいかを話し合ったり、こういうことが出来るって何個か選択肢を提示して、選んで貰ったり、出来るだけ子供が納得感が得られる様に配慮した
8	意向	友達を増やしたい、クラスメートと仲良く学校生活を送りたいという本人の希望
9	意向	どんな気持ちであるか、再確認した

(1) 学校での個別的な配慮について

質問6 (入っている、一部入っていると答えた方) どのようなお子さまの意見を取り入れましたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援学級)

10	意向	友達とたくさん遊びたい。
11	意向	家庭内での会話から母が本人の意向を汲み取り、連絡帳に代弁したり、解釈を述べたりしました。
12	意向	子供の意志を聞いて
13	意向	本人の意思を確認した上でスケジュールを組んでいただいた
14	意向	いつも子どもの意見も聞いてくれていた。
15	意向	自分の苦手を認識して、克服したい。
16	意向	先生に分からない箇所を聞きやすくしたい
No.	カテゴリー	配慮内容
1	理解	どうしてもできない、苦手なことなど 意見を聞いたりして下さっていたようなので
2	理解	宿題が辛い、意見がうまく言えない、など多数
3	理解	字を書くことが苦手 板書ができない
4	理解	「囲まれていると落ち着く」と、本人が話していた。
5	理解	宿題をやる気力がない 教室に入りたくない
6	理解	できないことが辛い、自分だけではわからないと担任に直接話せた。
7	理解	どうしても長い間座って居られない、それが何故だかわからないという本人の気持ちや勉強自体はしたいけど、どうしたらいいかわからないという気持ちを聞き取りし、担任教諭に伝えた。

(1) 学校での個別的な配慮について

質問6 (入っている、一部入っていると答えた方) どのようなお子さまの意見を取り入れましたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

☑小学校 特別支援教室またはきこえとことばの教室 (学校側からの配慮を経験した 85人 / 小学校・支援教室等全体 139人)

まとめ (暫定 4 カテゴリー:「具体的な対応」「意向」「理解」「その他」)

※カテゴリー (暫定)

- ・具体的な対応：取り組めるとよいこと、現状難しいと感じている事柄への対応
- ・意向：意思や気持ち
- ・理解：現状について知ってほしいこと
- ・その他：上記に該当しないこと

No.	カテゴリー	配慮内容
1	具体的な対応	やり方それぞれは、本人が試しながら、思ったことを親に伝えてもらい、それを親が先生に伝える (主に不安)
2	具体的な対応	どういう事・時にやるとやりやすいのかきいてから方向を決めた プリント類は決めたファイルに必ず入れる
3	具体的な対応	人に見られることで不安緊張が増すという子どもの発言や、ぼうしをかぶりたいという希望
4	具体的な対応	時間割ボードが今日／明日と並んでおり、どちらを連絡ノートに書いて良いのか迷ってしまい、印をつける又は別のところにボードを分けてほしいとの意見 席が後ろだと黒板が見えづらい等
5	具体的な対応	本人が、先生から近寄ってきてくれたり、話しかけ (声掛け) してくれると、話せる勇気が出せそう。と言って伝えてくれたので、いつも家庭で本人がリラックスして話せる状況は、どんな時かを聞いて、先生と相談し、アイデアを出していきました
6	具体的な対応	大人が検討した内容を本人に伝え同意を得た
7	具体的な対応	本人に無理をさせず、できる範囲での宿題の調整など
8	具体的な対応	授業を集中して受けられるよう、先生が前の座席にしてくれるそうだけど、そうする？と意思確認をしました。 板書への配慮は、療育からも必要との診断をいただいていたのですが、担任の先生がそういうことはしないとの事で、ノートにきちんと書けなくなり、通級や管理職の先生と相談して決めたので、子供の意思は入っていません。
9	具体的な対応	ルビつきの教科書があるが使用したいか、タブレットと紙ベースのどちらが良いかを子供と相談して決めた。
10	具体的な対応	○イスにゴムバンドをつけること ○デイリーレポートカードの報酬

(1) 学校での個別的な配慮について

質問6 (入っている、一部入っていると答えた方) どのようなお子さまの意見を取り入れましたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

11	具体的な対応	本人からの聞き取り内容を勘案して先生方と面談で相談した
12	具体的な対応	本人に音楽室のどんなどころが嫌でどうやったら入室するチャレンジができそうかの意見を聞いて、先生にお伝えした。
13	具体的な対応	どうすれば教室にいられそうか本人に丁寧に聞き取りして下さった。
14	具体的な対応	クールダウンの方法については、通級で担当の先生と相談しているようです。
15	具体的な対応	クールダウンについて：どうしてもクールダウンが必要な場面があるとのこと。リフレッシュできればまた教室に戻れると。 クイズについて：みんなと楽しくクイズゲームをしたい。自分が作る回答は難しすぎるようなので、どう変えれば良いか教えてほしい。
16	具体的な対応	専用の持ち物ボックスは、本人が(周りの子と違って)嫌がっていないかであったり、座席も「どうせ僕はずっと前の方しか行けないんでしょ」と席替え時に話したことをうけて、お試して後ろの席に移動したこともあります。授業中のドリルも子どもが「これならやれそう」というものを母と一緒に本屋へ出向いて選択して取り入れました。
17	具体的な対応	支援教室中の授業がわからなくなったというので、担任に伝えた
18	具体的な対応	どうしたら食べられるようになるか、本人とも何が原因か一緒に考えました。
19	具体的な対応	・吃音や弁当持参のことを周知するタイミングは、子供の希望で本人不在の時にしていただいた ・タブレット撮影許可と DCD 向けのリコーダー使用許可は、学校は OK してくれて親もできれば使ってほしいのだが、本人がやりたくない/使いたくないと言うので、本人の意志を尊重している。
20	具体的な対応	教室でずっと過ごす、疲れる・新学期はクラスの皆とすごすと緊張するため、別室で休憩・無理をせず本人に合わせたペースで過ごす。
21	具体的な対応	漢字の書き取りの仕方
22	具体的な対応	空いた時間のプリント配布は自分だけだと目立つので、欲しい人には全員配布して欲しい、という子どもの意見を受け入れてくださっています。
23	具体的な対応	からかいがあれば毅然と注意して欲しいということ。
24	具体的な対応	どの席であれば集中できそうか、意見を聞いてくださったと聞いています。
25	具体的な対応	宿題が全部できないことや、授業中の板書書き写しが大変であることを本人と会話し、担任に伝えました
26	具体的な対応	蝶結びなど難しいので、困っているとのこと。
27	具体的な対応	宿題がどのようにやるととりくめるか
28	具体的な対応	ひらがなが書けなくて困っている
No.	カテゴリー	配慮内容
1	意向	まだ“自分の”意見とまではいかないが、学級の見学や今のクラスはどう?とか聞いて子どもに合わせてくれた
2	意向	「ママと一緒にいきたい」「ママが近くにいって欲しい」

(1) 学校での個別的な配慮について

質問6 (入っている、一部入っていると答えた方) どのようなお子さまの意見を取り入れましたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

3	意向	性格や本人が口にしたことをくみとり、動いて頂けていると思います
4	意向	担任の先生より、持参するか否かの意思確認を本人にさせていただきました。 持参すること、本人に先生から確認すること、どちらも先生からのご提案です
5	意向	本人の気持ち
6	意向	教室へ行きたくないという意志
7	意向	教室へ行きたくない気持ち
8	意向	何に困っているか、どうしてほしいか
9	意向	「頑張れ」「頑張ろう」に応えるのが辛く学校に行きたくない。
10	意向	どのくらいなら頑張れるか？という無理のない範囲を聞き取りました。
11	意向	特別支援教室わかばに入りたいかどうか。
12	意向	授業に集中したい
13	意向	まだ“自分の”意見とまではいかないが、学級の見学や今のクラスはどう？とか聞いて子どもに合わせてくれた
14	意向	子供の意見を聞き、発表する言葉は変えずに、発表した。
15	意向	必要な事と必要じゃない配慮を本人の意見を聞いたりしました
No.	カテゴリー	配慮内容
1	理解	書くことがしんどい。もうやりたくない！の中でも読みならできるかも。
2	理解	書くのが辛い
3	理解	国語の授業の内容ができないので困っている
4	理解	困っているけど、言えないときは声をかけてもらえたら安心すると
5	理解	・学校の体操服の肌触りが嫌だ。幼稚園のなら着られる。 ・給食当番の時に何かを被るのが嫌だ。 ・1人で学校の中に入るのが嫌だ。
6	理解	家で気持ちを聞いたり、担任の先生、わかばの先生と本人が話しをして、 「どうやったらやりやすい?」「ここまでやってみようか?」と本人の意思をよく聞きとってくださいました
No.	カテゴリー	配慮内容
1	その他	その時に応じて

(1) 学校での個別的な配慮について

質問6 (入っている、一部入っていると答えた方) どのようなお子さまの意見を取り入れましたか。自由にご記載ください。(中学校：特別支援学級)

※質問1で「(学校側が配慮したことが) ある」と答えた回答者(215人/小学校・中学校 特別支援全体 349人)を対象

※自由記述のため、未記載者あり

◆中学校(学校側からの配慮を経験した 47人/ 中学校・特別支援全体 81人)

㊦中学校 特別支援学級(学校側からの配慮を経験した 31人/中学校・支援学級全体 51人)

まとめ(暫定 4カテゴリー:「具体的な対応」「意向」「理解」「その他」)

※カテゴリー(暫定)

- ・具体的な対応: 取り組めるとよいこと、現状難しいと感じている事柄への対応
- ・意向: 意思や気持ち
- ・理解: 現状について知ってほしいこと
- ・その他: 上記に該当しない内容

No.	カテゴリー	配慮内容
1	具体的な対応	本人は予定表を見て動いているので、直前の変更を口頭で伝えても忘れてしまうため
2	具体的な対応	・苦手な事、不安な事を聞き出し、なぜそう感じるのかを話しながらまとめる。また、それを感じた時にどう反応してしまうか(パニックになる、泣いてしまうなど) ・そうならないためには、どうしたら良いか。どうして欲しいか、を話し合う事で、「〇〇するために□□してもらいたい」「△△にならないために××してもらいたい」を引き出し、子供の意見として担任の先生に連絡帳や電話で伝えさせてもらう
3	具体的な対応	学校生活でとても疲れてしまう 時々休みたい 授業を休みたくないなので、その他の行事、部活などで調整したい
4	具体的な対応	本人が頑張れるという時間を相談した
5	具体的な対応	・学校でどのように対応してもらえたら、安心できるのかを話し合い、担任に伝えた ・話しやすい空気を作って下さるので、子が自分で困り事を担任に相談できた(小学校では担任が怖くてできなかった)
6	具体的な対応	困りごと(子)→学校に相談(母)→校長に確認(必要あれば)という流れで体育着登校ができるようになりました

(1) 学校での個別的な配慮について

質問6 (入っている、一部入っていると答えた方) どのようなお子さまの意見を取り入れましたか。自由にご記載ください。(中学校：特別支援学級)

7	具体的な対応	支援級に入ったにも関わらず、中学入学当初はあらゆる配慮の申し出を「前例がない」「前にもそういうお子さんがいたが、書くことができた」「特別扱いはできない」「校長決定です」と言われ、「ちゃんとやりなさい」の言葉に子どもは小3以来の不登校になってしまいました。 そのため発達支援室に相談し、管理職を含めた話し合い、発達支援室の方も同席し、やっとのことで上記の配慮を受けることができ、その後は子どもも学校に少しずつ行けるようになりました。 本人は「たくさん書くのは疲れる」「漢字は書けない」という意見だったのでよかったと思います。
8	具体的な対応	本人に小学との違いをヒアリングし、登校日ごとに様子を確認することと、すべての時間いる必要がないことを意識づけし、不安を持たないようにしました
9	具体的な対応	勉強の進め方が分からない。
10	具体的な対応	なんで学校に行きたくないのか原因を子供と相談して苦手な科目があるとその授業の時は学校に行きたくないと言うので ムリしないで違う勉強をする様にしました。
11	具体的な対応	席の配置
12	具体的な対応	まず、辞めることを自分で言いに行けないことを悩んでると私に相談してくれたので、連絡帳にそのまま記載していいか本人に確認の上で記載し、担任の先生に相談しました。
13	具体的な対応	年度途中で席替えがあり、面談の際に本人にも先生から相談をしていた。
14	具体的な対応	購入や選択は親がやり、自宅にて子どもと試したあと「これを学校で使うのはどう？」と提案しました。
15	具体的な対応	本人が理解しやすい 指導法
No.	カテゴリー	配慮内容
1	意向	学校に行くのが辛い、家で勉強したいという息子の意見を取り入れて決まりました
2	意向	他の生徒さんとは顔を合わせたくないという子供の意見を伝えました
3	意向	学校に行くのが楽しくない 他の生徒や先輩からいやなことを言われたことに絡んで学校に行きたくない 苦手な生徒がいると学校に行きたくない 痰出しのくせが直らず視線が気になるので学校に行きたくない
4	意向	小学校時代の経験を本人に確認し、中学校でも同じ環境にするかを確認した

(1) 学校での個別的な配慮について

質問6 (入っている、一部入っていると答えた方) どのようなお子さまの意見を取り入れましたか。自由にご記載ください。(中学校：特別支援学級)

5	意向	オンライン授業をしたいという子どもの希望。 家庭訪問は本人が希望しなかったため未実施
6	意向	友達のいる支援学級に行きたい。
No.	カテゴリー	配慮内容
1	理解	1人にならないと落ちつかない
2	理解	入学前での面談で親子で行きました 給食の苦手さを一緒に説明しました
3	理解	うるさくて授業に集中できず辛い、という意見
4	理解	どのようなやり方なら出来るのか、どこまで出来るのか、常に子どもの意見を聞いて相談してくれる。
5	理解	苦手なことを子どもと確認したうえでどうしてもらおうと安心できるかを学校へ話したため
No.	カテゴリー	配慮内容
1	その他	学習面で聞こえにくさは感じていなく、普通に関していました。特に学校では困ることはなかったようです。見えやすく聞こえやすい位置にしてくれてました
2	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担任の先生が口うるさくて辛い(1年生当時、複数の生徒が同意見)</li> <li>・同じ先生が、本人が辛い気持ちで感情的になっている時に、正論を言って聞かせる事があったので、余計に感情が落ち着かない状態になり、「自分の特性による辛さを理解してもらえていない」と感じていたこと</li> </ul> <p>本人は「支援級の先生方は、通常級(小学校で在籍していた)の先生よりも、発達特性に詳しく、深く理解してくれるのだろう」と期待して支援学級に入っただけに、とても落胆しました</p> <p>その後精神保健指定医である主治医に相談し、上記の「保護者から要請した配慮」が望ましいとのことで診断書に記載いただき、学校へ渡しました</p> <p>※多摩市では先生方が支援について専門家に相談・アドバイスを受けることはないのでしょうか? 「どう支援したらよいかわからない」と先生に言われた事もあります</p>

(1) 学校での個別的な配慮について

質問6 (入っている、一部入っていると答えた方) どのようなお子さまの意見を取り入れましたか。自由にご記載ください。(中学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

☑中学校 特別支援教室またはきこえとことばの教室 (学校側からの配慮を経験した 16人 / 中学校・支援学級等全体 30人)

まとめ (暫定 3カテゴリー:「具体的な対応」「意向」「理解」)

※カテゴリー (暫定)

- ・具体的な対応: 取り組めるとよいこと、現状難しいと感じている事柄への対応
- ・意向: 意思や気持ち
- ・理解: 現状について知ってほしいこと

No.	カテゴリー	配慮内容
1	具体的な対応	書字が上手く出来ない、なるべく時間がかかり大変なので、書くことを減らしたい。そして漢字が書けない、内容は理解しているのに書けないという内容です
2	具体的な対応	テスト問題文のルビふり
3	具体的な対応	やらなきゃいけないことが学校ではありますので、片付けが苦手だからと逃げられません。なので、一部入ってるにしました。
4	具体的な対応	席を前の方にして欲しいというのは、親からの希望で、本人は知らないです。  その他の配慮については、先生と本人が相談したり、本人の希望を親が聞いて、先生に伝えたりしました。
5	具体的な対応	どのようにしたらやりやすいか等
No.	カテゴリー	配慮内容
1	意向	学校と保護者で話し合った内容を家で子供に話したり、子供と先生とで直接やりとりをしたりして、最終的に子供が決断した内容で進めていきました。
No.	カテゴリー	配慮内容
1	理解	宿題が一人だとできない。わからない
2	理解	我が子は特別支援という言葉に最初はとても敏感でした なので、私を含め先生方が子とよく話し合い、本人の為なのだと伝えました
3	理解	放課後には部活をしたい。その放課後に特別支援教室のため欠席した授業のことを教科担当の先生に自ら聞きに行くのは無理。

(1) 学校での個別的な配慮について

質問7 学校とのやりとりで決めた配慮は、お子さまへの支援に有効でしたか。

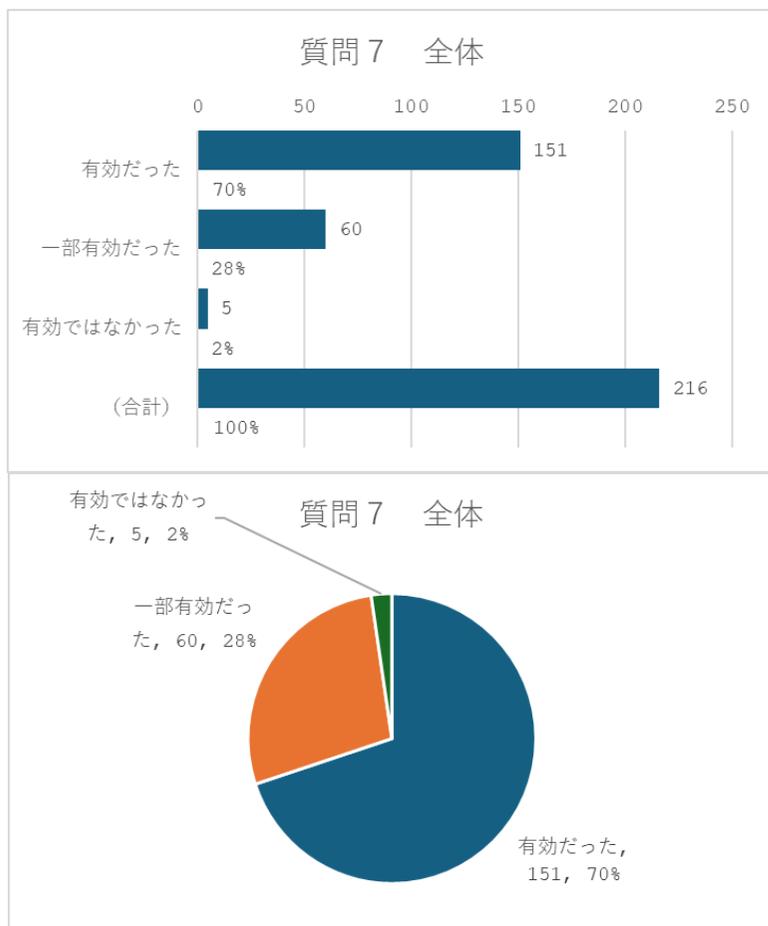
※質問1で「(学校側が配慮したことが)ある」と答えた回答者(215人/小学校・中学校 特別支援全体 349人)を対象

■全体(215人/小・中 特別支援全体全体 349人)

項目	人数	割合
有効だった	151	70%
一部有効だった	60	28%
有効ではなかった	5	2%
(合計)	216	100%

※1名のみ複数回答

★個別的配慮は9割以上が有効だったと評価。



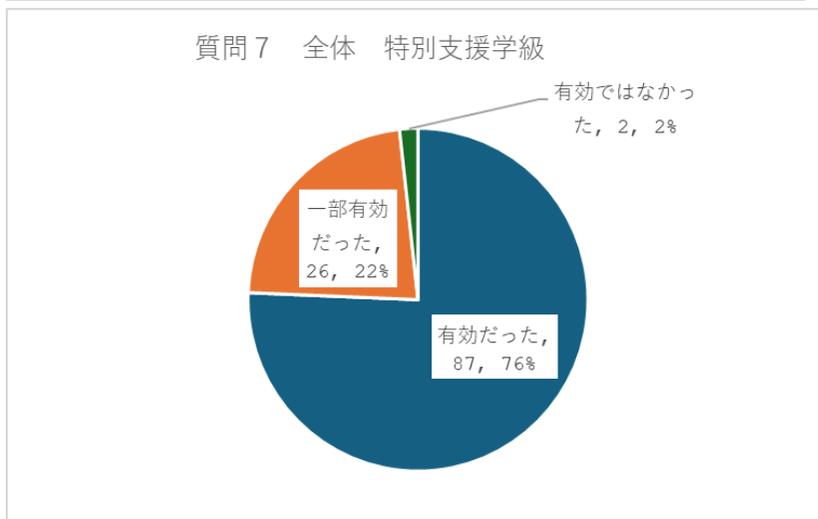
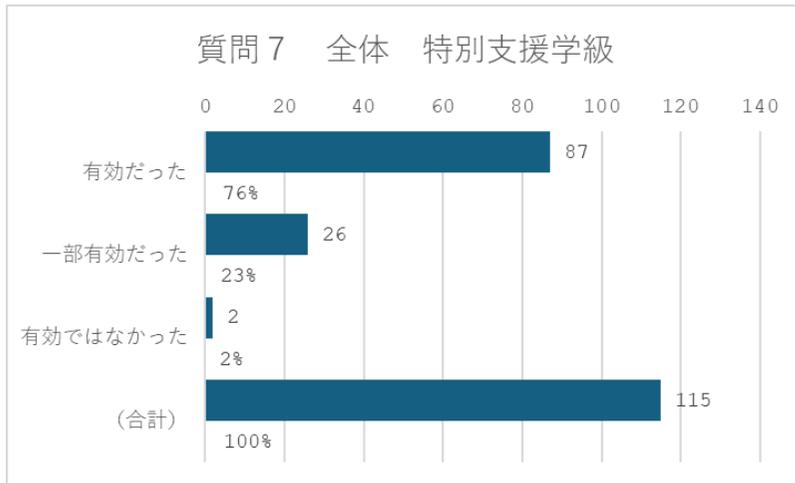
(1) 学校での個別的な配慮について

質問7 学校とのやりとりで決めた配慮は、おさまへの支援に有効でしたか。

■全体 特別支援学級 (114人/小・中 支援学級全体 180人)

項目	人数	割合
有効だった	87	76%
一部有効だった	26	23%
有効ではなかった	2	2%
(合計)	115	100%

※1名のみ複数回答

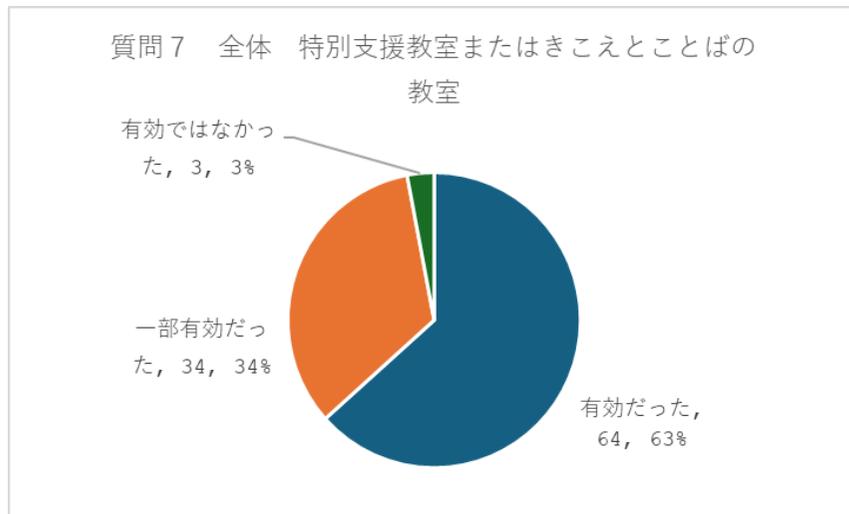
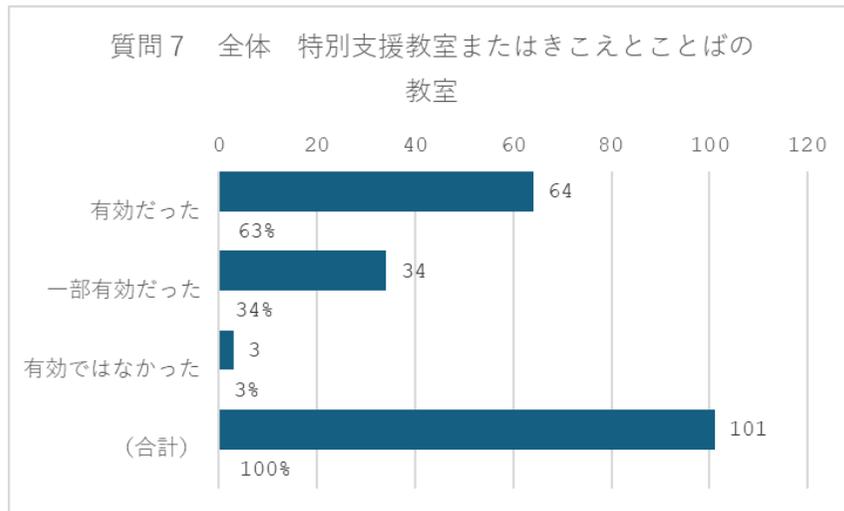


(1) 学校での個別的な配慮について

質問7 学校とのやりとりで決めた配慮は、お子さまへの支援に有効でしたか。

■全体 特別支援教室またはきこえとことばの教室 (101人/小・中 支援教室等全体 169人)

項目	人数	割合
有効だった	64	63%
一部有効だった	34	34%
有効ではなかった	3	3%
(合計)	101	100%



(1) 学校での個別的な配慮について

質問8 その配慮はお子さまにとってどのような意味があったと考えますか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援学級)

※質問1で「(学校側が配慮したことが) ある」と答えた回答者(215人/小学校・中学校 特別支援全体 349人)を対象

※自由記述のため、未記載者あり

◆小学校(学校側からの配慮を経験した 168人 / 小学校 特別支援全体 268人)

<p>㊦小学校 特別支援学級(学校側からの配慮を経験した 83人 / 小学校・特別支援全体 129人)</p>	
<p>まとめ(暫定 5カテゴリー:「心理面の状況」「認知・行動面の状況」「適応に関する状況」「本人への関わり」「その他」)</p>	
<p>※カテゴリー(暫定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心理面の状況: 認識に関する変化等</li> <li>・認知・行動面の状況: 授業内容や必要なスキル習得による変化等</li> <li>・適応に関する状況: 学校生活の変化等</li> <li>・本人への関わり: 教員や家族への影響</li> <li>・その他: 上記に該当しない内容</li> </ul>	

No.	カテゴリー	配慮内容
1	心理面の状況	自信をなくしたり、自尊心が傷つかないように配慮し、本人の自信をつけたり、できた!と達成感を感じられるようにということを第一に考えられたので、ムリなく、でも頑張りながら取り組んでいたと思う
2	心理面の状況	教室に入れるまでろうかやくつ箱などで立ち止まり入れないという時間を散々過ごしてきたが、自信を取り戻したきっかけになったと思います
3	心理面の状況	テストが全くとけないということがなく、自信につながっている
4	心理面の状況	意見が通ったことで担任への信頼感が増した
5	心理面の状況	少人数のため話しやすい環境であること、めあてを持って達成しようという意欲が出たこと、楽しいゲームを教えてもらい、刺激をもらったこと
6	心理面の状況	母子分離につながった 先生との信頼関係ができた 思いを先生に伝えることができ 自信につながった

(1) 学校での個別的な配慮について

質問8 その配慮はお子さまにとってどのような意味があったと考えますか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援学級)

7	心理面の状況	信頼関係のある先生からの指導、サポートにより、意欲向上や状況改善が見られた
8	心理面の状況	安心して教室へ入ることができるようになった。
9	心理面の状況	安心、信頼の獲得。成長に繋がった。
10	心理面の状況	安心感を得られた
11	心理面の状況	靴箱の場所が変わったことで、学校への負担がひとつ減った。音がしんどいことを隠したり我慢しなくてもいいんだという安心感にも繋がった。
12	心理面の状況	自信につながった
13	心理面の状況	安心感や、実際に出来たという達成感は、通常の内容だと本人が最初から難しく感じて受け入れられず思えなかった感情だと思うのでとても意味があった。 また気持ちが崩れた時に一人で気持ちを立て直す経験は今後必要になってくるので、安心できる場所で気持ちを一人で立て直せたのは本人の自信にも繋がったと思う。
14	心理面の状況	不安感を和らげる効果があったと思う。
15	心理面の状況	自分に自信を持てた、大人を信頼する、 安心感を得て、新しい事に挑戦し、日々意欲的になれました。
16	心理面の状況	いつも一律のルールについていけず、投げ出すことが多かったのだが、ゆっくり理解することで、みんなと一緒に音楽会に出れる楽しさ、成功する嬉しさを体験できたと思う。
17	心理面の状況	自分の気持ちを受け止めてくれた、話を聞いてくれたという大人(親以外)への信頼関係に繋がったと思う。
18	心理面の状況	尊重されたことで自己肯定感につながった。
19	心理面の状況	意欲をなくさず、前向きに取り組めた。 テストで、良い点が取れた喜びがありました。
20	心理面の状況	パーテーションがあることで安心できた。相談したら担任が対応してくれることが分かった。
21	心理面の状況	本人も興味を持って取り組んでいる
22	心理面の状況	色々上手いかずつまづく事が多いなか、 配慮があったお陰で出来る事が増えたり 叱られる回数が減らせることで、 自信とやる気につながったと思います。
23	心理面の状況	自分の苦手としている部分は何かを考えるいい機会になった

(1) 学校での個別的な配慮について

質問8 その配慮はお子さまにとってどのような意味があったと考えますか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援学級)

No.	カテゴリー	配慮内容
1	認知・行動面の状況	学校のみんなと同じように行動できること
2	認知・行動面の状況	苦手なこともがんばってやろうと自分で決めることができた
3	認知・行動面の状況	少しずつ変わり意味がありました
4	認知・行動面の状況	クールダウンとして利用していた 気持ちの切り替えに活用できた
5	認知・行動面の状況	先生が話をしてくれてから3日後くらいに、今度は2人で文句を言ってきたので、次の日に先生と話をし、その2人とは、しばらくの間、3人で遊ばない、言いたいことがあったら先生に言う事を決めて頂き、怖いと言っていたのですが、学校に休む事なく行けています
6	認知・行動面の状況	・少しずつ、1番にならなかったときの気持ちの切り替えが上手くなっている ・自席でみんなと一緒に教室空間にすることが出来ている
7	認知・行動面の状況	苦手なことへの負担を減らすことで、「書けないから勉強がキライ」ではなく、より学習に取り組みやすくなり、教室で学習出来る様になった
8	認知・行動面の状況	正解の行動を決めることで、本人が逸脱に気づきやすい 行動に課題はあるが本人を否定するものではない事を理解している
9	認知・行動面の状況	学校は、安全で楽しく過ごせる所だと本人が思える様になってきた 毎日学校へ通うことが出来る様になった
10	認知・行動面の状況	全くやらなかった宿題がやれるようになった
11	認知・行動面の状況	周りの目を気にせず過ごせることが増えた
12	認知・行動面の状況	自分自身で考える力が少し身について来ている
13	認知・行動面の状況	イライラしてたあとに落ち着くのが早くなったと思う

(1) 学校での個別的な配慮について

質問8 その配慮はお子さまにとってどのような意味があったと考えますか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援学級)

14	認知・行動面の状況	1の姿勢が安定して授業に集中できるようになった。 2の学習により前向きに取り組めるようになった。 3の本人のやることができ学校に行く理由、楽しみが増えた。
15	認知・行動面の状況	・排泄の失敗が減ったこと ・疲労感とどう向き合うか考えるきっかけになった(解決したとは感じていない)
16	認知・行動面の状況	集団生活、団体行動ができるようになった。
17	認知・行動面の状況	「今、何をやる時間なのか」と意識出来るようになってきました。 物事の切り替えはまだ苦手ではありますが、受け入れられるようになってきました。
18	認知・行動面の状況	読み書きが苦手な事で、授業全てが苦手にならないように。 気が散ってしまっても、先生から近い為授業の内容に戻れる。
19	認知・行動面の状況	授業とは別に、自分の気持ちのコントロールの仕方や友達との関わり方について考える機会をつくってくださりクラスでも過ごしやすくなったと思う。
20	認知・行動面の状況	学校生活の中でトイレに行けるようになり、排泄を我慢しなくてよくなり、安心して学校生活を過ごせるようになった
21	認知・行動面の状況	学校生活の中でトイレに行けるようになり、排泄を我慢しなくてよくなり、安心して学校生活を過ごせるようになった
22	認知・行動面の状況	パーテーションを立てることで解決したこともあれば、よけいに気になったり、これはどうしようもないとあきらめが入る部分もあった。 ただ全体として「周りを変えられないけど、対策を立てれば自分の環境は変えられるよね」というメッセージになったと思う。
23	認知・行動面の状況	他のお友達に迷惑をかけてしまうイタズラをしそうになった時、教員がそばにいて一旦止まって一緒に考えるようになりイタズラをしなくなってきました。自分の行動を考えるきっかけになっていると思います。

(1) 学校での個別的な配慮について

質問8 その配慮はお子さまにとってどのような意味があったと考えますか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援学級)

24	認知・行動面の状況	こども自身が自分に最適だと思うやり方を考えながら選択して、それが有効かどうか、本人が認識することで、改善策が見えて、本人にも自分を知る良い進め方だと感じます。
25	認知・行動面の状況	<p>上記の通りです</p> <p>：こだわりが強い息子で「先生や友達の名前を言えないこだわり」が入学当初からありました。</p> <p>それに対して担任の先生が、先生一人一人に動物のあだ名を息子と一緒に考えてくれて(ねこ先生、ひつじ先生、など)先生方をあだ名で呼ばせていただきました。</p> <p>お友達の名前は、先生が毎回一文字ずつ息子と交互に言ってくれたり(先生→「た」息子→「ろ」先生→「う」…という感じ)根気強く付き合ってくださいました。</p> <p>おかげで、3年生になった今では(まだ少し言いにくそうにする場面はあるものの)どの人の名前も9割方言える様になりました。</p> <p>更に、学校の生徒用トイレで排便が出来ないこだわりもあり(騒がしい、ウォシュレットがない、などの理由で。おしっこは出来てます)便意が来ると我慢してしまい、その後の活動に支障が出てしまう(いつも以上にボーっとする、イライラするなど)でしたが</p> <p>担任の先生が校長先生に許可をとっていただき、子供達の教室から離れた職員室近くのウォシュレット付きのお客様トイレを貸していただけました事で、学校で便意が来ても1人でサラッと行き、またすぐに活動に戻れるようになりました。</p>
26	認知・行動面の状況	自分で対処するすべを学ぶ事が少しずつ出来るようになってきている
27	認知・行動面の状況	学校に行く事が苦にならない。
28	認知・行動面の状況	配慮してもらってもなかなか課題がクリア出来ず(続けられない)悩んだことも多かった。だがクラス替えがあり担任も変わり少しずつだが自分で意識して行動に繋がるようになってきたと思う。
29	認知・行動面の状況	気持ちの整理のしかたを学んでいる
30	認知・行動面の状況	トイレにスムーズに行けるようになったり、給食が喉につまったりする心配がなくなった。

(1) 学校での個別的な配慮について

質問8 その配慮はお子さまにとってどのような意味があったと考えますか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援学級)

31	認知・行動面の状況	自分にあった学習方法がわかってくることで、明確な目標に向かって頑張ることができるようになった。
No.	カテゴリー	配慮内容
1	適応に関する状況	学校生活への負担が軽減できた
2	適応に関する状況	以前よりは、学校生活を過ごしやすくなり楽しいと感じることが増えたと本人が言っていたから。
3	適応に関する状況	生活しやすい環境で、マイペースで学習できる
4	適応に関する状況	集中しやすくなった。 指示が理解出来ていない時に、先生から気づいてもらいやすくなりました。
5	適応に関する状況	学校生活を前向きに考えられるようになった
6	適応に関する状況	意味があると考えます。たまにドラムセットを叩かせてもらう事で息抜きになっているようです。
7	適応に関する状況	授業についていけているか、先生が早めに気付けて声かけをしてもらえる。
8	適応に関する状況	学校生活を楽しく過ごしている。
9	適応に関する状況	(【質問3】に記載した通りです)  息子は人が大好きで、お友達と先生がお話している時でも、状況(今は、先生が他のお友達とお話しているから、少し待ってしようとか)を確認せずに、その時に自分が思った事を割り込んで話をしてしまう事について相談しました。  そしたら先生は「皆 そうだから気にしなくて良いですよ」と納得させてくれました。
10	適応に関する状況	子供が学校へ行く事への不安が無くなりました。

(1) 学校での個別的な配慮について

質問8 その配慮はお子さまにとってどのような意味があったと考えますか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援学級)

11	適応に関する状況	本人に決定権を持たせていただいたので、無理強いせず見守っていただけたことはプレッシャーにならず参加しやすくなりました。
12	適応に関する状況	楽しく特別支援学級に通えている
13	適応に関する状況	小学校生活という先の見えない新しい生活のスタートを、彼が安心できる形でできたことで、これからの日々に期待感や安心感が持てた。
14	適応に関する状況	子供の特性を理解して配慮してくれた事自体が子供や私自身を受け入れてくれていて安心したし、救われた。
15	適応に関する状況	放課後登校、別室での学習から、徐々にクラスで授業を受けられるようになった。(その後また不登校中)
No.	カテゴリー	配慮内容
1	本人への関わり	本人の気持ちを尊重すること
2	本人への関わり	周りの子どもにも、援助せれ支援されやすい体制だった。
3	本人への関わり	困っていることがあると大人たちが認識することができたので、本人の様子を気かけられるようになった
No.	カテゴリー	配慮内容
1	その他	どのくらい有効だったかは、分からない 意味も今はわからない が、先々で教えてもらった経験が自信を持てたり、振り返ることができると良いと思う
2	その他	一番有効だったのは支援級への転学でした 日本語指導員の配置と宿題の軽減は、一部有効でした
3	その他	まだわからない

(1) 学校での個別的な配慮について

質問8 その配慮はお子さまにとってどのような意味があったと考えますか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

☑小学校 特別支援教室またはきこえとことばの教室 (学校側からの配慮を経験した 85人 / 小学校・支援教室等全体 139人)

まとめ (暫定 5 カテゴリー: 「心理面の状況」「認知・行動面の状況」「適応に関する状況」「本人への関わり」「その他」)

※カテゴリー (暫定)

- ・心理面の状況：認識に関する変化等
- ・認知・行動面の状況：授業内容や必要なスキル習得による変化等
- ・適応に関する状況：学校生活の変化等
- ・本人への関わり：教員や家族への影響
- ・その他：上記に該当しない内容

No.	カテゴリー	配慮内容
1	心理面の状況	「学校に不安を感じる私はダメなんだ」から「自分の行ける授業に出る私でもいいんだ」と自分を認められるようになった
2	心理面の状況	・他者からの視線をさえぎる ・先生や友達から受け入れてもらえている、大切にしてもらえているという安心感
3	心理面の状況	困り感が少なくなり、とても楽しそうに先生の話もする様になった やる事が明確になったことで先生に誉められたし、自信につながっている
4	心理面の状況	先生から優しい声掛けや(雰囲気も作ってくれたり)、バースデーカード、応援してるカード(運動会の時など)を贈ってくれたり、本人もお礼のメッセージカードを贈ったりと、コミュニケーションの場をたくさん作って下さって、積極性と自信が少しずつ出てきて、先生や友達と話す機会が増えていっています とてもありがたく感謝しております
5	心理面の状況	自信につながっている
6	心理面の状況	点数が取れて自己有能感を得られた。
7	心理面の状況	意識づけには有効だった
8	心理面の状況	苦手ながらもとり組もうとする姿勢がみられるため
9	心理面の状況	安心感につながったと思います
10	心理面の状況	意識付け
11	心理面の状況	読めない漢字があったらどうしよう、友達に馬鹿にされるかもしれないという不安が軽減した。
12	心理面の状況	自信をつけること、成功体験を積み重ねることができたと思う。

(1) 学校での個別的な配慮について

質問8 その配慮はお子さまにとってどのような意味があったと考えますか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

13	心理面の状況	苦手ではあるけど、投げ出さずこつこつと宿題や板書に取り組み続けられました。
14	心理面の状況	行きしぶりが減り、 「相談してごらん」と伝えると安心して気持ちを伝える関係性がきずけたと思います
15	心理面の状況	自分が不安に思っていることを一緒に解決してくれる人たちがいることを知ることができた。SOSを出すこと、周囲に苦手だと伝えることができるようになった点は大きく意味があったと思います。
16	心理面の状況	教室にいられるようになって、授業も立ち歩かずに聞けるようになりましたが、一番は先生との信頼関係ができた事だと思います。問題が起った時に誰かに相談する、頼る事が出来るようになって、学校へ行くことに不安が少しづつ減ってきたと感じました。
17	心理面の状況	学校は安心して過ごせる場だと感じられる、とても大切な対応だったと思います。本人は学校が大好きです。
18	心理面の状況	大人に相談していいと言うことがわかったと思う
19	心理面の状況	授業中、目が届きやすくなった。 宿題を全てやらなくてはこの精神的負担が軽くなった。
20	心理面の状況	不安な気持ちが少しでも小さくなったかなと思います。 また、嫌な事、困った事は我慢せずに保護者や学校に相談すれば、なんとかなる事を、子どもがなんとなくでも思っていてくれるように感じます。
21	心理面の状況	困った事があった時、大人に助けを求めれば対応してもらえる。色々な工夫をすれば出来るようになるという自信がついた事。 また、学校には安心して相談出来る先生方がいるという安心感がとても意味があったと思っています。
22	心理面の状況	吃音に対する理解が広まり、安心してお友達先生と自信を持って話が出来ようになった。
23	心理面の状況	ストレスの緩和につながり、持病での入院の回数が減った。特別支援教室なら登校すると前向きな気持ちになった。
24	心理面の状況	時間内に終わらせる、できれば自力で行う、というような意識が少しずつ見えてきました。
25	心理面の状況	比較的落ち着いて学校生活ができ、「できない」「わからない」という事で不安になって固まってしまう事が少なく過ごせたと思います 入学当初、先生やお友達に「助けてほしい」と言えるようにするのも課題の1つだったので、不安が少なくなるのはとても助かりました
26	心理面の状況	自分の気持ちを言うのが苦手な子なので、先生方がしっかり話を聞いてくださり問題が解決に向かったため、自分の気持ちを伝えやすくなったと思う。
27	心理面の状況	息子にとって、「自分自身にとって大切で必要な事。だから、みんなが話すんだ!」と言う事を息子が、実際に体験し学び息子なりに納得理解出来てきている。 その1つ1つが、息子にとって自信に繋がっています。
28	心理面の状況	子供自身が上手く捉えられていないコンプレックスについて、大人がサポートしてくれるという安心感、とくに担任の先生が気遣いをして

(1) 学校での個別的な配慮について

質問8 その配慮はお子さまにとってどのような意味があったと考えますか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

		くれて自己紹介が上手くいったりなど、自信につながった。
29	心理面の状況	最終的にどの席が集中しやすかったのかはわかりませんが、色々な位置を経験できたので本人なりに自己理解が進んだのではと感じます。
No.	カテゴリー	配慮内容
1	認知・行動面の状況	トラブルの解決策の一つを覚えたと思う
2	認知・行動面の状況	本人も手のソワソワを落ち着かせる方法が分かり安心していた クラスメイトとの雰囲気（関係性）も悪化しなかった
3	認知・行動面の状況	気持ちの切り替え 言葉にできない時の代弁によって
4	認知・行動面の状況	書くことにこだわりすぎて授業の内容が頭に入らないといったことがなくなった
5	認知・行動面の状況	先生の指示を聞き逃して何をしていたかわからない等、困ることが減った
6	認知・行動面の状況	一時的に学習がしやすかったようです。
7	認知・行動面の状況	席の位置によっては落ち着かない状況になるので、安定した学校生活を送る助けになってると思います。 クールダウンも早い方が本人も楽ですし、周りへの影響も小さく済むと思います。
8	認知・行動面の状況	授業の内容が少し理解できるようになった。文の構成が苦手だけど、5W1Hがだいたいできるようになった。
9	認知・行動面の状況	授業の聞き漏らしが無くなりより聴く力がついてきた。
10	認知・行動面の状況	低学年からの個別の声掛けにより、高学年くらいから集団での行動の意味が理解できたらしく、個別に声掛けをしなくてもなんとか一斉行動ができるようになった。 漢字の採点を無闇に厳しくしなかったおかげで嫌いにならずにすんだ。
11	認知・行動面の状況	口頭説明だけじゃ上手く解釈出来なかったが、黒板に書いてあるので何回も確認して理解できるようになった。

(1) 学校での個別的な配慮について

質問8 その配慮はお子さまにとってどのような意味があったと考えますか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

12	認知・行動面の状況	トイレは促してもらうことで漏らすことがないようにできてきたこと。 言語不明瞭でも友達との関わりを大切にいただけていること
No.	カテゴリー	配慮内容
1	適応に関する状況	以前よりある「学校がきれい」という気持ちよりも「友達に会える場所、会いたい」という前向きな気持ちになった
2	適応に関する状況	学年が変わるごとに配慮していく内容も変化していったので、そのつど、変更していった
3	適応に関する状況	本人の不安感の軽減 気持ちの安定
4	適応に関する状況	まだ始めたばかりで分からないのですが、本人が気にして気をつけているようなので有効だと思う
5	適応に関する状況	先生の目の届くところなので気にかけて頂けた ただ席の位置が全く変わらないため、一番前以外の席での状況が想像がつかず、その点が心配
6	適応に関する状況	現段階で、本人が困っている様子はなさそうなので、良かったと思います
7	適応に関する状況	教室へ行かなくてもいいと気持ちが少し楽になる
8	適応に関する状況	生きる辛さを緩和させ、自分のペースで歩めばいいことを気づかせられたと感じます。
9	適応に関する状況	座席の固定で落ちついて学習ができた。
10	適応に関する状況	本人が前向きに取り組めており、少しずつ進歩が感じられる点。
11	適応に関する状況	出来なかったことが少しずつ出来るようになってきた。教室での様子の変化、友達と休み時間遊ぶようになるなど。学校が楽しいと思えるようになってきた様子
12	適応に関する状況	本人の苦痛と困難さの軽減になっていたように感じます。学校へ登校することにも前向きになりました。

(1) 学校での個別的な配慮について

質問8 その配慮はお子さまにとってどのような意味があったと考えますか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

13	適応に関する状況	授業が退屈、学校がつまらない、座ってるのが苦痛…という状況の1年から、2年生になり授業にも比較的前向きに取り組めるようになりました。授業が要因となり、学校自体に行くのを嫌がる…という事態を避けられたことに最も意味があったと思います。
14	適応に関する状況	学校での困難が少し減り、学校を嫌がることが減った。
15	適応に関する状況	子どもに寄り添い、いい面を活かし、苦手克服に向き合ってくれている。
16	適応に関する状況	同じ学習内容でもより本人の負担の少ないやり方で行えることで、本人の肉体的・精神的な負荷が減った
17	適応に関する状況	やる事があると楽、と言っています。
18	適応に関する状況	できることを増やす
19	適応に関する状況	全体の行動についていく為に必要な事だったと思う。
20	適応に関する状況	学校生活に不自由なく、自分の障害もあまり気にする事なく過ごせたと思います
No.	カテゴリー	配慮内容
1	本人への関わり	・考え方が合っていた ・担当と気が合うので、子ども本人が苦手意識を持っていたことにも楽しさを知った
2	本人への関わり	・どうして理解能力が遅いのがわかり教え方を変えることができた
3	本人への関わり	本人の言いやすい言葉か、確認してくれた。
No.	カテゴリー	配慮内容
1	その他	忙しいと言って連絡帳を全く書けずに改善しようと思わない 忘れものをしては恥ずかしい・まずいという気持ちがない

(1) 学校での個別的な配慮について

質問8 その配慮はお子さまにとってどのような意味があったと考えますか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

2	その他	結果的に少しずつ学校へ行けるようになりました 学校から支援級への転籍を勧められて悩んだ末に決断したところ、年度途中からは不可ということを経験センターの方から知らされてショックでした 学校側と教育センターとで転籍の手続きについて相違が大きいと感じました 今回は結果的に良い方向へ進みましたが、不登校児の親子は孤立しがちなので転籍が簡単にできないことを学校側にも周知していただければ幸いです
3	その他	取り上げてどうだったとかはわかりません ただ、本人は全く困った様子もなく、楽しく通えているので有効なのではないかと
4	その他	分からない
5	その他	あまりかわらない
6	その他	集中して授業を受けることができました。板書への配慮は他の先生方に相談しても、あまり配慮してもらえない担任ではなかったもので何ともいえません。
7	その他	事前に通常学級で行う合理的配慮が決まったが前の席に座ることしか実行されていない。そもそも配慮が行われていないためこの質問には答えられない。  子供にとっては通常学級で行われる指導内容についていくのに必死で事前に相談して決まった合理的配慮を担任が意識して行わないと全く相談の意味がない状態で多摩市に対して不信感があります。
8	その他	本人が宿題のとりくみを意識するようになったが、やり方そのものはあまり有効ではなかったため、見直しを依頼した。

(1) 学校での個別的な配慮について

質問8 その配慮はお子さまにとってどのような意味があったと考えますか。自由にご記載ください。(中学校：特別支援学級)

※質問1で「(学校側が配慮したことが) ある」と答えた回答者(215人/小学校・中学校 特別支援全体 349人)を対象

※自由記述のため、未記載者あり

◆中学校(学校側からの配慮を経験した 47人/ 中学校・特別支援全体 81人)

②中学校 特別支援学級(学校側からの配慮を経験した 31人/中学校・支援学級全体 51人)

まとめ(暫定 5カテゴリー:「心理面の状況」「認知・行動面の状況」「適応に関する状況」「本人への関わり」「その他」)

※カテゴリー(暫定)

- ・心理面の状況: 認識に関する変化等
- ・認知・行動面の状況: 授業内容や必要なスキル習得による変化等
- ・適応に関する状況: 学校生活の変化等
- ・本人への関わり: 教員や家族への影響
- ・その他: 上記に該当しない内容

No.	カテゴリー	配慮内容
1	心理面の状況	本人も家族も安心できる
2	心理面の状況	配慮して頂いたことでスムーズになった事はもちろんですが、 ・伝える事で解消できた経験が最大の収穫でした ・相談するというスキルが身につけた事が最大の収穫でした ・不安や問題に直面したら、パニック・泣くではなく、先生にまず先生に…という思考ができた事が最大の収穫でした
3	心理面の状況	本人の意見が取り入れられたこと わがままではないと思ってもらえたこと
4	心理面の状況	小学校の時は、 先生が本人の苦しさを理解してくれずで、気持ちを言葉にする事ができずでしたが、 特別支援学級に入ってから、 心がおだやかになり、 顔つきも変わり、

(1) 学校での個別的な配慮について

質問8 その配慮はお子さまにとってどのような意味があったと考えますか。自由にご記載ください。(中学校：特別支援学級)

		自分を理解してくれて、 自分の居場所があるという感に変わりました
5	心理面の状況	考えを整理する時間がとれた
6	心理面の状況	・子が自信をつけることにつながっている ・子にとって、安心安全な場所になり、活動への不安が減った ・小学校では不登校（通常級に在籍）だったが、現在は通えている
7	心理面の状況	「書く」というアウトプットが苦手な息子にとって、学校の「書くことが勉強」という価値観は合わず、そのことで頭には内容が入っているのに、「自分はダメだ」「頭が悪い」「将来生きていけない」と自己否定の日々で壊れてしまいそうでした タブレット入力などのアウトプットも評価してもらえて、やっと自己肯定を少しずつできるようになってきました 主任移動後、落ち着きました。中1の春日直日誌が書けず、叱責を受け不登校に
8	心理面の状況	安心感が生まれ（ダメだったらお弁当があると）、給食の時間を過ごすことができている 結果、食べれるものが増えてきているような気がします まだ、お弁当は一度も利用していません
9	心理面の状況	学校の中で、子供が相談できる大人が増えた事 安心できる場所が増えた事
10	心理面の状況	本人としては「先生の口うるささ」は減り、「理解してもらえている」感覚は増えたようです
11	心理面の状況	苦手な音を避けられる 自分の気持ちをわかってもらえたことで先生を信用できた
12	心理面の状況	小学生の頃より全く別人では？と思えるほど前向きな性格になりました。
13	心理面の状況	自分の意見を聞いてくれる、無理を強いられない、ということで信頼関係ができたと思う。
14	心理面の状況	椅子からずり落ちてしまうのはメンタル面の問題が大きかったので、平常時に椅子から落ちてしまうことはまあまあ避けられました。
No.	カテゴリー	配慮内容
1	認知・行動面の状況	配慮をした数日は朝からではないが学校に行ってくれた
2	認知・行動面の状況	やり方が分かると勉強を進めることができる。

(1) 学校での個別的な配慮について

質問8 その配慮はお子さまにとってどのような意味があったと考えますか。自由にご記載ください。(中学校：特別支援学級)

3	認知・行動面の状況	誰かにやってもらい、で終わってしまうと同じ場面に直面した時にまた困るので、最終的に一緒に言いに言ってくださったことは今後少しの勇気になると感じています。
4	認知・行動面の状況	ジッとしていることが苦手なので、無理に座ることを促すと痙攣などをおこすので、そうなる前に本人が落ち着ける場所を用意してもらえたことで学校でパニックなど起こすことなく過ごせている。
5	適応に関する状況	ストレスなく、ちゃんと整えて学習できたようです
6	適応に関する状況	死を意識するほど、外に出るのが辛いようだったので、無理をさせないようにしない学校の配慮は、“生きる”という希望につながったと考えます
7	適応に関する状況	朝スムーズ
8	適応に関する状況	それぞれ個人で特性の感覚は違うのできちんと、自分の子供にあった配慮をして頂いている。
9	適応に関する状況	不登校でもオンライン授業に参加することで、先生方やクラスメイトと交流することができるのは再登校へ繋がると思っています。また、本人が疎外感を感じにくくなっていると保護者として感じます。
10	適応に関する状況	自分から進んで学校に行く様になったし、家でも勉強する様になってきた。
11	適応に関する状況	時間を要したものの、一学期から三学期にかけて徐々に登校日数が増え、途中登校や早退にも罪の意識を持たず、自分の状態を先生にも伝えることが出来るようになってきました
No.	カテゴリー	配慮内容
1	その他	本当は、うるさい人を隔離するべきであり、うるささに耐えられない人が隔離されることには少し疑問を感じましたが、共存するために仕方がないのかな、と思いました。
1	その他	まだ始まったばかりでどう配慮されているかは不明。 ただ、本人の努力でなんとか凌いでいる様子もある。

(1) 学校での個別的な配慮について

質問8 その配慮はお子さまにとってどのような意味があったと考えますか。自由にご記載ください。(中学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

☑中学校 特別支援教室またはきこえとことばの教室 (学校側からの配慮を経験した 16人 / 中学校・支援学級等全体 30人)

まとめ (暫定 5 カテゴリー: 「心理面の状況」「認知・行動面の状況」「適応に関する状況」「本人への関わり」「その他」)

※カテゴリー (暫定)

- ・心理面の状況：認識に関する変化等
- ・認知・行動面の状況：授業内容や必要なスキル習得による変化等
- ・適応に関する状況：学校生活の変化等
- ・本人への関わり：教員や家族への影響
- ・その他：上記に該当しない内容

No.	カテゴリー	配慮内容
1	心理面の状況	宿題ができないきょうふしんが減った
2	心理面の状況	内容を理解していることを認められた
3	心理面の状況	問題の理解の向上や、テストを受けるプレッシャーの軽減に役だった。
4	心理面の状況	工夫すれば、通常学級で過ごすことができる。みんなと一緒にできる。 という自信につながったと思います。
5	心理面の状況	学校への行き渋りがなくなった。学校は勉強ができなくて自己肯定感が下がる所という認識だけでなく、楽しい所であるという認識が生まれた。
6	心理面の状況	学校への行き渋りがなくなった。学校は勉強ができなくて自己肯定感が下がる所という認識だけでなく、楽しい所であるという認識が生まれた。
No.	カテゴリー	配慮内容
1	認知・行動面の状況	元々人見知りで、あまり自分の気持ちを伝えることが苦手な子です ゆっくりと話を聞き出してくれ、 今では話せる (自分から) ようになってきたと思います
2	認知・行動面の状況	・定期的に物や情報を整理することでやるべき行動が明確になる (提出物の内容、期限など) ・クラスを離れた子とは共有の友人を通して、中学に入って仲良くしている。同じクラスで同じタスクをこなさないといけない状況から解放された事が良かったかもしれない

(1) 学校での個別的な配慮について

質問8 その配慮はお子さまにとってどのような意味があったと考えますか。自由にご記載ください。(中学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

3	認知・行動面の状況	準備の遅い理由の一つにどこに何があるかわからないがあるので、遅れずに行動することが出来たと思います。
4	認知・行動面の状況	声かけによって注意が戻り、授業や話に注意が向く。
5	認知・行動面の状況	より自立的に自分の主張ができるようになった。
No.	カテゴリー	配慮内容
1	適応の状況	本人がやりやすくなった
2	適応の状況	通常学級と支援教室、そして家庭が連携していることで、子供の困り感が減ったように思います。

★配慮は子どもに自信をつけ、安心感を与えることにつながった。

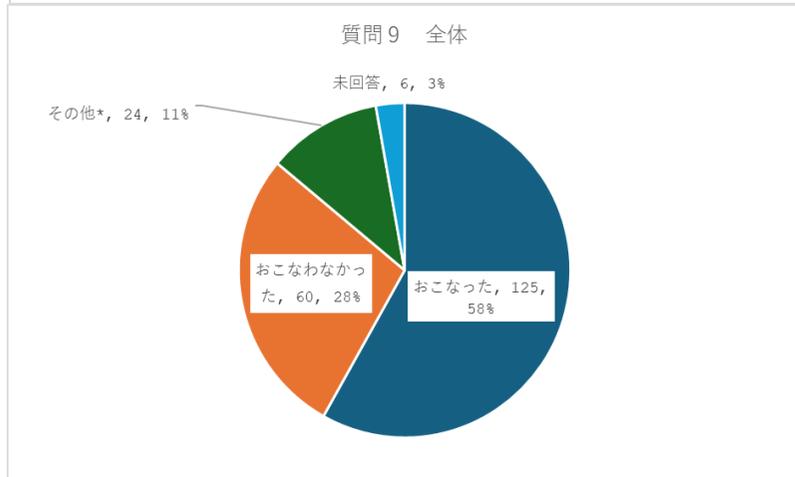
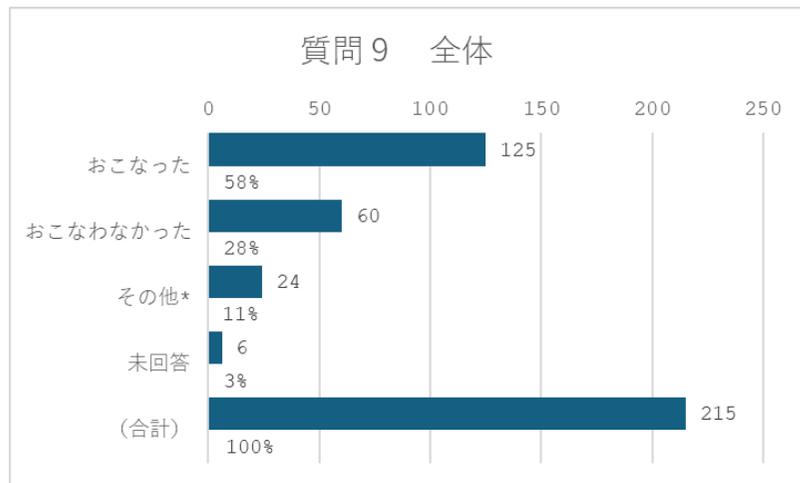
(1) 学校での個別的な配慮について

質問9 決まった配慮内容について、その後学校と見直す相談などはおこないましたか。

※質問1で「(学校側が配慮したことが)ある」と答えた回答者(215人/小学校・中学校 特別支援全体 349人)を対象

■全体(215人/小・中 特別支援全体 268人)

項目	人数	割合
おこなった	125	58%
おこなわなかった	60	28%
その他*	24	11%
未回答	6	3%
(合計)	215	100%



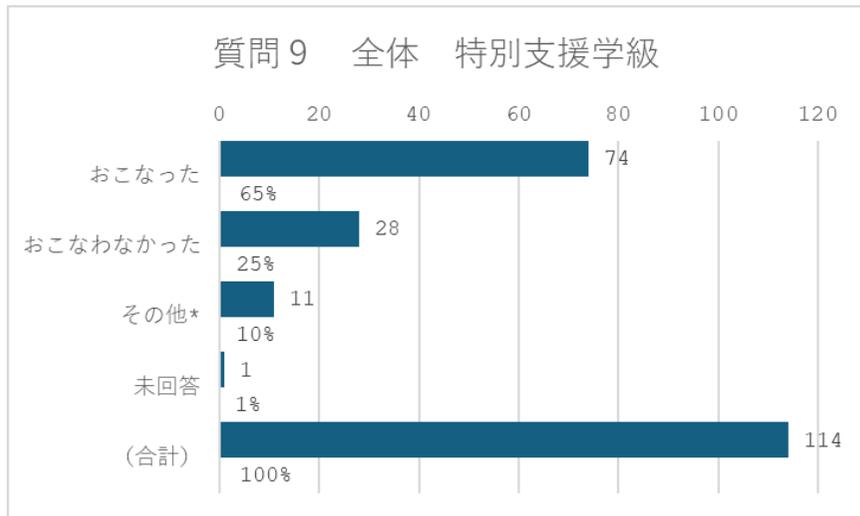
(1) 学校での個別的な配慮について

質問9 決まった配慮内容について、その後学校と見直す相談などはおこなわれましたか。

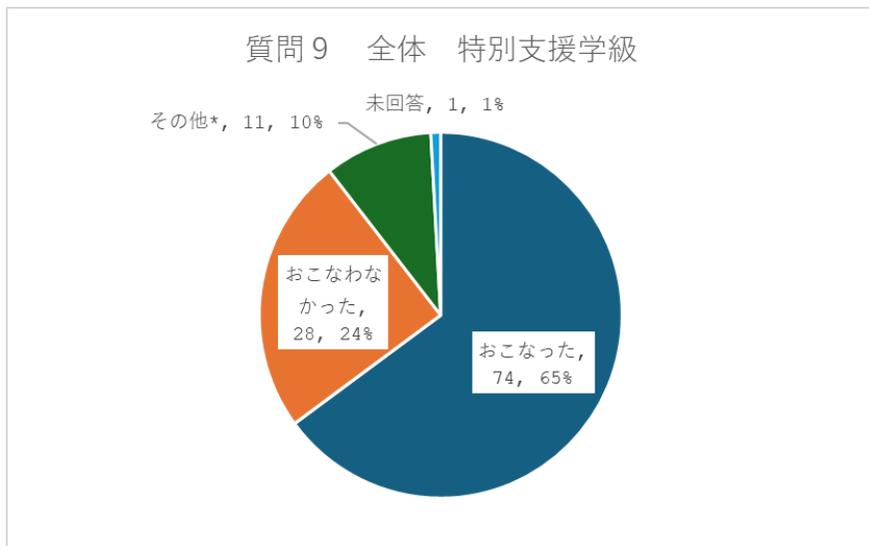
■全体 特別支援学級（114人/小・中 支援学級全体 180人）

項目	人数	割合
おこなった	74	65%
おこなわなかった	28	25%
その他*	11	10%
未回答	1	1%
(合計)	114	100%

その他\*  
 まだ行ってない  
 相談中  
 子どもの様子を情報交換しながら、適切な配慮を継続していただいている。  
 ウォッシュレットトイレについては、出来るだけみんなが使っているトイレでできる  
 様になると良いね、と言う感じで本人の気持ちを聞きながら、最終的には生徒用ト  
 イレでできる様にしていこうね、と言っています



・学級では見直しをしている率が高い。

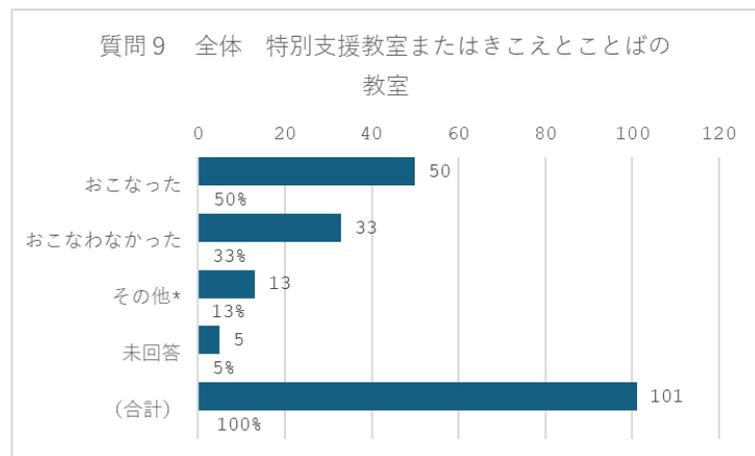


(1) 学校での個別的な配慮について

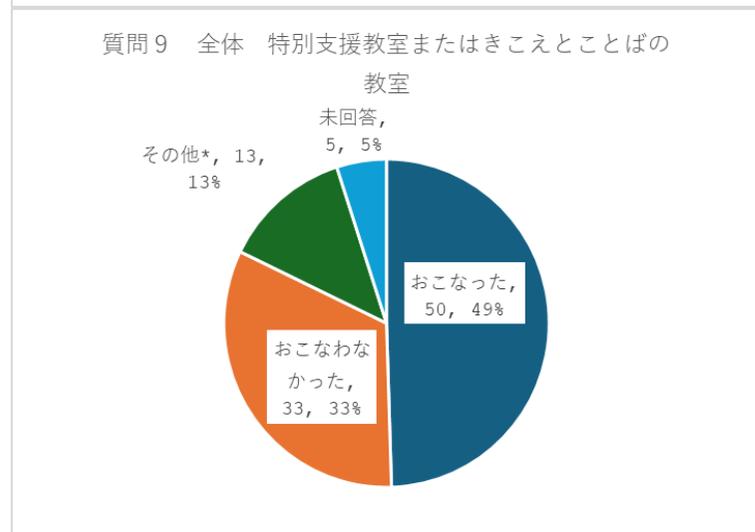
質問9 決まった配慮内容について、その後学校と見直す相談などはおこないましたか。

■全体 特別支援教室またはきこえとことばの教室 (101人/小・中 支援教室等全体 169人)

項目	人数	割合	その他*
おこなった	50	50%	まだ経過観察中であり、ご配慮も継続中です その都度面談にて有効性を検討してきました。
おこなわなかった	33	33%	その他空欄 はじまったばかりでまだ評価できる段階でない
その他*	13	13%	本人の状況に応じて 担任が変わり、今度は突然一番後ろの席に変わっていました。担任なりの配慮だそうです。子供からの報告で知りました。
未回答	5	5%	その後音楽室に入れるようになったので、解決した
(合計)	101	100%	年度ごとに親から担任へ配慮のお願いをしており、年により配慮内容が少し変わることはある 今後どのような対応をしていけばよいのか考え中 毎朝先生と会うのでその都度お話をしています。



・教室だと半分。一回やったらそれでよいになるか。



(2) 合理的配慮について

質問10 「合理的配慮」について、どのくらい知っていますか。

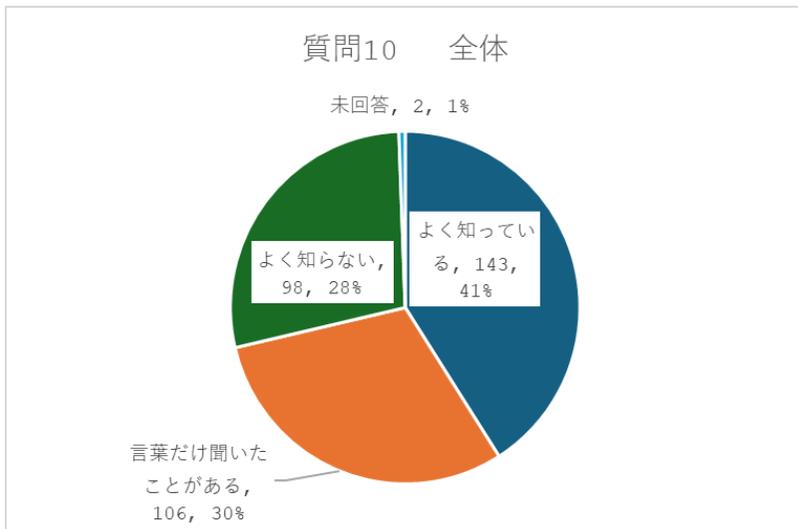
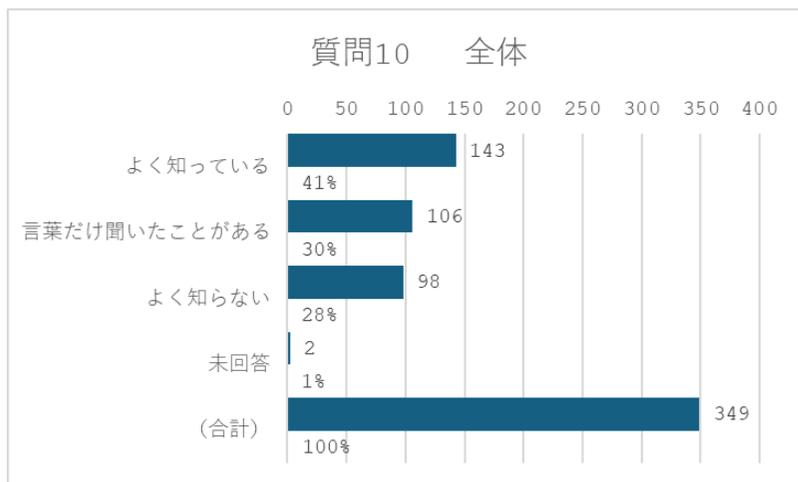
■全体

項目	人数	割合
よく知っている	143	41%
言葉だけ聞いたことがある	106	30%
よく知らない	98	28%
未回答	2	1%
(合計)	349	100%

・小学校は、通常級、特別支援学級、特別支援教室のいずれでも、合理的配慮について「言葉だけは聞いたことがある」「よく知らない」を60%であり、合理的配慮の理解が進んでいるとは言えない実態であった。

・中学校では、「言葉だけ聞いたことある」「よく知らない」は40%であり、小学校よりも理解が進んでいるようであった。

・しかし、中学校では特別支援教室のみ、「言葉だけ聞いたことがある」「よく知らない」が63%であった。このことは、母数30と少なかったことが影響していると考えられた。

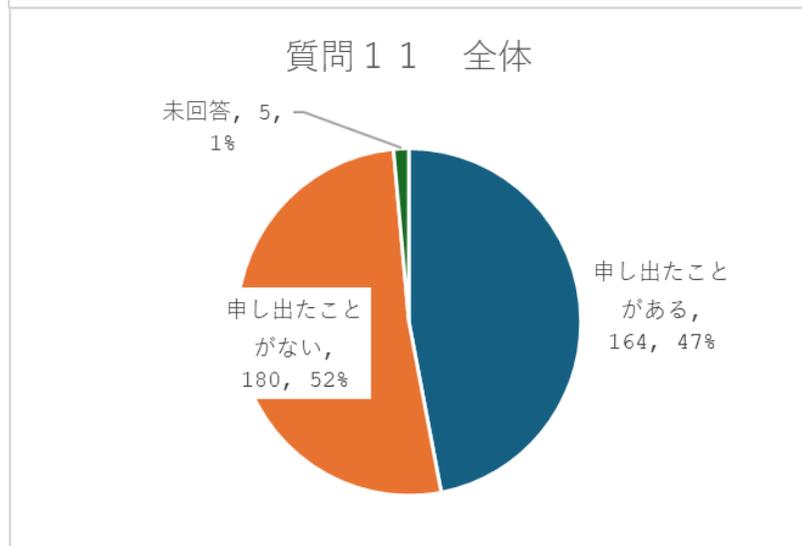
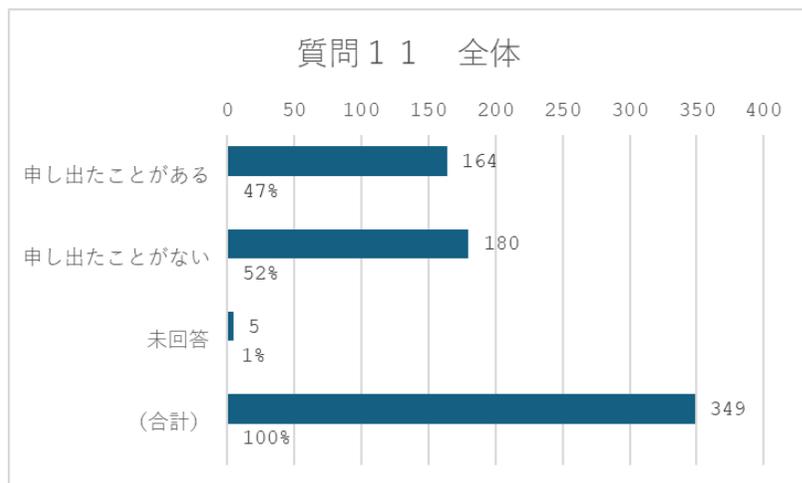


(2) 合理的配慮について

質問 1 1 お子さまが「合理的配慮」を得られるように保護者から申し出たことがありますか。

■全体

項目	人数	割合
申し出たことがある	164	47%
申し出たことがない	180	52%
未回答	5	1%
(合計)	349	100%



(小)

4 : 6

学級なのに申し出てないのは？

学級はすでに配慮がUD化されている？

(中)

6 : 4

中学はよく知っている 7割

申し出 6割

知っている と 申し出 に 1割差

・小学校では、申し出したことがない人は、56%であり、半数以上が申し出をしていなかった。最も申し出をしていなかったのは特別支援学級の60%であった。

・中学校では申し出したことがない人は40%で、小学校よりも中学校の方が申し出したことがある人が高い。

・中学校でもっとも申し出したことがあるのが多かったのは、特別支援学級 59%で約6割は申し出をしていた。

(2) 合理的配慮について

質問12 どのようなことを申し出ましたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援学級)

※質問11で「(合理的配慮を申出たことが)ある」と答えた回答者(164人/小学校・中学校 特別支援全体 349人)を対象

※自由記述のため、未記載者あり

◆小学校(合理的配慮を申出た 118人 / 小学校・特別支援全体 268人)

<p>㊦小学校 特別支援学級(合理的配慮を申出た 52人 / 小学校・支援学級全体 129人)</p> <p>まとめ 暫定 6カテゴリー</p> <p>「授業参加」「授業参加/学校生活」「学校生活」「学校生活/就学環境調整」「就学環境調整」「その他」</p> <p>※カテゴリー(暫定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業参加：教材や学習面、学習環境等に関する手立て(主に授業参加に関わる内容)</li> <li>・学校生活：対人面、行動(計画)面、登校面等に関する手立て(授業に関する内容は「授業参加」を優位)</li> <li>・就学環境調整：就学に関わる相談等(外部機関を含む)</li> <li>・その他：上記に該当しないもの</li> </ul>
---

No.	カテゴリー	配慮内容
1	授業参加	わかりやすいようにゆっくり話す
2	授業参加	書字量の調整や、イヤーマフの使用、指示内容の理解の確認や細かい声かけ。
3	授業参加	昨年度の出来事。 微細運動が苦手なため筆記の宿題に、とても時間がかかる。さらに、字の丁寧さを大切にする担任から直しがたくさん加わったことによって、より書くことへの苦痛が強くなった。 そのため、提出するものは家で何度も直したものになるため再提出の数を減らしてもらい、できているものへの○をみてわかるように(本人の自身につながるように)してほしい、と伝えた。
4	授業参加	板書が苦手なので、重要な部分は先生が記入してくれました。 上手に字が書けない(とくに漢字)の書き取りは、甘めに採点して頂きました。
5	授業参加	同上  ：板書よりも授業の理解を優先させてほしい

(2) 合理的配慮について

質問12 どのようなことを申し出ましたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援学級)

		集中力の持続が難しいので、前列の席にしてほしい 宿題の量の調整など
6	授業参加	宿題の調整
7	授業参加	転入前の普通学級では2年生から授業をまともに受けていない状態のため、現行4年生だけど2年生の勉強からまた教えてもらいたい旨お伝えしました。
8	授業参加	宿題の配慮(宿題量の調整など)
9	授業参加	自分が出来ない事を諦めて欲しくない、との思いから、宿題の短縮、漢字の止め、ハネ、漢字の形にとらわれず、やれた事を褒めて頂く。
10	授業参加	子どもの特徴にあわせた学習
11	授業参加	一斉指示が通りにくいので、通じて無さそうだったら個別に支持して欲しい
12	授業参加	別室での学習、クラスでひとりだけ違う学習をすること
No.	カテゴリー	配慮内容
1	授業参加 学校生活	忘れ物が多いので声掛けしてほしい いたづらをするお友達から席を離してほしい
2	授業参加 学校生活	家での過ごし方 (宿題をやらなければならないのに、ゲームの誘惑に勝てず、宿題を後回しにしてしまう →宿題がたまっていく →担任の先生も交えて考えて頂き、しばらくは放課後に学校で宿題をさせて頂けた →本人、家で荒れることが少なくなった)
3	授業参加 学校生活	入室に時間がかかるため(ドキドキしてしまう) パーテーションを使用した
4	授業参加 学校生活	毎日チェックノートに書いている宿題の箇所に、ふせんを付ける→本人が分かりやすくする 登校時の保護者の送り →1人時間への不安削除
5	授業参加 学校生活	座席の配慮 本人の性格、理解力への配慮
6	授業参加 学校生活	書くことが苦手な為、宿題等の書く量を減らしてもらいました また、人前で着替えたりする事を嫌がる為、別室で着替えさせたりしてもらってます

(2) 合理的配慮について

質問12 どのようなことを申し出ましたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援学級)

7	授業参加 学校生活	<p>質問3の2と3</p> <p>：2子供からの相談</p> <p>1年生なりたての頃、宿題を楽しみにしていたが、まだなかった。 連絡ノートで事情を説明するとすぐに翌日から宿題を出して下さった。 本人は大喜びで、より前向きに学習に取り組むようになった。</p> <p>：3親からの提案</p> <p>毎日日直をやりたいと聞かず、授業のスムーズな流れを遮断してしまっていた。 面談時に、“日直以外に何か役割を与えたら納得するのでは”と伝えると、翌日からクラス全員に役割が与えられた。 本人は自分の仕事ができる日直に固執しなくなった。</p> <p>――</p> <p>また、普通級にどんどん参加させたいという意向を入学当初から伝えてきました。 1番最初の面談では、本人が活躍できる場はまだ支援学級の方ではないか、普通級まで1人で通い1人で帰ってくる能力がまだ整っていないのではないかという理由で見送りとなりました。 しかし、その後は保護者からの提案のみではなく学校側から、普通級の中休みの遊びの会への参加・音楽授業への参加・社会授業への参加を段階を踏んで提案してくださっています。</p> <p>その他の小さいことでも、困り事や課題を常にやりとりしてくださり、いつも迅速に配慮してくださっています。</p>
8	授業参加 学校生活	勉強の補助、困りごと解消にむけての補助など
9	授業参加 学校生活	自由登校
10	授業参加 学校生活	クラス内のクールダウンエリアを増やして欲しい。 (痲癢が激しいクラスメイトが既にあるクールダウンエリアを独占していたため)
11	授業参加 学校生活	質問3と同じになりますが、まわりの子の動きが気になり、本人の不安感につながっているため、パーテーションを申し出ました。

(2) 合理的配慮について

質問12 どのようなことを申し出ましたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援学級)

12	授業参加 学校生活	<p>本人の前に座っている子がよく動く子で、その子の動きが気になって授業に集中できていない様子があったことから、前の席に替えてもらうようお願いした。</p> <p>課題が他の子より早く終わることが多く、余った時間待っていなければならないので、そういう時間に本人が好きな工作などできるように、机の引き出しにはさみ、色えんぴつ、折り紙を常時入れておくこと、また、本人が望むようであれば別の課題を与えることを提案した。</p> <p>リソーススペースが教室内に入学当時はあったが、6月ぐらいにはなくなってしまった。クールダウンのために、教室内が無理なら他の場所に確保できないかとお願した。</p> <p>上記のことを書面でお渡しした。</p>
13	授業参加 学校生活	<p>クラスメイトの悪い言動を受けて本人が不穏になってしまう事が多々あったので、嫌な事を見たり聞いたりしない様に空いている隣の教室を利用したり、リモートを利用したりできないか提案してみたがそのままやむやになってしまった。</p>
14	授業参加 学校生活	<p>集中が切れやすいのでなるべく席は前の方でお願いしたい</p> <p>説明が上手くできないことがあるので聞き取りを丁寧にしてもらえると助かる</p>
No.	カテゴリー	配慮内容
1	学校生活	<p>集団生活や集団学習の中で、支障なく過ごせる工夫</p> <p>イヤーマフの利用、食事への対応など</p>
2	学校生活	<p>給食のたべずきらいについて</p> <p>友達のかかわり方について</p>
3	学校生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生との信頼回復</li> <li>・聴覚過敏への配慮</li> <li>・先生への援助要請のしやすさ</li> </ul>
4	学校生活	<p>普段の生活についての、苦手・得意なことについて</p>
5	学校生活	<p>先述の通り</p> <p>：・排泄感覚の弱さからの失敗を防ぐ声かけ</p> <p>・強い疲労感を軽減するための休憩の取り方に関する配慮</p> <p>・ストレスレグによる起立姿勢の維持の困難さから朝会などで座るまたは歩き回る事への許可(許可を得るような問題でも無いと感じますが)</p>

(2) 合理的配慮について

質問12 どのようなことを申し出ましたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援学級)

6	学校生活	トイレに強いこだわりや不安があり、学校で排泄を我慢してしまうため、配慮をお願いした。
7	学校生活	学校では常に気を張っていて疲れてしまい、家で爆発することが続いた。本人は「休憩の仕方が分からない、休憩なんてしてはいけない」という考えだったので先生に相談した。
8	学校生活	大人と喋れないので、救助要請をだせるように配慮
9	学校生活	怒鳴る教師がいるので ・人格否定になること ・それによって二次障害が出ていること を伝え、それをやめてほしいと伝えた
10	学校生活	感情がたかぶると、泣いたり、大きな声を出してしまう。それを回避できるよう、本人にも早めにその場から離れたり、大人に相談するよう伝えている。そのことを担任の先生に事前に説明。傾聴してもらえよう、お願いをしている。
11	学校生活	発語に難があるので、生活の中で困った時は自発的に援助を求められるように促していただきたいと申し出ました
12	学校生活	質問3の回答と同じで、連絡帳を通じて、学校と連携をとらせて頂きました。
13	学校生活	人にぶつかりやすく、双方の怪我につながりやすいため、環境設定などの配慮を求めた。
14	学校生活	本人と相性の合わないクラスメイトから距離をとってほしいとお願いしました。
15	学校生活	低学年の時は、始めてのことに慣れるまで時間がかかる面や、彼女の不得手を受け入れてやらずに過ごさせてもらえたり、自信をつけてくれるような働きかけ、過剰適応しがちな面を気にかけていただきました。 その頃の話ですが、クラスにいる子が多動でずっと話をできてきてずっと不合理に要求してきて、その子と物理的に離してくれるように要求したことがありました。 お陰様で、安心安全な環境下において自己理解も進み、出来なかった事がたくさん出来るようになり、通常級での授業を受けられるようになってそちらの友達も出来るようになったし、皆から大事にされるようになっていると、本人も感じていると思います。
16	学校生活	苦手な子と距離をおいてほしい
No.	カテゴリー	配慮内容
1	学校生活 就学環境調整	子供が学校で不安に思っていること、苦手分野を全て伝えた。 整理整頓、忘れっぽさ、不器用なこと。
No.	カテゴリー	配慮内容
1	就学環境調整	転学、それ以前わかば（支援の通級）は保護者から申し出ました
2	就学環境調整	苦手な点を先生などを相談してアドバイスをもらえました。

(2) 合理的配慮について

質問12 どのようなことを申し出ましたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援学級)

No.	カテゴリー	配慮内容
1	その他	沢山ありすぎて忘れてしまった

(2) 合理的配慮について

質問12 どのようなことを申し出ましたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

<p>☑小学校</p> <p>特別支援教室またはきこえとことばの教室（合理的配慮を申出た 66人 / 小学校・支援教室等全体 139人）</p> <p>まとめ 暫定 6カテゴリー</p> <p>「授業参加」「授業参加/学校生活」「学校生活」「授業参加/就学環境調整」「学校生活/就学環境調整」「就学環境調整」)</p> <p>※カテゴリー（暫定）の観点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業参加：教材や学習面、学習環境等に関する手立て（主に授業参加に関わる内容）</li> <li>・学校生活：対人面、行動（計画）面、登校面等に関する手立て（授業に関する内容は「授業参加」を優位）</li> <li>・就学環境調整：就学に関わる相談等（外部機関を含む）</li> <li>・その他：上記に該当しないもの</li> </ul>
--

No.	カテゴリー	配慮内容
1	授業参加	必要があれば支援ツールを使って通常級で学習したいこと
2	授業参加	一斉指示を聞き逃しがちなので、あとで個別での声掛けなどがあると助かる旨をお伝えしました
3	授業参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学前に気が散らない様に席を前の方にして欲しいと伝えました</li> <li>・一人だけ図工の時間何もかけずに1時間過ぎたが、クラス担任からの声かけがなかったことを特別支援教室の先生に伝えた</li> </ul>
4	授業参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書の量を減らすこと</li> <li>・ドリルなどの書き写しの量を減らすこと</li> </ul>
5	授業参加	離席について
6	授業参加	文字に対し、とても細やかな添削をしてくださる先生でしたが、書字に困難さがあり、心理的にとても本人の負担となっている様子だったため、明らかな誤り以外は、バランスが悪いなどについての添削を減らしていただけないかご相談しました
7	授業参加	板書ができないので、タブレットでの撮影をゆるしてほしい
8	授業参加	気持ちが逸れやすいため座席を前にするなどの対応が必要と療育からいただいていたので、担任や通級の先生に相談しました。
9	授業参加	ルビつきの教科書の使用。 宿題について漢字が苦手なためイライラして適当に殴り書きで終わらせやすかったため少しでも丁寧に書いて覚えられるような取組みをするために時間に余裕がある時(休日や平日習い事のない日など)に先取りでやりたいと要望した。
10	授業参加	テストをフリガナありのものに変更したいことを申し出ました。

(2) 合理的配慮について

質問12 どのようなことを申し出ましたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

11	授業参加	気がちりやすいので席を前の方にする  全体での指示が通りにくいので個別に声をかけてもらう
12	授業参加	集団の中では指示が正しく聞けていない事がある。先生に相談しました。
13	授業参加	上記の配慮事項にある「授業中に持参したドリルの実施を許可してもらう」(高IQ児のため)
14	授業参加	書字障がいがあるため、タブレットなどの活用を申し出ている最中。
15	授業参加	質問3の内容と同じ  ：書字障害があり、漢字の書き取りの宿題が大きな負荷だったが、かかりつけの病院の心理士の助言で、紙に書く代わりに、書き取りの一部をアプリで指なぞりを繰り返す方法にもらえるよう相談し、受け入れていただいた
16	授業参加	学習障害、書字障害から、漢字の書取りの量を減らしてもらったり、授業中の板書を減らしてもらいました。
17	授業参加	座席の配慮や、エデュマイクの使用をお願いしたりしました
No.	カテゴリー	配慮内容
1	授業参加 学校生活	前の方の席にしてもらう 運動が苦手でも運動会のれんしゅうでは「できる時にやろう」とスローペースで参加し、運動会ではみんなと同じことができ自信につながった
2	授業参加 学校生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イヤーマフの使用</li> <li>・カーテンにくるまる、机の下にかくれるなどの行為をとがめないでほしい</li> <li>・頻回にトイレに行くことへの理解</li> <li>・座席の配慮（教師の目が届きやすい場所）</li> </ul>
3	授業参加 学校生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校が怖く不安になる場所」と本人が言うため、母親である私が近くにいたり、校内にいるようにしてもらった</li> <li>・ドリルは最低限できればよいとしてもらった</li> <li>・フリースクールに投稿した日は出席日数にカウントしてもらった</li> </ul>
4	授業参加 学校生活	漢字ドリルや計算ドリルの宿題の軽減。 音読の宿題を読み聞かせに代替。 漢字10問テストを漢字のみまたは読みにて点数化。 全体指導後の個別の声掛けの依頼。

(2) 合理的配慮について

質問12 どのようなことを申し出ましたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

		連絡帳の工夫。
5	授業参加 学校生活	授業でわからない事があった時に本人は訴える事ができないため、ヘルプカードの利用申し出ました
6	授業参加 学校生活	宿題について、どこが宿題として出されているかが分からないことが多いため、予定表に記入するように本人に伝えてあるが、記入していないことが多く、記入できていない理由として「どこに書いてあるか分からない」という答えだったため、それを学校に伝え、メモするように声をかけて欲しい、耳からのインプットが苦手なため、視覚で分かるようにしてほしいと伝えた
7	授業参加 学校生活	・見通しを示してほしい ・体が追い付いていない所があるので、どうしても寝てしまう時はそのままにして、その時の授業内容を親に知らせてほしい ・音楽（笛やけんばんハーモニカ）、なわとび等が特に苦手なため、支援教室でサポートして頂きたい
8	授業参加 学校生活	授業に集中できるように、席を一番前にしていただきました。また、連絡帳に翌日の予定を記入してこなくて宿題をどこをやるか分からないということが続いたので、担任の先生に毎日連絡帳の記入ができていないか、確認をお願いしました。
9	授業参加 学校生活	忘れ物が減るような声かけ
10	授業参加 学校生活	生きることが苦しい、という精神的に追い詰められた状態となったので、登校については無理をさせず、進級時のステップアップについて一旦停止をお願いしました。
11	授業参加 学校生活	○一番前の席にほしい ○デイリーレポートに協力してほしい
12	授業参加 学校生活	・書字の量の調整（まとめなど「書いてごらん」「○行書きなさい」等しつこくしないで欲しい ・担任だけでなく音楽や家庭科の先生にも知っていて欲しい ・4年生の時は、気持ちをおちつかせたり、つかれてしまった時に別室で休ませて欲しい
13	授業参加 学校生活	進級した時の環境変化に戸惑い、疲労感を感じやすいので、途中登校（2時間目から登校するなど）、疲労感が強くある時は欠席をするなどの手立てをとることを申し出ました。
14	授業参加 学校生活	上に記入した内容です。  ：給食が食べられない、視線を気にしてしまうので席をうしろの端に頂きました。
15	授業参加 学校生活	個別での声掛け、怒られると回答までに時間がかかるのでゆっくり待ってほしいなど

(2) 合理的配慮について

質問12 どのようなことを申し出ましたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

16	授業参加 学校生活	自分から質問等が出来ないので、分からないことが分からないまま授業が進んでるので困ってる様子があれば手を貸してほしい。
17	授業参加 学校生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食のおかずがほとんど食べられなくて困っている。弁当持参できないか。</li> </ul> <p>他は質問3と同様</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・吃音についてクラスへの周知</li> <li>・吃音と弁当持参について、クラスメイトから質問された時の説明用絵本の持参許可</li> <li>・宿題の書字量軽減</li> <li>・タブレットでの板書撮影許可</li> <li>・DCD 向けのリコーダーや補助具使用許可</li> </ul>
18	授業参加 学校生活	教室、特別支援教室どちらで授業をうけたり、給食を食べるか本人に委ねることとした
19	授業参加 学校生活	<p>読み書きが不得意なこと。</p> <p>箸が持てないこと。</p> <p>発音が聞き取りづらい時があること。</p> <p>暑さ寒さが苦手</p> <p>お友達との付き合いかた。</p>
20	授業参加 学校生活	自分の考えを表現するのに、筆記だと、自分の考えをスムーズに表現するのが苦手なので、タブレットを活用する。
No.	カテゴリー	配慮内容
1	学校生活	不安との向き合い方（伝え方、対処法など）
2	学校生活	お友達との関わり 物の探し方
3	学校生活	お友達との関わり 物の探し方
4	学校生活	気持ちが怒りになった時の落ち着かせ方など
5	学校生活	困ってるけど言えないでいるような時は、声をかけて頂きたいとお願いしました

(2) 合理的配慮について

質問12 どのようなことを申し出ましたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

6	学校生活	はじめはクラスにすることが辛いのではないかとと思われる状況だったため、苦痛である日直など声を出せないという苦痛を減らせないか気を許す子と同じクラスになるよう配慮を求めた
7	学校生活	・友達との関わり方 ・意見の違いで生じた喧嘩
8	学校生活	急げないこと、自分の言動が良くなかった時にすぐあやまることができない。
No.	カテゴリー	配慮内容
1	授業参加 就学環境調整	言葉の理解が難しい、わかっていないのではないかと気づいたことを伝え、それについてどんな支援ができるか、支援の見直しを求めた。
2	授業参加 就学環境調整	読み書きに問題があることを伝えました。ビジョントレーニングについて、外部の療育に通ったり、できる範囲で努力しており、無理強いないで指導してほしいことは伝えていたとおもいます。
3	授業参加 就学環境調整	中学で支援を受けるのは、まわりからの偏見もありそうだった。算数がとくに苦手だから、学校の支援だけではなく塾もあると提案をした。
4	授業参加 就学環境調整	通勤内容の共有。 おおぐり教室の小集団教室のみの授業参加
No.	カテゴリー	配慮内容
1	学校生活 就学環境調整	言葉の発語の発達が遅く、 同級生にからかわれることに本人が悩んでいることを、親が担任に申し出ました
2	学校生活 就学環境調整	支援内容や対策について、本人はどう思っているかを確認の上行ってほしいと申し出たことがある
3	学校生活 就学環境調整	吃音の真似をされることに対し、子供が自分の名前を出してそう言うことは今後やめる様伝えてほしい、吃音を皆に知ってほしいと言う気持ちを伝えてきてくれた為、そのようにしてほしいと申し出ました
4	学校生活 就学環境調整	課題に対し、やって欲しいこと、欲しくないこと、不安な事、配慮していただきたい部分を担任の先生と意見のすり合わせを行えた。
No.	カテゴリー	配慮内容
1	就学環境調整	通級と普通学級の担任で情報共有されているのか聞いた。
2	就学環境調整	積極的に協力して頂けない雰囲気のある学校だと感じていたので、面談した際に「この学校ではどんな配慮が可能ですか？」と質問したことはあります。

(2) 合理的配慮について

質問12 どのようなことを申し出ましたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

3	就学環境調整	本児の特性を理解して、ゆとりを持った関わりをしてほしい。また、困り事や困難な場面に遭遇した時は一緒に解決し保護者に報告してほしい。
4	就学環境調整	具体的な配慮方法のお願いはしていませんが、パニックを起こしやすい事などは学校と共有してあります。
5	就学環境調整	入学前に校長先生や担任の先生、学年主任の先生と会う機会を設けていただいたので、言語化しにくい子どもの難しい部分を見てもらって、「こういう子」というのを事前に知って貰いました。 本人なりの納得があれば指示に従えるので、指示の理由を話して欲しいと申し出ました。
6	就学環境調整	なぜ、発音も上手になったのにきこえとことばの教室に通うのか！ 僕にとって、あまり重要じゃないよ！かけなければパソコンがあるし。と話して来たことがありました。その時は、きこえとことばの教室の先生に相談をし息子と私（親）3人で話をしました。
7	就学環境調整	入学の時に、「菊池良和先生」の吃音の合理的配慮の本をコピーし、小学校の先生に渡した。
8	就学環境調整	入学前に、支援が必要な場合がある事や、周りとの関わりに心配がある事など伝えていた

・小学校で多いものは、「イヤーマフをつける」「宿題を減らす」「座席の配慮」「採点を甘くする」「黒板の量を減らす」等学校生活の本人への教育的配慮が多かった。保護者が、学校生活へ「お願いした」「依頼した」「配慮を求めた」また、「書面で渡した」と記載が多く、学校と対話した結果、教育的配慮が行われた記載は少なかった。

・また、「1人の担任では配慮を取り入れるのは難しいと言われた。できることはあると感じたが、こちらから言い出せなかった。子どもに向き合ってもらえず悲しかった」もあり、担任には言い出せない保護者の葛藤も記載されていた。

・一方、「毎日、日直をやりたがり授業を遮断してしまっていたが、クラス全員に役割が与えられ、日直にこだわらなくなった」とクラス全体の配慮をした事例もあった。

・こうした点から、「合理的配慮」を申し出たという中身として、合理的配慮ではなく、教育的配慮の記載も多く合理的配慮の認知に差異があることが予測された。  
また保護者の学校への提案の方法のわからなさ、どう話してよいかの葛藤があると考えられた。

(2) 合理的配慮について

質問12 どのようなことを申し出ましたか。自由にご記載ください。(中学校：特別支援学級)

※質問11で「(合理的配慮を申出たことが)ある」と答えた回答者(164人/小学校・中学校 特別支援全体 349人)を対象

※自由記述のため、未記載者あり

◆中学校(合理的配慮を申出た 46人 / 中学校・特別支援全体 81人)

②中学校 特別支援学級(合理的配慮を申出た 30人 / 中学校・支援学級全体 51人)
まとめ 暫定 5カテゴリー 「授業参加」「授業参加/学校生活」「学校生活」「授業参加/就学環境調整」「就学環境調整」)
※カテゴリー(暫定) ・授業参加：教材や学習面、学習環境等に関する手立て(主に授業参加に関わる内容) ・学校生活：対人面、行動(計画)面、登校面等に関する手立て(授業に関する内容は「授業参加」を優位) ・就学環境調整：就学に関わる相談等(外部機関を含む) ・その他：上記に該当しないもの

No.	カテゴリー	配慮内容
1	授業参加	板書が苦手である為、たくさんの文字を写すのではなく、プリントの穴埋めのような物がありがたいと伝えた 小学校では量を減らす配慮をしていただいたが、それでも難しかった
2	授業参加	聴覚過敏がある為、イヤーマフを使用したいということ
3	授業参加	①文を考えるとき、タブレットを使用する(書字や漢字の課題とき以外) ②授業参加が困難な事があるので、参加しにくい授業は、部分的に参加可能な事なら、部分的に参加させてもらう ③学習はスモールステップで、「個別か少人数で」の方が合っているので可能な限りそうして欲しい ※これらも主治医と相談し、望ましいとの事で、がっこうへ伝えました
4	授業参加	読み書き(ディスレクシア)について
5	授業参加	騒がしい所が苦手なのでイヤーマフを使わせてもらって良いか?
6	授業参加	初回、本人が漢字テストをするため授業を優先したいと言う。その後、途中退出を嫌がり支援の回数が1回減った。また、今後もそれでは支援やテストはどうなるのか?と伝える。
7	授業参加	文字をたくさん書くことが苦痛無くなので、漢字の宿題で文章を書くときは新出漢字以外を親が全部書く許可をもらいました。

(2) 合理的配慮について

質問12 どのようなことを申し出ましたか。自由にご記載ください。(中学校：特別支援学級)

No.	カテゴリー	配慮内容
1	授業参加 学校生活	提出について、なかなか身支度ができないことについて、たくさん方法を考えて、声掛けもたくさんした方が良く、二年生の時は担任の先生とも連絡を取り合い根気よく頑張ってきました
2	授業参加 学校生活	学校行事の参加の仕方 苦手な科目への参加の仕方 夏季休かの課題の取り組み方 トイレ（スペース、衛生面）の利用のしかた
3	授業参加 学校生活	困っている時に、助けを求められない。救助要請ができないことについて
4	授業参加 学校生活	学校に行きたくない理由を本人から聞き出して、学校に解決策を相談した オンライン授業について、学校が見えなかったり画面が真黒となってしばらく見えなかったりする
5	授業参加 学校生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・算数障害のため計算機の使用</li> <li>→テストは不可、授業中 OK</li> <li>・書くことが苦手なため、タブレットでの入力、板書撮影</li> <li>・時間延長</li> <li>・クールダウンで別室で過ごす</li> <li>・学区外からの通学のためスマホ持ち込み（学校ではあずける）（GPS）</li> <li>・体育着での登校（感覚過敏のため）</li> <li>・入学当初、定期テストでのルビ振りを希望する生徒が何人かいましたが、都立入試でその対応がないため、それに準じて対応できないとの回答でした</li> </ul> <p>都立入試で合理的配慮ができるようになった時も先生方は誰も知りませんでした もっと周知してほしいと思います。支援級なので</p>
6	授業参加 学校生活	不登校期間が長かった為、体力面の不安があり、安定的に通学することが難しい事 勉強への苦手意識が強く、特に書く事への拒否が強い事 書き障害の診断有
7	授業参加 学校生活	登校時間や登校について、自分のペースを促していただいた。

(2) 合理的配慮について

質問12 どのようなことを申し出ましたか。自由にご記載ください。(中学校：特別支援学級)

8	授業参加 学校生活	勉強の取り組み方や、伝える際は短くストレートに、また聴覚よりも視覚優位などお知らせしました。
9	授業参加 学校生活	人とのかかわり合いについて距離感がわからない 聴覚過敏によるイヤーマフの使用 言葉がとっさに出ないときの対応
No.	カテゴリー	配慮内容
1	学校生活	質問3で述べたことです  ：部活で口頭指示は本人忘れてしまうので、ノートかメモで渡して欲しい
2	学校生活	部活動の参加を減らしてもらった
3	学校生活	制服の布がチクチクするから体育着で登校を申し出
4	学校生活	通常級で行っていることをそのまま支援級に適用しないようにルールの変更や学校連絡を都度チェックして、申し入れをしています 今年度であれば制服着用を義務付けされましたが、体育がある際など着替えを行うことは切り替えが苦手な子にとって負担となるため、体育がある日は体操着登校としてもらいました
5	学校生活	疲れてしまった時はクールダウンをさせてもらう 子どもの話をちゃんと聞いてもらう時間を作ってほしい 事前に授業内容や防災訓練を教えてもらう 苦手な音があるなど特性をクラスの生徒に伝えてもらう 遅刻や欠席をロイロノートで連絡させてもらいたい
No.	カテゴリー	配慮内容
1	授業参加 就学環境調整	少人数でのクラス編成
2	授業参加 就学環境調整	オンライン授業
No.	カテゴリー	配慮内容
1	就学環境調整	学校に通うのがものすごく辛いのなら、家で勉強するという選択もあると考えました

(2) 合理的配慮について

質問12 どのようなことを申し出ましたか。自由にご記載ください。(中学校：特別支援学級)

2	就学環境調整	学習についていくことが難しくなり登校拒否をするようになった頃に、学習内容や学校への通い方など相談機関と学校とも連携をとりながら、本人に合わせた環境作りをお願いした。
3	就学環境調整	小学校の時にしてもらっていたことを入学前に伝えて相談した。 集団に入れないうちに学校と関われること。
4	就学環境調整	特性にあった声掛けや 書字障害、 形や数字の 見え方捉えた方について きちんと説明した

(2) 合理的配慮について

質問12 どのようなことを申し出ましたか。自由にご記載ください。(中学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

☑中学校 特別支援教室またはきこえとことばの教室 (合理的配慮を申出た 16人 / 中学校・支援教室等全体 30人)

まとめ 暫定 2カテゴリー

「授業参加」「授業参加/学校生活」

※カテゴリー (暫定)

- ・授業参加：教材や学習面、学習環境等に関する手立て（主に授業参加に関わる内容）
- ・学校生活：対人面、行動（計画）面、登校面等に関する手立て（授業に関する内容は「授業参加」を優位）
- ・就学環境調整：就学に関わる相談等（外部機関を含む）
- ・その他：上記に該当しないもの

No.	カテゴリー	配慮内容
1	授業参加	宿題を一緒に見てもらうことが入るなら、それです
2	授業参加	抜けた授業のノートを借りることが難しいので、借りやすい様にできないか、授業の教科により先生が違うので無理かもしれないと思いながら、軽くお願いした
3	授業参加	授業の内容について、タブレットの方がいい時は使わせて欲しい。 書くことに困難があるため。
4	授業参加	授業中、試験時のタブレットの使用
5	授業参加	定期テスト前の特別支援教室への参加回数を減らした
No.	カテゴリー	配慮内容
1	授業参加 学校生活	LD について、その他困っていることについて日常生活で起こる内容はその時々で変わるので、日々その都度学校の様子や家で本人が困っていた事などを共有していました
2	授業参加 学校生活	登校の方法 朝から登校できない テストが学校で受けられない 好き嫌いが激しく授業に出られない
3	授業参加 学校生活	勉強にどうしてもついていけない子です 成績にはこだわらず、努力する事だけは怠らないよう、本人が自分を追い詰めすぎないように、この先の進路を相談させていただきました
4	授業参加	気持ちを整えるための別室の確保、視覚認知できるようなお知らせの掲示、本人が指示内容を理解できたかの確認、テスト問題文へのルビ、

(2) 合理的配慮について

質問12 どのようなことを申し出ましたか。自由にご記載ください。(中学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

	学校生活	テスト時間の延長。タブレットの活用を制限せずに活用できるようにする。
5	授業参加 学校生活	テスト時間の延長、問題にルビをふる。ICT教育の充実。別室での休憩。
6	授業参加 学校生活	初めてのことや、苦手なことをしなくてはいけない場合に、不機嫌な態度をしてしまうが厳しく指導すると反発してしまうので、穏やかに正してほしい。など
7	授業参加 学校生活	本人の性格を考慮して頂き、どのようにしたら進めやすいか等
8	授業参加 学校生活	注意散漫な時の声掛け、ノートが取れているか確認、プリントや手紙の持ち帰りや提出のチェックなど。声だけの一斉指示は伝わり辛いので、黒板に書くなどして、目からも情報を入れて欲しい
9	授業参加 学校生活	出来ない事を無理強いしない、困っている時の声かけなど。

・中学校で多いものは「学校行事の参加の仕方」「苦手な科目の参加の仕方」「部活動の参加を減らす」「数学の時の計算機の利用」「オンライン授業」等があり、小学校よりも本人の特性を補完するものへの配慮の内容が多かった。

・また「入学当初定期テストでルビ振りを希望する生徒が何人かいましたが、都立入試でその対応がにため、それに準じて中学でも対応できないと回答があった。入試で合理的配慮ができるようになったが情報を先生が知らなかった」との記載があり、中学校での合理的配慮は受験に向けて求めていることも考えられた。

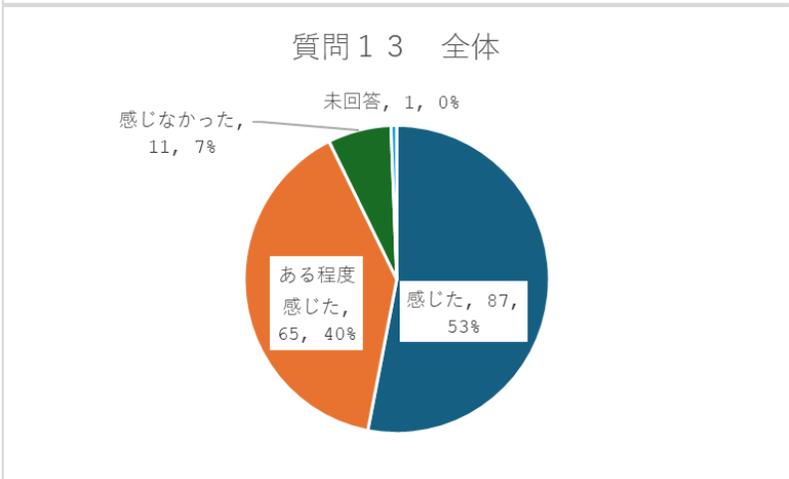
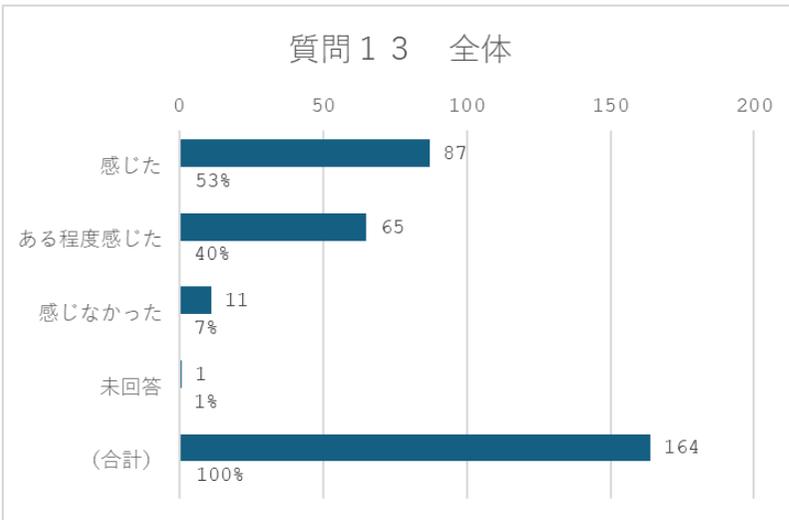
(2) 合理的配慮について

質問13 申し出たことについて、学校と対話を重ねられたと感じましたか。

※質問11で「(合理的配慮を申出たことが) ある」と答えた回答者(164人/小学校・中学校 特別支援全体 349人)を対象

■全体(164人/小・中特別支援全体 349人)

項目	人数	割合
感じた	87	53%
ある程度感じた	65	40%
感じなかった	11	7%
未回答	1	1%
(合計)	164	100%



(中)

★申し出た人は対話したと感じている。



それがどう活かせるか？

評価がされ見直されるか。 ※課題

(2) 合理的配慮について

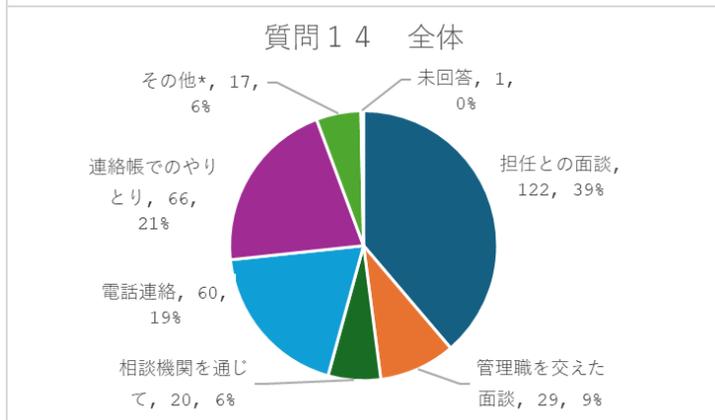
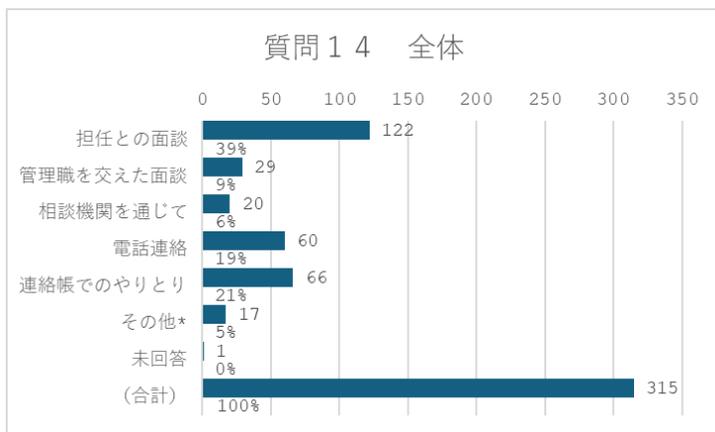
質問14 申し出たことについて、学校とどのような場でやり取りがおこなわれましたか。

※質問11で「(合理的配慮を申し出たことが)ある」と答えた回答者(164人/小学校・中学校 特別支援全体 349人)を対象

※複数回答を含む総数

■全体(164人/小・中特別支援全体 349人) ※複数回答を含む総数

項目	回答数	割合
担任との面談	122	39%
管理職を交えた面談	29	9%
相談機関を通じて	20	6%
電話連絡	60	19%
連絡帳でのやりとり	66	21%
その他*	17	5%
未回答	1	0%
(合計)	315	100%



(小)

・合理的配慮だが管理職は個別的配慮の%とほぼ同率



合理的配慮の周知、理解が不足している ※課題

(中)

★中学だと管理職の割合があがる



受験への影響か。都立入試の配慮？



小→中



ここで認識は上がる。けど

小→中

↑ ここで合理的配慮の周知、啓発必要 ※課題

・小学生では、通常級、特別支援学級、特別支援教室のどこでも、最も多いのは「担任との面談」で40%を占めていた。「管理職を交えた面談」は、普通級は7%、特別支援学級は7%であったが、特別支援教室は8%であった。

・また、連絡帳でのやり取りでは、通常級19%、特別支援学級23%であり、特別支援教室は8%であった。特別支援教室の母数が少ないことが影響しているかの分析が必要。

(2) 合理的配慮について

質問14 申し出たことについて、学校とどのような場でやり取りがおこなわれましたか。

・中学生では、「管理職を交えた面談」が通常級15%、特別支援学級13%、特別支援教室21%であった。小学校よりも中学校が「管理職を交えた面談」が進んでいた。

・小学校も、中学校も4割が担任との面談で、合理的配慮の場であった。校内での共有はされていない状況であり、学年や、進学したときに、合理的配慮が引き継がれないことや予測され、学校内の組織的な合理的配慮の仕組みづくりが必要であることが示唆された。

(2) 合理的配慮について

質問15 最終的にどのような解決策が導き出されましたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援学級)

※質問11で「(合理的配慮を申出たことが)ある」と答えた回答者(164人/小学校・中学校 特別支援全体 349人)を対象

※自由記述のため、未記載者あり

◆小学校(合理的配慮を申出た 118人 / 小学校・特別支援全体 268人)

■小学校 特別支援学級(合理的配慮を申出た 52人 / 小学校・支援学級全体 129人)

No.	カテゴリー	解決策
1	申出内容の合意	宿題を無理にさせない
2	申出内容の合意	同上 ：板書よりも授業の理解を優先させてほしい 集中力の持続が難しいので、前列の席にしてほしい 宿題の量の調整など
3	申出内容の合意	先生と子供本人で宿題の内容や量を調整する
4	申出内容の合意	クールダウンエリアの増設。
5	申出内容の合意	こまめに担任の先生が声掛けをする。困ったときはすぐに電話や連絡帳で担任とやり取りをおこなうようにする。
6	申出内容の合意	上記の対応 ：別室での学習、クラスでひとりだけ違う学習をすること
7	申出内容の合意	質問12のとおり ：感情がたかぶると、泣いたり、大きな声を出してしまう。それを回避できるよう、本人にも早めにもその場から離れたり、大人に相談するよう伝えている。そのことを担任の先生に事前に説明。傾聴してもらえるよう、お願いをしている。
8	申出内容の合意	毎日の学校生活の中で先生からどのようなことをしていただいたのか具体的には分かりませんが、少しずつ言葉が増えたようです
9	申出内容の合意	事前に個別指導をしたり、体育の課題内容(ルール)を見直すと話していたが、どの程度達成されたかは不明。
No.	カテゴリー	解決策
1	申出内容の合意・提供	給食→みんなに応援してもらい牛乳が飲めるようになった。たくさんたべたりしたときは連絡帳にも報告してくれる友達のかかわりは共有して本人も相手も嫌にならない様対応してくれてると思います

(2) 合理的配慮について

質問15 最終的にどのような解決策が導き出されましたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援学級)

2	申出内容の合意・提供	<ul style="list-style-type: none"><li>・先生から子供に声がけをしてもらう事ができた</li><li>・毎日の連絡帳で先生→親、親→先生、又は電話相談をしやすい環境づくりをして下さった</li><li>・担任の先生以外の先生からも、子供からの相談をしやすい環境づくりをして下さった</li></ul>
3	申出内容の合意・提供	書くことが苦手な為、宿題等の書く量を減らしてもらいました また、人前で着替えたりする事を嫌がる為、別室で着替えさせたりしてもらっています
4	申出内容の合意・提供	伝えたことは全て、合理的配慮として、受け入れてもらえた。また具体策は本人の学校での様子をみながら調整してもらえた。
5	申出内容の合意・提供	直しの数を最低限にしてもらった。
6	申出内容の合意・提供	質問12に記載の通り ：質問3の2と3 ―― ：2子供からの相談 1年生なりたての頃、宿題を楽しみにしていたが、まだなかった。 連絡ノートで事情を説明するとすぐに翌日から宿題を出して下さった。 本人は大喜びで、より前向きに学習に取り組むようになった。  3親からの提案 毎日日直をやりたいと聞かず、授業のスムーズな流れを遮断してしまっていた。 面談時に、“日直以外に何か役割を与えたら納得するのでは”と伝えると、翌日からクラス全員に役割が与えられた。 本人は自分の仕事できて日直に固執しなくなった。 ―― →また、普通級にどんどん参加させたいという意向を入学当初から伝えてきました。 1番最初の面談では、本人が活躍できる場はまだ支援学級の方ではないか、普通級まで1人で通い1人で帰ってくる能力がまだ整っていないのではないかという理由で見送りとなりました。 しかし、その後は保護者からの提案のみではなく学校側から、普通級の中休みの遊びの会への参加・音楽授業への参加・社会授業への参加を段階を踏んで提案してくださっています。

(2) 合理的配慮について

質問15 最終的にどのような解決策が導き出されましたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援学級)

		その他の小さいことでも、困り事や課題を常にやりとりして下さり、いつも迅速に配慮してくださっています。
7	申出内容の合意・提供	宿題のかわりカード作成、給食準備中に漢字勉強補助、困りごとが起きたときのカード作成、など
8	申出内容の合意・提供	トイレに付き添いと見守りをいただいています。
9	申出内容の合意・提供	先生が休憩カードを作って下さり、プリントが早く終わった時の余り時間などでそれをそっと机に置けば休憩とする仕組みになった。 休憩を誰にも知られず、わずかな時間であることが子どもにとっては受け入れやすく定着した。
10	申出内容の合意・提供	ご相談させて頂いたとおり、2年生の勉強から始めて頂けました。
11	申出内容の合意・提供	救助要請できるように絵カードをつかう
12	申出内容の合意・提供	その出来事を繊細に理解して頂いた上、全体のバランスをみながら対応していただきました。
13	申出内容の合意・提供	担任の能力も限界があるので、楽しく通えることや、朝活を行い、落ち着いて担任と勉強に向き合う時間を作った
14	申出内容の合意・提供	普段の学校の様子を教えて頂いた上で、アドバイスをもらって、家でできる改善を進めた
15	申出内容の合意・提供	席替えを何度もしてくださったり、眼が合わない様にパーテーションもして下さりました。
16	申出内容の合意・提供	スモールステップで、 通常級への交流を進められている。
17	申出内容の合意・提供	こちらが言った通りに、先生方がご支援して下さいました。
18	申出内容の合意・提供	学校にあるパーテーションを翌日には用意してくれ、本人はうれしそうにしていました。

(2) 合理的配慮について

質問15 最終的にどのような解決策が導き出されましたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援学級)

19	申出内容の合意・提供	席替えについてはすぐに対応していただいた。 余った時間への対応もしていただいているようだ。 リソーススペースについては、教室内にはない状態が続いている。また面談などで確認したい。
No.	カテゴリー	解決策
1	申出内容の合意・提供内容の不調	多少改善されたが、その後も怒鳴られた。また、担任と支援の先生は実施してくれても、その他の専科の教師との共有がないため専科の方で何度も同じ目にあっている。
No.	カテゴリー	解決策
1	対話の不調	移動教室で違うバスや班にするなど、結局行けなかった。 早退を好きなタイミングとする件も、なかなか許可がおりず、許可がおりた時にはもう、通えなくなってしまっていた。
2	対話の不調	担任が上と相談すると言ったまま、何もなされなかった。
No.	カテゴリー	解決策
1	継続的な相談	その時々に合わせて本人へのサポート策や話し合い
2	継続的な相談	課題は日々変化していくのでわからない 継続したサポートが必要と考える
No.	カテゴリー	解決策
1	その他	支援学級での内容の充実
2	その他	転学希望を通してくれました
3	その他	色々な立場の方々に支えられている
4	その他	未だ対応中
5	その他	勉強についていけてるうちに、少人数の支援級で学んだ方が、子供の良さや自己肯定感を維持できるのではと、特別支援学級を勧められました。
6	その他	出席日数が増えた

(2) 合理的配慮について

質問15 最終的にどのような解決策が導き出されましたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

"■小学校

特別支援教室またはきこえとことばの教室（合理的配慮を申出た 66人 / 小学校・支援教室等全体 139人）"

No.	カテゴリー	解決策
1	申出内容の合意	個人的な声掛け
2	申出内容の合意	連絡帳は本人が分かる程度のメモ 宿題は担任と相談した範囲 漢字テストは読み中心 集中するべき時の声かけ
3	申出内容の合意	場所を離れてクールダウン
4	申出内容の合意	タブレットの活用
5	申出内容の合意	できるだけ声をかけます。できない時もありますが。ということでした
6	申出内容の合意	こまめに声をかける
7	申出内容の合意	気がちりやすいので席を前の方にする 全体での指示が通りにくいので個別に声をかけてもらう
8	申出内容の合意	申し出た事について、担任の先生は本人にとって効果的（その後の登校に前向きになれる、疲労感が軽減する）であれば、必要に応じて対応して下さって構いません、と受け取っていただきました。
9	申出内容の合意	在籍学級での配慮と、支援教室で自分の意見や質問等を言えるようになることを最終目標として通ってみる。
10	申出内容の合意	吃音に対する理解を広める事、本人のコンディションでは参加出来ない授業は無理にやらせない(音読、発表等)等、安心する回答を得た。
11	申出内容の合意	小1の時はおかずを別皿にすることで様子見に。 小2の時は診断書があれば弁当持参の許可が出るとのことで、診断書を提出し管理職や給食担当教員との面談も経て、弁当持参を許可しただけだ。  その他は質問3で申し出たことがそのまま許可された。

(2) 合理的配慮について

質問15 最終的にどのような解決策が導き出されましたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

12	申出内容の合意	質問3の内容と同じ  ：書字障害があり、漢字の書き取りの宿題が大きな負荷だったが、かかりつけの病院の心理士の助言で、紙に書く代わりに、書き取りの一部をアプリで指なぞりを繰り返す方法にしてもらえるよう相談し、受け入れていただいた
13	申出内容の合意	本人の納得が得られる対話を行っていただいています。
14	申出内容の合意	発達支援室からの提案だったので、そのまま対応していただけた。
No.	カテゴリー	解決策
1	申出内容の合意・提供	同級生に対して：クラス全体での注意喚起を担当より行なって頂いた 本人はことばの教室へ通う
2	申出内容の合意・提供	・イヤーマフをいつでも使用できる場所（目につく所）に置いてもらう ・一番前の席にしてもらった ・落ち着かない時はカーテンにくるまったり、机の下でうづくまるのを理解してもらえた
3	申出内容の合意・提供	・「学校が怖く不安になる場所」と本人が言うため、母親である私が近くにいたり、校内にいるようにしてもらった ・ドリルは最低限できればよいとしてもらった ・フリースクールに投稿した日は出席日数にカウントしてもらった
4	申出内容の合意・提供	板書は重要箇所だけとしていただいたり、タブレット活用をすすめていただけました
5	申出内容の合意・提供	本人の気持ちを尊重しつつ、できることを、継続してくれた
6	申出内容の合意・提供	ヘルプカードの利用が可能となった こまめにチェックしてくださるようになった
7	申出内容の合意・提供	明らかな誤字以外は基本的に添削なし 添削（書き直し）する場合は、その数が多くならないようご配慮いただきました
8	申出内容の合意・提供	ある程度対応頂けている
9	申出内容の合意・提供	・席を申し出た翌日に一番前にしていただきました。 ・毎日、連絡帳の記入ができているか、確認していただいています。

(2) 合理的配慮について

質問15 最終的にどのような解決策が導き出されましたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

10	申出内容の合意・提供	声をかけて頂き、援助要請の仕方を一緒に考えて練習してもらいました
11	申出内容の合意・提供	ことばの担当の先生が朝の会の時間にクラスをまわってくれ、子供の学年の子達に伝えてくれました 皆に吃音と知ってもらえたこと、症状のことを話してもらえたことで本人も安心した気持ちで通学できてます
12	申出内容の合意・提供	座席を前にし、少しずつ集中できる時間も増えてきたので、成長とともに席を横や後ろに下がるなどしてきています。
13	申出内容の合意・提供	気持ちの落ち着いている時に自分のペースで進めても良いとしてもらい、漢字ドリルは丁寧に書くようになり、少しずつ漢字にも慣れた。
14	申出内容の合意・提供	登校については急がず、特別支援教室への登校のみ、また子供の指導時間外の入室についても許可していただきました。学級に行かずとも特別支援教室へ数時間登校するところから始まり、徐々に時間をのばし、給食だけ教室に行くようになり、その後子供自身が希望する授業のみ学級へ行く、というような提案をしていただき、無理のない範囲で学校へ行けるよう支援していただきました。
15	申出内容の合意・提供	フリガナありのテスト用紙に変更してもらえました。
16	申出内容の合意・提供	<ul style="list-style-type: none"><li>・声かけのタイミングや回数を調整してもらえた</li><li>・担任だけでなく多くの先生に知ってもらえた</li><li>・担任不在時も少し不安がへった</li><li>・サポートルームや保健室にもいばしょができた</li></ul>
17	申出内容の合意・提供	集団での指示は、先生が話す前に肩をトントンしてから話し始める所からスタートしてくださり、大切な話の前に『大切な話をします!』と言って、注視させてから話す事で聞き逃す事がかなり減りました。
18	申出内容の合意・提供	特別支援教室に通うようになったり、 席の位置、クールダウンの為に教室を抜けるなどさせて頂いているようです。
19	申出内容の合意・提供	授業運営の中で子どもと担任でドリル実施のルールを決め、必要に応じて取り組めるようになった。
20	申出内容の合意・提供	上に記入した内容です。 :(質問3に記載した内容と思われる) 給食が食べられない、視線を気にしてしまうので席をうしろの端にして頂きました。
21	申出内容の合意・提供	低学年の頃は担任の先生がかなり丁寧に家から提案した配慮を行ってくれたが、中学年になると担任との相性が悪く揉めることもあった。高学年の担任は相性が良く、面談などで話し合っクラスでの課題や配慮をお互いに共有できている。

(2) 合理的配慮について

質問15 最終的にどのような解決策が導き出されましたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

		特別教室の先生方は毎年とてもよくこちらの話を聞いてくれて、子供にとって必要なことや、足りていない部分の成長のために何度も根気強く教えてくれました。中学で困らないようにと靴紐の結び方の指導や、運動に力を入れてくれました。他人とのコミュニケーションは家では教えてあげられないことだったので、とくに重要視して教えてくれました。
No.	カテゴリー	解決策
1	対話の不調	特になし
No.	カテゴリー	解決策
1	申出内容の合意・提供内容の不調	最初は配慮を感じなかったため、特別支援教室の先生にクラス担任に伝わっているか？確認かくした それから、対応が変わった様に思う
No.	カテゴリー	解決策
1	継続的な相談	現場必要なさそうな姿があるため、様子見になっている
2	継続的な相談	入学した直後のため、今後の様子もしっかり見ていく。
3	継続的な相談	内服治療のようすをみながら協議中。
No.	カテゴリー	解決策
1	その他	まだ解決策が出たというより、解決策に向かっている途中
2	その他	相談機関に相談することを支援の先生からすすめられ、以前にもお世話になった方と話げできた そこで、保護者として、もっと思うことや支援してほしいことを言ってもいいとアドバイスされ、悩んでいた方向性を導いてもらった
3	その他	今まで行っていたことにさらに加えたり、支援する側にこどもの理解をしていただくことで支援の内容が変わったりといったようになったかなど。
4	その他	支援学級への転校を勧められた。 事前に決まった合理的配慮が通常学級で行われていて、それでも子供の状态的に支援学級がっているのなら相談機関に今後のことについて問い合わせをする。 事前に決まった合理的配慮を怠っていることが原因で子供の精神状態が不安定ならば改善を求める。
5	その他	普通級での話ですが、基本的には1人の担任で配慮を取り入れるのは難しいとの事。積極的に転学を進める担任で、出来ることは沢山思い付くのに、こちらからは言い出せなかったです。子供と向き合って貰えず悲しかったです。
6	その他	・お互いの不満を理解し仲直りができた

(2) 合理的配慮について

質問15 最終的にどのような解決策が導き出されましたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

7	その他	塾の体験を通して通塾することに至った。算数の理解度は増したと思う。
8	その他	息子にとって、「自分自身にとって大切で必要な事。だから、みんなが話すんだ!」と言う事を息子が、実際に体験し学び息子なりに納得理解出来てきている。 その1つ1つが、息子にとって自信に繋がっています。
9	その他	まずは、学校生活を楽しく過ごしてもらうことと、自信をなくさないように本人の意思を尊重する。
10	その他	聞こえの言葉と、学校と、親と連絡帳があるので、学校からは、学校の様子を教えて頂いていた。息子は、そんなに困っていないようだった。
11		
12	その他	本人が頑張れるところまでを見極めて、スモールステップで課題を進めることができていると感じます。
13	その他	声掛けを継続しつつ、分からない時は自己申告出来るように伝えてもらい、何度も繰り返していくうちに声掛けをしなくても周り友達の動きを見て自分で判断が出来るようになっていった。

(2) 合理的配慮について

質問15 最終的にどのような解決策が導き出されましたか。自由にご記載ください。(中学校：特別支援学級)

(2) 合理的配慮について

質問15 最終的にどのような解決策が導き出されましたか。自由にご記載ください。

※質問11で「(合理的配慮を申出たことが)ある」と答えた回答者(164人/小学校・中学校 特別支援全体 349人)を対象

※自由記述のため、未記載者あり

◆中学校(合理的配慮を申出た 46人 / 中学校・特別支援全体 81人)

■中学校 特別支援学級(合理的配慮を申出た 30人 / 中学校・支援学級全体 51人)

No.	カテゴリー	解決策
1	申出内容の合意	息子のペースで登校するという解決策
2	申出内容の合意	登校は本人の負担にならない範囲で可とする(毎回の遅刻も可、車での送迎も可) 勉強で書くことは無理じいしない 本人のできる範囲で行う
3	申出内容の合意	オンライン授業
4	申出内容の合意	漢字テストを別日にする
No.	カテゴリー	解決策
1	申出内容の合意・提供	子供の苦手反応が出てしまうポイントを担任、支援級の先生方が把握してくださり、細かいところは本人と学級で都度対応しながら進めてくださっている。大きな課題は事前に相談して預ける
2	申出内容の合意	本人の様子を見守り、助けを求められない場面では声かけをする。どうすれば良いかアドバイスをする。できたらほめる等
3	申出内容の合意	春休みに子供が好きそうな遊びをして良い 他の生徒や先輩からいやなことを言われた時、その生徒に指導 クラス替えで苦手な生徒とクラスを分ける オンライン授業の許可 学校行事に無理やり参加させない
4	申出内容の合意・提供	全体的に板書が苦手な児童が多いと教えていただき、ほとんどがプリントを使用した授業のためとても助かっている 記入する時間が短くなったので授業内容がきちんと入るようになった

(2) 合理的配慮について

質問15 最終的にどのような解決策が導き出されましたか。自由にご記載ください。(中学校：特別支援学級)

5	申出内容の合意	式典など必要な時以外しばらく体操着登校
6	申出内容の合意・提供	学校とは本人の負担軽減が第一であることを理解してもらい、こちらの要望通りの対応をしてもらいました ただ、管理職及び学校の方針として、配慮が足りない環境が多々見られる状況です
7	申出内容の合意・提供	①と② 申し出たとおりにしていただける事になった ③ 数学は（当方が申し出る前から考えていたとの事だったが）習熟度別のクラス分けになった。が、個別的指導はなかなか難しい様子。学習困難な子への支援は不足している  ：①文を考えると、タブレットを使用する（書字や漢字の課題とき以外） ②授業参加が困難な事があるので、参加しにくい授業は、部分的に参加可能な事なら、部分的に参加させてもらう ③学習はスモールステップで、「個別か少人数で」の方が合っているので可能な限りそうして欲しい ※これらも主治医と相談し、望ましいとの事で、がっこうへ伝えました
8	申出内容の合意・提供	相談機関からのアドバイスもあり個別授業をしてもらう時間を作ってもらった。本人に合わせた学習内容を提示してもらい、登校拒否の際には本人が出たい時間だけ登校をするなどした。
9	申出内容の合意・提供	タブレットを活用するなど、必要な配慮をしていただき、大変ありがたかったです。
10	申出内容の合意・提供	こちらの提案に応じてもらっています。
11	申出内容の合意・提供	先に書いたような参加の仕方。
12	申出内容の合意・提供	その子にあった対応
No.	カテゴリー	解決策
1	申出内容の合意・提供内容の不調	解決されていない。毎日、話が長いそうで重要点がわかりにくい様子です。周りも同じ様子でわかりにくさをこぼしていたようです。
No.	カテゴリー	解決策
1	対話の不調	解決策は特段なし

(2) 合理的配慮について

質問15 最終的にどのような解決策が導き出されましたか。自由にご記載ください。(中学校：特別支援学級)

No.	カテゴリー	解決策
1	その他	声かけは常に続け、忘れ物や自分のことをちゃんとできるように心がけ、一緒に寄り添ってきました
2	その他	現在進行中、先月あったことなので
3	その他	まわりの子供たちが使っているもの(品番)を、教えていただき同じものを購入し、持たせました
4	その他	特別支援学級を多人数でクラス編成する学校から少人数でクラス編成する学校へ転出した。
5	その他	先生やPTの先生方が色々考えてくれたことが、子どもが安心して学校に行けるようにことに繋がったと思います。
6	その他	本人がつらいと思う間は手伝い続けました。
7	その他	距離感については、自分が触られたくない事は他の人も同じだと言う事、話をよく聞く、よく聞いてもらう事によってイライラが減ってきました。

(2) 合理的配慮について

質問15 最終的にどのような解決策が導き出されましたか。自由にご記載ください。(中学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

■中学校 特別支援教室またはきこえとことばの教室 (合理的配慮を申出た 16人 / 中学校・支援教室等全体 30人)

No.	カテゴリー	解決策
1	申出内容の合意	放課後先生と一緒に宿題を見てもらう
2	申出内容の合意	担任の先生以外も、おおらかな接し方で不安を取り除くように対応して下さるようになった。
3	申出内容の合意	本人にとってのよりよい指導
No.	カテゴリー	解決策
1	申出内容の合意・提供内容の不調	本人が行きたくなったら、無理せず それだけで良いのか不安であります ますます勉強はできなくなる、わからなくなる、そこをどうすれば良いのか、甘えなのかわからない 待ってて良いのか
2	申出内容の合意・提供内容の不調	合理的配慮として、受け入れてもらえた。が、実践されている配慮もあれば、されていない配慮や支援もある。
3	申出内容の合意・提供内容の不調	なかなか対応が難しいと感じた。
No.	カテゴリー	解決策
1	その他	細かな所は難しい 普通学級でお願いして行ってもらうには人数が多すぎる そこに求めるのであれば固定の支援級に行くのが望ましいと言う風潮
2	その他	学校のスクールカウンセラーの先生と、今後の為に、専門的な機関へ行く予定を立てました
3	その他	プリントをうめるタイプのノートが多かったため、借りることをせずに自分で調べていたようです
4	その他	話し合いを重ねた。

(2) 合理的配慮について

質問 1 5 最終的にどのような解決策が導き出されましたか。自由にご記載ください。(中学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

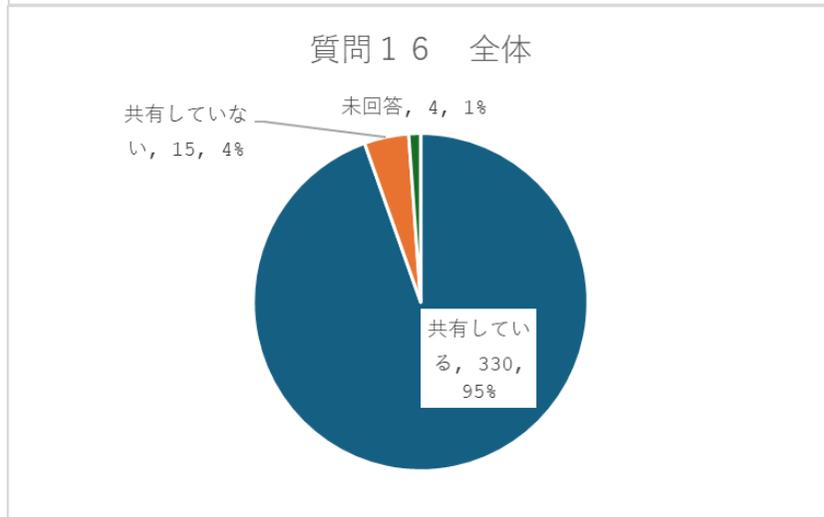
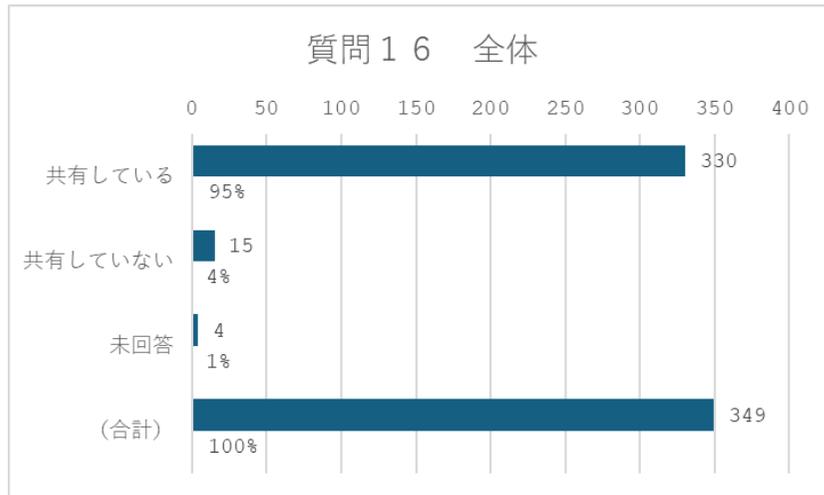
5	その他	<p>小学校1年生から現在(中1)まで、ずっと特別支援教室をつかっていますが、各学年の時の担任の先生、学年主任の先生によって、合理的配慮や発達特性に関する理解の違いがあることが、1番困りました。</p> <p>小学校も中学校も、息子が通っている学校はとても理解のある学校で、出会えて良かった先生がたくさんいます。</p> <p>この小学校でなければ、息子は学校に行けてなかった可能性もあるのかなと思うほど、本当にいい小学校でした。</p> <p>ただ、その中でも、先生によって理解の違いがあるのだなということを感じました。</p> <p>学校全体として、特別支援への共通理解があるといいなと思っています。</p> <p>相談内容についての解決策は、ほぼ希望通りに対応してくれました。</p>
6	その他	<p>合理的配慮は本人の同意が得られないと導入ができないため、まず本人の自己理解が必要という結論に辿りついた。</p>
7	その他	<p>クラス担任との面談はまだしていないのでわからない。支援級に通っているため、本人の特性については前もってある程度伝わっていると思うので、気にかけていただいているとは思う。解決策を導く、と言う段階までまだ達していない。</p>
8	その他	<p>定期テスト前の特別支援教室を週2回を週1回にした</p>

(3) 特別支援学級または特別支援教室、きこえとことばの教室での指導内容等について

質問16 学校が作成した個別指導計画は、保護者と共有されていますか。

■全体

項目	人数	割合
共有している	330	95%
共有していない	15	4%
未回答	4	1%
(合計)	349	100%

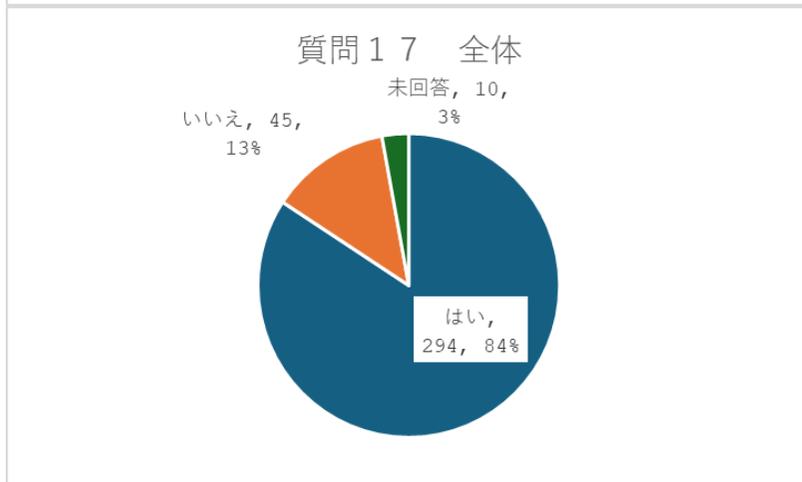
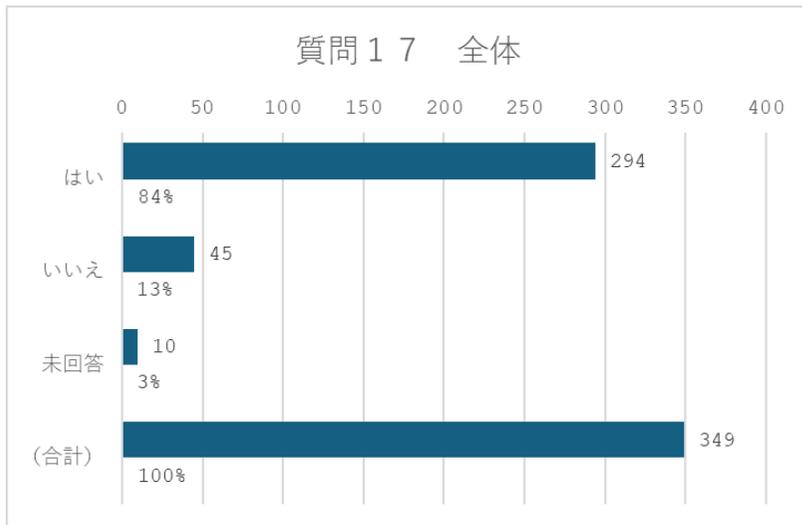


(3) 特別支援学級または特別支援教室、きこえとことばの教室での指導内容等について

質問17 個別指導計画は、学校生活の中でどのような指導や支援がおこなわれているか、具体的にイメージできるものですか。

■全体

項目	人数	割合
はい	294	84%
いいえ	45	13%
未回答	10	3%
(合計)	349	100%



(小)

個別指導計画

- ・「いいえ」の1割をどうしていくか。
- ・ 本当はみんな理解できなきゃいけないのではないか。 ※課題

(中)

中学だと2割がイメージできない  
しかも「学級」でも。

(3) 特別支援学級または特別支援教室、きこえとことばの教室での指導内容等について

質問18 どのような点について具体的にイメージできるものでしたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援学級)

※質問17の詳細を尋ねる質問

※自由記述のため、未記載者あり

◆小学校・特別支援全体(268人/小・中特別支援全体 349人)を対象

■小学校 特別支援学級(129人/小学校 特別支援全体 268人)

	<イメージできる>
1	集団生活を送るうえで周りを気にして行動できるように声かけなどして気をつける
2	本人の特性を理解していただき、対応・指導していただいている
3	話し方の具体例を出す スローステップで練習する等
4	生活面、学習面について、それぞれ短期目標をかかげ、指導内容や工夫することについて、 絵カードを用いることや、 机の位置で集中力を補うなど、 具体的な環境作りについてイメージしやすく作成されていた
5	学校がどのように子供に指導、配慮を下しているかがわかる内容でした
6	嫌なことがあったら先生に報告する
7	先生方が具体的にどんなお声掛けを下しているか、よくわかりました
8	面談や、学校公開でも詳しくご説明いただいております
9	本人の苦手部分やマイナスに感じている事を、集団生活の中でも一緒に過ごしていける様にする為のサポートとして、おおぞらの授業を受ける…という内容でした
10	具体的には、このプリントをやるなど書いてあるわけではない が、取り組む内容や時間など記載され、成長期ではあるので、状況に応じて、変化に合わせてながら支援してくれている
11	できることとできないこと、苦手なことなどどの程度できるかが表記されており、次の目標も定められている
12	個人を特性を理解して、無理なく分かりやすい内容(指導)であったこと
13	本人をやる気出してがんばってくれる楽しんでくれる支援

(3) 特別支援学級または特別支援教室、きこえとことばの教室での指導内容等について

質問18 どのような点について具体的にイメージできるものでしたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援学級)

14	支援の先生が子どもの音楽授業を見にきてくださり、けんばんハーモニカが得意でない様子を察して下さり、ひばりの個別授業でサポート（練習）して下さいました
15	日本語だけでなく生活上の課題（忘れ物多い、人の顔覚ええない）にもチャレンジできる内容です
16	授業のときどのように注意してすすめるか記述されていた
17	「上げきのかかとをふまない」というような一見ささいな点についてもふれられている
18	本人の特性をふまえ、保護者の意向をくんだ形
19	子どもが感じている不安に共感していることを窺うことができました。
20	困ったことを伝えられるよう、質問タイムを作る。 見通しがたてるよう、予定を確認する。 感情をコントロールできた場面で称賛する。
21	相手に気持ちを伝えるために、文の構成を身につけてコミュニケーションをスムーズに行えるようにする。
22	子どもの特性に寄り添っていると感じるものでした
23	年に数回しか目を通さないので、失礼ながらあまり記憶にありません。 ただ、イメージできるものであり本人の課題をしっかりと把握されてるなという印象です。 また、計画書にあるなし関わらず本人の現状に合わせて具体的に動いてくださるのがわかっているので、計画書が例え具体的でなくても問題ないと認識しています。
24	個人の特性をしっかりと理解して指導をおこなっているのが計画表を拝見してよく分かりました。
25	各期間、何を目標に取り組むか。
26	子どもが達成出来そうな支援のやり方を、詳しく書いてくださいました。
27	子どもの意見を尊重し、先生と相談して、子ども自身がやり遂げたいことや出来ることをゴール設定にしたり、得意でないこと、学校生活で障害になることを先生と共有したことで、安心感につなげたこと。
28	ひらがなカタカナの読み書きを支援 集中して聞く
29	本人の課題、改善すべき点
30	声のボリュームを注意する、や、発言していい場面かどうかを見極められるようになる、という点

(3) 特別支援学級または特別支援教室、きこえとことばの教室での指導内容等について

質問18 どのような点について具体的にイメージできるものでしたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援学級)

31	授業中の子どもの取り組み
32	小集団の対話を使った学習
33	学校生活、日常生活での自律や学習内容の定着
34	子供の弱みや強みにあわせた具体的な指導計画
35	授業や生活時にどのような支援があって、どのような目当てがあるのか等、細かく記載くださったので内容が分かりやすかったです。
36	生活の振り返りを通して、友達へのいい行動、悪い行動について意識を向けさせるなど。
37	救助要請の仕方
38	うちは場面緘黙のため話をしないのですが、個別に声かけをする等の「声かけ」というのが実はあまり具体性がないのかもとおもっています。(質問とズレていてすみません)
39	学習の進め方や、子供への対応方法、説明時に気を付けていくことなどが具体的でした。
40	トレーニング内容を把握しやすい。
41	片付けが出来ないので、学校でも家でも意識して声掛けをするようにしている。
42	配慮の方法や、指導目的や指導方法が具体的に書かれていると、先生方が何故こうするのかが見えて安心に繋がる。
43	どれだけ先生がしっかり見てくれているかわかる。
44	偏食の改善。宿題の量、文章ひらがなの補助
45	子供の課題に対して、先生からどのような声かけやサポートをしてもらい、よりよい行動につながるのかがイメージできました。
46	学習面における課題、日常の生活面、友達との社会性における課題について、問題意識、具体的な支援についてイメージできました。
47	友達とのコミュニケーション不足を先生が間に入って子供の気持ちを代弁してくれる。
48	クラスでの過ごし方、学習の目標が書かれているのでイメージしやすい。
49	人の意見を聞く練習 共同で作業する練習 意見を周囲に伝える練習
50	掲示物を減らして集中しやすい環境を作る、注意散漫なときは軽く背中に触れ、落ち着くよう促すなど。
51	どの点を改善するか、また、その改善方法や取り組み
52	子供の特性をよく理解していただけています
53	これからの対策や進め方など、どう対応していくか知る機会になりました。

(3) 特別支援学級または特別支援教室、きこえとことばの教室での指導内容等について

質問18 どのような点について具体的にイメージできるものでしたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援学級)

54	指導内容について、使用する教材や工夫と一緒に記載いただいているのでこちら側も理解しやすいです。 また、学級通信などで実際に工夫されている画像（教材を使用している姿など）を定期的に配信いただけているので、より分かりやすいです。
55	課題に対しての指導支援が具体的でした
56	先生の対応と子どもの態度
57	学校生活において 子どもに合わせた目標が設定されており、イメージできている。
58	学校生活をスムーズに取り組めるような活動内容。 整理整頓の練習。ヘルプ要求のやり方。言って良いことと悪いこと。
59	紙面で配られる
60	学校生活に必要な勉強に対する姿勢、やり方、配慮などがイメージ出来ました。
61	日頃困っていることを克服できるようにアシストしていただくような内容。
62	「困ったときにすぐ援助要請をする」と記載ありました。本人が時々、友達からちょっかいを出されたりして、困る場面があるため、その際、すぐに先生に言えたら、困りごとは軽減すると想像ができました。
63	授業の様子や、給食時の様子、イベントの準備の様子など学校生活におけるすべてについて。
64	
65	子供の細かい困りごとに対して、こういう時はこのように対処するというような事が書いてあった。
66	課題が共感・納得できるものだった
67	本人が苦手な事や、今後成長していくにあたって、取り組んでいきたい内容について、順序立てて考えていただいている。またその進捗についても、日頃の行動に基づいて報告いただいている。
68	在籍学級に戻った際に合理的配慮
69	教室での関わり方
70	どのように過ごすか書いてあった。  <イメージできない、できない部分がある>
1	とても学校の先生が書いているものとは思えないし、校長先生のチェックがこれで下りているのにも疑問だが、あきらめている。放デイの個別支援計画と比べるととても雑に感じる
2	書かれている内容がどこで実施されているのかはわかりません
3	最近、もっと具体的な事を書かなくては効果がないのでは？と思い始めた。

(3) 特別支援学級または特別支援教室、きこえとことばの教室での指導内容等について

質問18 どのような点について具体的にイメージできるものでしたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援学級)

	<その他>
1	登校し1日学校に滞在できるようにしたい
2	<ul style="list-style-type: none"><li>・先生から子供に声がけをしてもらう事ができた</li><li>・毎日の連絡帳で先生→親、親→先生、又は電話相談をしやすい環境づくりをして下さった</li><li>・担任の先生以外の先生からも、子供からの相談をしやすい環境づくりをして下さった</li></ul>
3	大勢の中の一人ではなく、個々として捉えて、マンツーマンでお話をしてくれる
4	手元にないので回答できません。

(3) 特別支援学級または特別支援教室、きこえとことばの教室での指導内容等について

質問18 どのような点について具体的にイメージできるものでしたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

■小学校 特別支援教室またはきこえとことばの教室 (139人/小学校 特別支援全体 268人)

	<イメージできる>
1	先生が子どもに対しての見方を知れた
2	整理整頓で言えば、お道具箱を一緒に確認して持ち物の管理を教えてもらった
3	学校での過ごし方、様子を含め、発語、発言について具体的に教えて頂いた
4	返事ができるようになる、挨拶ができるようになるなど具体的な目標があった
5	個人的な声掛け
6	親が悩んでいる内容をしっかり汲み取って目標を立てられていた 具体的な支援方法で理解しやすかった
7	息子は「他人に自分の意見を言う。困ったことを自ら言う」のが苦手だったので、それをカバーできる内容でした。
8	子どもの良い点を伸ばし苦手な点を成長させていく内容に感じた
9	・授業に集中できていなさそうな際や、準備、片付けなどの切り替えの際に（本人がボーっとしていることがよくあるので）よく気を配って声がけしていただいたり、 板書への配慮など、教員の具体的なサポートが明記されていた点
10	自分からの援助要請 気持ちの言語化
11	具体的な指導、視点が明記されている
12	専門用語などは用いず、具体的な例を書いて下さることでイメージしやすかったです 例：クールダウンの方法、本人のやる気にゆだねる、失敗しても見守るなど
13	本人が不得意とする所が書かれており、明確に記載されていた
14	面談で本人の様子を伺いながら指導計画を頂いたのでわかりやすかったです
15	話し合いの際の簡単なメモ書きをするやり方 を教えてもらっています
16	細かく連絡ファイルで教えていただき、(公開や面談なども) 学校で偶然お会いした時に声をかけていただきました
17	指導目標に対して、具体的にどのようなとりくみをしているのかがわかるように明確に記載されています

(3) 特別支援学級または特別支援教室、きこえとことばの教室での指導内容等について

質問18 どのような点について具体的にイメージできるものでしたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

	例)「姿勢保持」のために足おきをおいたり、クッションを使ってみたり、 まずは実現(成功経験を得る工夫)のためにしていることがかくにできました
18	とても分かりやすくまとめられていた
19	経験上、「本人と相談の上」などの本人にとっての合理的配慮を行っている文面は少し少なく感じられましたが、それは当たり前のことだからなのかと理解 しています その他の支援内容はわかりやすいと思います
20	実際に行っていることを具体的に連絡ノートで知らせてもらっている
21	先生の方針が分かるのがいいです
22	本人がことばの詰まりで困っていることの自身での改善点をあげてもらい、それに対していかにどう快適に過ごせるか
23	具体的な活動(なわとび等)の取り組みについて記載があった 面談にて個別指導計画について説明されたため具体的にイメージができた
24	指導内容
25	面談の際に学校生活支援シートについて説明を受けてどの様に対応してもらっているのかを聞かせてもらう事が出来る
26	席を前の方にさせていただくこと
27	集中力を高められるような指導や、指示の可視化 課題ができた時に褒めて自信につなげる
28	課題に対して、まず○○、次に◎◎、最後に●●とステップアップしていく様子を示してくれました
29	相手への気持ちのかけ方 対応の仕方
30	本人のことばの教室での様子や態度、吃音との向き合い等、細かく報告をいただいています これからどんな指導をしていくか家ではどう接することが大切かわかりやすく教えていただけています
31	主に通級、理解のある担任の先生は通常クラスでも出来る範囲で取り入れてくれる。
32	課題点と具体的な関わりが書いてありました
33	本人が困っている部分を支援教室の先生と担任の先生がそれぞれ苦手を克服するために手助けしてくれているイメージ。
34	言葉の理解に関しては、具体的に○○についてどうアプローチするかを話したり、書面に記載して下さった。
35	指導内容を明記していただき、確認?面談を行い意志の相違がないようにしていただいた。
36	授業の中でどのような手段を使って指導するかなど書かれており、イメージがしやすかった。

(3) 特別支援学級または特別支援教室、きこえとことばの教室での指導内容等について

質問18 どのような点について具体的にイメージできるものでしたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

37	目的を達成するために、どのようなことをすればよいのか具体的な計画になっている。
38	クラスでの様子など先生から聞き取り、生活面での問題などを話したり、ゲームなど
39	無難に子供の気持ちに寄り添った内容だとは思う。授業を見に行ったことがなく現時点では閉鎖的なイメージ。子供はとても満足していて楽しそうです。
40	少しずつできるようになったことからは、次のステップに進める目標を立て直した 学級、わかばと病院での養育とでてわけして解決していくことに役立っていること思う
41	お友達とのコミュニケーションのとり方の勉強や集団生活を送る上で困った時に助けてほしいとサインを出せるようになるなど、子供にとって過ごしやすい環境を作るためのカリキュラムだと思いました。
42	学校での様子を踏まえ、指導内容の状況が記載されていた。
43	学級や支援教室での目標が今現在の課題であり、これから必要なスキルだと感じた。
44	感情の切り替え、気持ちの伝え方、援助要請について活かせるような指導がされており、トラブルを未然に防いで学校生活がより本人にとって良いものとなるよう考えられている。
45	息子は困った事や気持ちを表現することに苦手さがありますが、そこを先生方から声掛けをしてくださる、ということが明示されてあったので、具体的なイメージができました。
46	意識を向けさせたいときは、会話の前に名前を呼ぶ、指示は短くなど。 また、一言スピーチや演習ゲームを通してコミュニケーションの方法を学ぶ等。 その他、指先の運動のためにハサミを使った工作をする等。
47	・グループでの友達とのやり取り
48	苦手な文の構成、算数を中心に本人のペースに合わせて行う。
49	子どもの困り感に対して、どのような原因がありどうトレーニングするのかが書かれていた。
50	学校側の配慮が具体的にかかれていた
51	目標が具体的
52	吃音について自ら説明する場があった時に具体的にどのように説明するのか、そのために話す内容をまとめる作業やスピーチの練習などが計画的に行われていた。
53	高学年になって一斉指導などはできるようになったので、いまは主に社会性の面での困り事をクラス担任、特別教室の先生方と話し合っていて決めている。
54	参観や授業でやったことを細かく教えてくれる。
55	たくさん話し合っていて決めた事なので、イメージはしやすかったです。
56	具体的な場面がかかれていた

(3) 特別支援学級または特別支援教室、きこえとことばの教室での指導内容等について

質問18 どのような点について具体的にイメージできるものでしたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

57	はい
58	予想される困りごとについて、こまかく記載していただきました。
59	体育での苦手に対してどう声をかけて貰えてサポートして貰えるのか 学習面で特に苦手出来ない事にどのように見てもらえるのか
60	課題を通して自分の気持ちを伝える、相手の気持ちを考えるためのコミュニケーション能力を養って行く、という内容でした。
61	支援の内容は、事前に話があったり連絡ノートがあり内容が書いてあるのでわかります。
62	指導計画を見せていただいた。子供が困難な場面になったときに、どう対応するかも、考えてくれていた。
63	おおまかな具体的なシチュエーションが提示され、その時にどのようなことができるようになるのが目標なのか、その目標を達成させる為に、どのように対応していくのかを提示してくださっている。
64	人との関わり方に課題があるので相手の気持ちを想像できるように場面を設定したりして学んだりするのだろうかというイメージできました。
65	通級にて複数人で行うゲームなどで、こどもが得意な種目で負けた場合に怒ってしまうという困りごとに対し、本人へ気持ちをききとり次にいかせるような気持ちの切り替え方などを指導していただきました。
66	本人の成長に合わせて、スモールステップで課題を達成できる内容になっていると感じます。
67	通常級で過ごしやすくするための配慮
68	今後の目標やスケジュール
	<イメージできない、できない部分がある>
1	1年のころは保護者の意見で作成してもらえたが、引き継いだ教諭は前年のほぼコピーで計画が我が子にあっては思えなかった。赤入れして返却したら電話で補足をしていただいたが、ハンコを推して返してもらいたい一心なのが伝わってきて嫌な気持ちになりました。担当される先生によって個別支援計画の内容はすごく左右されるのだと思いました。3年目はまた担当教諭が変わったのですが、その先生からの引き継ぎなので、やはり当初は1年のままのコピーで渡されました。ただ、途中で担当教諭が今フォーカスした方がいいことを把握され、計画時点ではずれていたものの最終的には指導内容が我が子にあったものになりました。
2	授業参観、毎週の文書でのやりとり等(教室、在籍学級、家庭)日々の生活を送るなかでイメージがわきました。中長期的なものとしては学級、教室等のすみわけがわからず今後成長のなかで受けられる指導の選択肢のイメージがわかりづらく感じています。日々成長する子と生活をするなかで進路を選択する難しさを実感しています。
	<その他>
1	子どもが成長していくと同時に、学校や私生活で、戸惑う事があった時に自分で工夫し、考え、いろんな事に対処していける様に指導していただいています

(3) 特別支援学級または特別支援教室、きこえとことばの教室での指導内容等について

質問18 どのような点について具体的にイメージできるものでしたか。自由にご記載ください。(小学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

2	聞こえと言葉の教室での関わりについて、どのような指導をしているのか面談で毎回見せていただくことで把握することができました。ただ、学級ではそのことを反映した関わりや援助はされていませんでした。
3	本人が吃音があることで、学校生活に困る事がないよう、話し方の工夫などを本人の気持ちを第一に寄り添いながら指導して頂いています。

(3) 特別支援学級または特別支援教室、きこえとことばの教室での指導内容等について

質問18 どのような点について具体的にイメージできるものでしたか。自由にご記載ください。(中学校：特別支援学級)

※質問17の詳細を尋ねる質問

※自由記述のため、未記載者あり

◆中学校・特別支援全体(81人/小・中特別支援全体 349人)を対象

■中学校 特別支援学級(51人/中学校・特別支援全体 81人)

	<イメージできる>
1	本人の苦手なところを指摘、改善方法を示して下さっていること
2	子どものペースに合わせ、先をみずえる事がイメージできるものでした
3	教科や生活全般において細かく作成されていました
4	1日の予定の確認して、見通しを持って活動できる様に支援 各個人、学校日誌に前日の予定を記入して、翌日の終わりのその日の振り返りを行う
5	面談にて説明が行われる為、不明な点もなくなり、また、細かな情報共有ができるのでイメージしやすい
6	「指導の手立て、対応の仕方について」が具体的に記載されている為
7	子供の特性や今後の課題などを具体的に提示して指導していく内容であった
8	子供と日々会話をしていることと、支援計画に記載されている本人の自己理解を進めていると言う点が家庭でも促していることと一致している点は、面談の際も含めて確認できている
9	個別授業の実施、声掛け、見守り、日々の連絡帳への細かく知らせてくれている、家では話さないような事も知ることができる
10	マニュアルに従って行われているような事がイメージできる。先生が向き合っただけのオリジナルではない事。
11	定期的に担任、指導員とのやり取りのテキストがあるので
12	個人計画に関しては、学校側とディスカッションして決定しております。 ディスカッションした方針が反映されていたので、必然的にイメージされる計画でした。
13	本人の希望や弱み強みを考慮した計画がたてられている
14	社会に出るための準備として、勉強以外にも整理整頓や身だしなみなどご指導いただけるものであり、家庭でも同じ方向で指導することができ良かったです。
15	学習面や生活面の配慮など

(3) 特別支援学級または特別支援教室、きこえとことばの教室での指導内容等について

質問18 どのような点について具体的にイメージできるものでしたか。自由にご記載ください。(中学校：特別支援学級)

16	学校に行ける 子どもなりに参加できるやり方
17	すべて個別指導計画書に 書いてあるので 面談の度に  <イメージできない、できない部分がある>
1	課題についての目標は具体的ではあったが、取りくみは具体的ではなかったところもある
2	中学校の学校生活支援シートは、主に診断名や医療機関がどうであるかの記入欄が大部分を占めていて、一番伝えたい「現在・将来についての希望」という欄（このタイトルにも少し違和感）が本人と保護者それぞれ1行分しかスペースがなく、見本の用紙には「勉強をがんばる、時間に遅れないようにする」など、学校側の求めるような内容で、なぜそれが難しいのか、それをするためにはどのような苦手さが背景にあるのか、具体的な手立てについてはあまり考えられないまま個別指導計画が作成されている印象で、いつも物足りなさを感じていました 小学校時代、諏訪小なかよし学級はていねいな具体的手立てが提示されていました
3	集中すること、感情コントロール等、課題があるが、「学校でどのような事が原因で本人の感情が乱れたり集中が途切れると思われるのか」「教職員がどのようなタイミングや頻度で、どのような態度や言葉づかい、声かけをするのか（あるいはどのようなことはしないようにするのか）」といった点について、具体的なことは書かれていない 指導手立てについては「声かけする」「クールダウンを促す」「肯定的な言葉で認める」「わかりやすい言葉で説明する」、本人の行動については「前向きな言動」「感情のままの言葉や行動」「クールダウン」とは書かれているが、内容例などは書かれていない 個別性の低い内容と思います 学校によって大分異なる様なので、改善して欲しいです
4	おそらく個別指導計画をまだ目にしていません。
5	これから指導計画をいただくかもしれない。また、いただいてたとしてもあまり印象に残っていない。
	<その他>
1	登校できての内容なので、今の状態とは遠い
2	学校に行っていることが前提の指導計画である 学校に行きたくなくなっている指導計画の見直しはされていない 解決策がわからない

(3) 特別支援学級または特別支援教室、きこえとことばの教室での指導内容等について

質問18 どのような点について具体的にイメージできるものでしたか。自由にご記載ください。(中学校：特別支援学級)

3	子供のペースに合わせて待っている 先生が近く話しかけやすいため、安心して過ごしているようです
4	成長過程に必要な社会性を学び伸ばす

(3) 特別支援学級または特別支援教室、きこえとことばの教室での指導内容等について

質問18 どのような点について具体的にイメージできるものでしたか。自由にご記載ください。(中学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

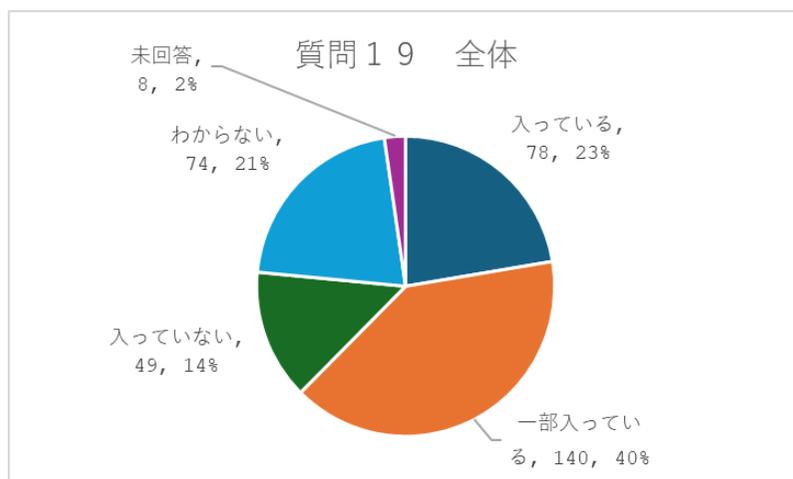
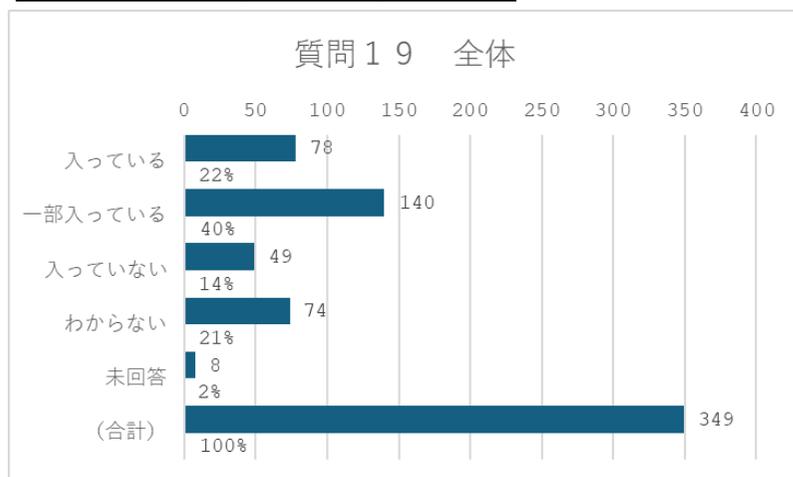
■中学校 特別支援教室またはきこえとことばの教室 (30人/中学校・特別支援全体 81人)

	<イメージできる>
1	小学校の時から内容が一緒なので
2	自分の苦手な所を重点的に学習していくというニュアンスが伝わってきた
3	小学校のときから漢字を覚えるのが苦手という問題を抱えていますが、それに対して、継続的に漢字の習得を目標とする具体的な指導方法が示されていました
4	子どもの課題である点(場面緘黙、意思を伝えることが苦手)に配慮しつつ克服に向けた計画であることがよく理解できました。
5	行動の始まりが遅いので良いスタートが出来るように仕込みをしてるようにイメージしました。
6	実際に困っていることや、本人が困った時に、先生がどのような形で指導するかを細かく書いてくれていた。
7	相手の気持ちを考えることが苦手なので、そこを学べるような支援になっていたと思います。
8	進め方について
9	本人の負担にならないもの
10	日常的に子がなかなかチャレンジできない事、むずかしい事を練習していただいています
11	通級のクラスで友達とのコミュニケーションを具体例で学んでいる。実際、クラスで似たようなことがある時に実行できるようにするため。
12	本人が苦手とする事を改善出来るための計画を考えてくれていた。
13	整理整頓、相手の気持ち理解、自己コントロールについての取り組みが「個別指導計画」に記載されており、内容は具体的で、納得いくものだった。
	<イメージできない、できない部分がある>
1	具体的なイメージができないので、結果から知るすべしかない。また、中学は本人に関わる全ての教員に個人の合理的配慮の必要性、または具体的な合理的配慮について周知されたり情報の共有がされているのかも定かではない。
2	個別指導計画書には、どうなりたいか、そのためのロールプレイなど通して練習する、程度のことは書かれているが、それ以上の具体的なことはあまり書かれていない。 週一の支援級での活動内容をやりとりするためのファイルをみて、具体的に何をしたらがなんとなくわかる。
	<その他>
1	マイペースすぎるので、周りを見て行動する
2	日々の日誌はとても分かりやすいし、助かります
3	先生からの声かけ

(3) 特別支援学級または特別支援教室、きこえとことばの教室での指導内容等について  
 質問19 個別指導計画について、おさまの意見はどのくらい入っていると思いますか。

■全体

項目	人数	割合
入っている	78	22%
一部入っている	140	40%
入っていない	49	14%
わからない	74	21%
未回答	8	2%
(合計)	349	100%



(3) 特別支援学級または特別支援教室、きこえとことばの教室での指導内容等について

質問20-2 (特別支援教室またはきこえとことばの教室利用の方) 特別支援教室またはきこえとことばの教室においてどのような指導を受けていますか。(小学校：特別支援学級)

※自由記述のため、未記載者あり

◆ (小・中共通) 特別支援学級在籍の人 (180人/小・中 特別支援全体 349人) を対象

■ 小学校・特別支援学級 (129人/小・中 支援学級全体 180人)

<交流内容>

No.	カテゴリー	内容
1	校外学習や遠足等	運動会で一緒に種目に参加しています たいこの発表では練習の時から共に活動し発表していました 遠足では共に学習をしている お楽しみ会など準備から本番まで交流をおこなっている
2	校外学習や遠足等	校外学習や遠足などで交流を行っています それに向け計画や準備などを通常級の子供達と判別に分かれて行っているようです
3	校外学習や遠足等	遠足に行ったり、社会科見学に行ったり、同じ学年の子達と遊んだりしています
4	校外学習や遠足等	通学路探検にご一緒させて頂いたようです 本人はとくに交流した、という感覚がないようです もうすこし、通常級のお子さんに関わりがあったら…と思います
5	校外学習や遠足等	まだやっていないのでうんどう会くらいだと思います
6	校外学習や遠足等	遠足や公園探検などで交流し、その時に仲良くなった子が休み時間にも会ってくれたり、学校内での交流につながっていました
7	校外学習や遠足等	運動会の練習や遠足でしか交流がない 低学年な事もあり、通常学級との差を感じていないので、今は交流を望むよりはクラス内で安定する事を望む
8	校外学習や遠足等	運動会等のイベント
9	校外学習や遠足等	運動会の練習や体力テスト
10	校外学習や遠足等	学年全体での町探検や観察学習など。それなりには楽しい、と本人談。すごく楽しいわけではない、とも。
11	校外学習や遠足等	運動会の練習 遠足
12	校外学習や遠足等	運動会、遠足、社会科見学、音楽発表会、交通安全教室、避難訓練、セーフティ教室、防災教室。学童クラブ。

(3) 特別支援学級または特別支援教室、きこえとことばの教室での指導内容等について

質問20-2 (特別支援教室またはきこえとことばの教室利用の方) 特別支援教室またはきこえとことばの教室においてどのような指導を受けていますか。(小学校:特別支援学級)

13	校外学習や遠足等	運動会や発表会、生活の時間などで交流がある
14	校外学習や遠足等	本年度、普通学級から支援学級に転入したので実際に体験した事はまだ少ないのですが、数回あそぼうの会がありました。社会科学見学、遠足、運動会等の行事も普通学級と一緒にいるとお聞きしています。
15	校外学習や遠足等	分かっているものだと、たてわり班・行事・校外学習が共同学習として行ってるものと思っています。それ以外にもあるのかもしれませんが具体的に分かりません。
16	校外学習や遠足等	体育祭の参加
17	校外学習や遠足等	行事や、セーフティー教室などでもよく一緒に学習、もしくは交流している様子を聞いています。 休み時間に先生方が校庭に出て、長縄などグループで遊ぶことを一緒にしてくださり、交流級、支援級の隔たりをなくしてくださっている印象です。 現に子どもからも交流級のお友達の名前はよく耳にしています。
18	校外学習や遠足等	先日は社会科学見学で共に学習させていただきました。 一緒に学ぶ機会があると、大人数が苦手な我が子も無理なく慣れてくれるかなと期待もあります。
19	校外学習や遠足等	現在は校外学習、専科授業、行事のみ共同学習をしている状況です。 その他の授業の交流級への参加は希望者のみとなっています。
20	校外学習や遠足等	まとめ会等
21	校外学習や遠足等	砂場で一緒に遊んだりした。 給食を調理して下さる方へ感謝の気持ちを伝える授業に、一緒に参加した。
22	校外学習や遠足等	通常学級と一緒にの発表会や、他の学校の支援級との交流会で発表をしたり。
23	校外学習や遠足等	通常学級の子たちも含めて縦割り班を作り、公園探索したり遊んだりしてるようです。学校公開では「地域の知っている場所」を混合グループみんなで意見出し合ったりしてました。(そして片付けの段階で自分の意見を言えず泣いて地図をグチャグチャにしました、)
24	校外学習や遠足等	行事などで頻繁に交流をしています。 授業参加は少ないですが、理科などに参加していました。
No.	カテゴリー	内容
1	授業	家庭科、音楽
2	授業	定期的に通常級と一緒に授業を受けている
3	授業	現在は図工や音楽のみ交流学級に参加している。今後は体育もやりたい。と座学以外の授業では、なるべく参加したいと本人が希望し

(3) 特別支援学級または特別支援教室、きこえとことばの教室での指導内容等について

質問20-2 (特別支援教室またはきこえとことばの教室利用の方) 特別支援教室またはきこえとことばの教室においてどのような指導を受けていますか。(小学校：特別支援学級)

		ている。とても意欲的に参加している様子。
4	授業	音楽、家庭科、図工の授業を一緒に受ける。
5	授業	中休みのあそび、音楽、(今週から) 社会です。  遠足や運動会でも交流が多いようです。
6	授業	図工の授業に、無理のない範囲で参加させていただいております。 音楽発表会や運動会、社会科見学にも、通常級のお子さん達と一緒に参加しています。
7	授業	算数や総合の時間に通常学級と一緒に学習している。八ヶ岳やクラブ、委員会でも交流がある。
8	授業	音楽等をやっているのを知っています。
9	授業	音楽や図工などを一緒にやっているようです
10	授業	図工と音楽は通常学級に混ざって授業を受けたり、行事は基本的に一緒に行っている。また、その学年が行事で特別になにか行うようなときには一緒に参加している。クラブや委員会活動も一緒に行っている。
11	授業	生活の授業の一部や校外学習などは交流している
12	授業	図工やモーニングプラス、クラブなど
13	授業	多くの授業を通常学級で行っており、放課後に学童についても、他の児童との交流があるため、特に区別して通っている感覚は本人も親も感じておりません。
No.	カテゴリー	配慮内容
1	あまり行われていない わからない	本人が通常級と特別支援学級を行き来するだけで、あえて交流といった側面は見えてとれません
2	あまり行われていない わからない	運動会や遠足などで通常学級との交流はあるが、 通常授業での共同学習はあまり行われていない 教員配置の問題で仕方ない部分もあると思いますが、 個々の情緒に合わせてもう少し交流の時間があってもいいなと思っています
3	あまり行われていない わからない	まだ直接的な関わりはほぼ無いです

(3) 特別支援学級または特別支援教室、きこえとことばの教室での指導内容等について

質問20-2 (特別支援教室またはきこえとことばの教室利用の方) 特別支援教室またはきこえとことばの教室においてどのような指導を受けていますか。(小学校：特別支援学級)

4	あまり行われていない わからない	実際に見ることが少ないのでよくわからないことが多い 運動会くらいしか見る機会がない
5	あまり行われていない わからない	まだわかりません(転学したばかり)
6	あまり行われていない わからない	現在、聴覚過敏の為、交流、共同学習は行っていない
7	あまり行われていない わからない	よく知らない
8	あまり行われていない わからない	今年度はまだやっていない様です やらない学年もあるし先生の考え次第とも聞いたので、どうなのかなと…と思います
9	あまり行われていない わからない	転学したばかりで分からない。
10	あまり行われていない わからない	いま通っている学校では通常の学級と積極的に交流はしていない。運動会などの行事の練習を一緒にしたりすることはあるが、児童どうしが会話したり関わったりはしない。そもそもそれも年に1、2度なので回数が少ない。
11	あまり行われていない わからない	よくわからない
12	あまり行われていない わからない	わかりません。

(3) 特別支援学級または特別支援教室、きこえとことばの教室での指導内容等について

質問20-2 (特別支援教室またはきこえとことばの教室利用の方) 特別支援教室またはきこえとことばの教室においてどのような指導を受けていますか。(小学校：特別支援学級)

13	あまり行われていない わからない	学校の内容があまりわからない
14	あまり行われていない わからない	不明です。 特別学級へ行ってる間の普通級での授業の補習があるのか心配です。 本人も親も焦りを感じます。
15	あまり行われていない わからない	交流していない
16	あまり行われていない わからない	分からない
17	あまり行われていない わからない	共同で学習する場面はあるが交流している感じはなさそうに思います。
18	あまり行われていない わからない	学校に通えていない。
<学習内容>		
No.	カテゴリー	内容
1	学習内容	弱手な部分のサポート 個別の指導
2	学習内容	3人グループで交流しながらゲーム感覚で学ぶこと 個別指導などもある
3	学習内容	いろんな学年と交流して、意見を交換していいと思います

(3) 特別支援学級または特別支援教室、きこえとことばの教室での指導内容等について

質問20-2 (特別支援教室またはきこえとことばの教室利用の方) 特別支援教室またはきこえとことばの教室においてどのような指導を受けていますか。(小学校：特別支援学級)

4	学習内容	優先順位のつけ方や、 感情のコントロールなど
5	学習内容	違う学年の子たちと同じ課題に取り組んで出来ない子に対してのアドバイスや声掛けがよくできていました
6	学習内容	学年問わず個人のレベルに合わせてグループ学習したり、しっかりと身につくまで繰り返し学習している
7	学習内容	グループで何か 相手の意見が妥当でなくても否定せず、一旦受け止め、そこから
8	学習内容	授業の最後に他の子とゲームをする。 (ゲームを通して他者との適切なコミュニケーションを学ぶ)
9	学習内容	小集団では他学年と行い、個別では今週の生活と学習の振り返りを行う。
10	学習内容	友達を増やせたことが本人の自信に繋がっている様です。
11	学習内容	協力してゲームを行う。
12	学習内容	コミュニケーション
13	学習内容	みんなで話しあい課題を達成する
14	学習内容	バランスボールの上で跳ねながら、キャッチボールをしながら質問に回答していく。 同時いっぺんのことをこなす練習かと思います。
15	学習内容	上級生の優しさや気遣いを直に感じたり、協力して一つの音楽を奏でたり、とても楽しそうに学習している。
16	学習内容	毎回1つのテーマを行い、テーマに向けて協力したり1つの作業を完成させる。
17	学習内容	協力する内容
18	学習内容	日常生活に必要なこと
19	学習内容	上級生に助けってもらったり、他のクラスの担任の先生との関わりがある
20	学習内容	相手への声掛けのやり方や、賑やかな教室でのイライラした気持ちの切り替え。
21	学習内容	コミュニケーションを育む為に、他学年との合同授業、苦手な教科に対する教科の復習や、知育など。
22	学習内容	コミュニケーションを取りながら、楽しみながらゲーム感覚で学んでいくような学習方法
23	学習内容	友達に教えてもらったりすると本人からは聞いた事があります。
24	学習内容	少しずつ練習を重ねて苦手なものを克服する学習
<その他>		
No.	カテゴリー	内容

(3) 特別支援学級または特別支援教室、きこえとことばの教室での指導内容等について

質問20-2 (特別支援教室またはきこえとことばの教室利用の方) 特別支援教室またはきこえとことばの教室においてどのような指導を受けていますか。(小学校：特別支援学級)

1	その他	中学も小学校のように通常級から週数時間通級に通う形式であれば、と願います。学習面よりも人との関わりを重視しているためです
2	その他	たびたび交流会をしているようです
3	その他	栄養士さんありがとう 吃音のお話など
4	その他	入学時は、コロナ禍で交流・共同学習の機会がほとんどありませんでした。 5類なって以降、レクリエーションや地域学習などで交流・共同学習の機会少しずつ増えてきているように感じます。
5	その他	6年生での転籍を視野に、今年ほぼ全教科を交流出来るように少しずつ進めています。
6	その他	他学校の特別支援級の子供達と遊びの交流をしたそうですが、たまたま知り合いの子がいたので楽しかったと言っていますが、知らない子供達ばかりだと楽しくないと言っていたので、交流が何か刺激になったりプラスになったのではない印象を受けました。

(3) 特別支援学級または特別支援教室、きこえとことばの教室での指導内容等について

質問20-2 (特別支援教室またはきこえとことばの教室利用の方) 特別支援教室またはきこえとことばの教室においてどのような指導を受けていますか。(中学校：特別支援学級)

■ 中学校・特別支援学級 (51人/小・中特別支援全体 180人)

<交流内容>		
No.	カテゴリー	内容
1	校外学習や遠足等	運動会など。うちは部活に入って通常級のお友達と仲良くしてもらっています
2	校外学習や遠足等	体育祭や合唱コンクールの時に交流している
3	校外学習や遠足等	交流は、 体育祭での種目で、交流種目があり、 力を合わせて競技を成功させていこうという思いをお互いが持ち取り組んでいる 共同学習は、 各学年での行事に参加するにあたり、 事前に集まり共同学習に取り組んでいる
4	校外学習や遠足等	行事の時に 通常級のクラスに入って参加したことがある
5	校外学習や遠足等	体育祭や校外学習の際、一緒に取り組む 委員会活動
6	校外学習や遠足等	体育祭で通常学級の児童と同じチームを組み、共に活動した
7	校外学習や遠足等	体育祭ではソーランぶしを交流級の子とまざって練習し、当日のならばも交流級のクラスのところでした 1つ競技も出ていました 調べ学習の発表などおこなっているようです
8	校外学習や遠足等	行事以外での通常級との交流は行われていません
9	校外学習や遠足等	・総合の授業で班ごとの調べ学習・発表に参加する ・社会科見学で通常級の班に支援級の生徒が2名ほどずつ入り、事前学習や当日共に行動する
10	校外学習や遠足等	交流においては、子供に合わせ、イベント等で声掛けをしていただいて、本人の意思で参加、不参加を決定している 学習においては、なかなか難しいと思うが、遠足や社会科見学に参加させたいと思うが、難しいとのこと
11	校外学習や遠足等	小学校のときは、自分の得意な教科から参加して、慣れてきたところで数学(熟練度別)に参加しました。その後、すわっこ市場(学校で育てた野菜を実際に売る)で通常級の生徒と友達になれた。その後にスキー教室や宿泊訓練、プールなど色々交流す

(3) 特別支援学級または特別支援教室、きこえとことばの教室での指導内容等について

質問20-2 (特別支援教室またはきこえとことばの教室利用の方) 特別支援教室またはきこえとことばの教室においてどのような指導を受けていますか。(中学校：特別支援学級)

		<p>ることができました。</p> <p>中学校では部活に入ったことで、友達ができたことがきっかけで、これから授業でも交流が始まります。</p>
12	校外学習や遠足等	<p>運動会、音楽会など行事等で交流している。</p> <p>集団、大人数が苦手な子なので交流は少ないがうちの子にはちょうど良いと感じている。</p> <p>就学する際に少人数で交流が少ない学校を希望した。</p>
13	校外学習や遠足等	<p>宿泊学習。</p> <p>球技大会</p> <p>交流会</p>
14	校外学習や遠足等	<p>小中交流会や球技大会などのイベントに参加している。</p>
15	校外学習や遠足等	<p>学年全体の活動の時に</p> <p>交流級のクラスに</p> <p>入れてもらい</p> <p>活動をしている。</p>
16	校外学習や遠足等	<p>縦割りでの校内学習や、授業</p>
No.	カテゴリー	内容
1	授業	<p>総合学習でよく参加しているようです</p> <p>グループでは話し合いなど</p> <p>始めは大きな音が苦手なことが多かったのですが、校外学習では交流グループで行動し仲良くなったようです</p>
2	授業	<p>給食の時間、意見を発表し合う場があるようです</p>
3	授業	<p>交流については体育の授業でポッチャをしたそうです</p> <p>共同学習については、どういう形式で行われているかは分かりません</p>
4	授業	<p>給食など</p>
No.	カテゴリー	配慮内容
1	あまり行われていない わからない	<p>大人数が苦手なので交流学級には参加していません</p>

(3) 特別支援学級または特別支援教室、きこえとことばの教室での指導内容等について

質問20-2 (特別支援教室またはきこえとことばの教室利用の方) 特別支援教室またはきこえとことばの教室においてどのような指導を受けていますか。(中学校：特別支援学級)

2	あまり行われていない わからない	運動会や音楽会などの行事と一緒に活動する場面はあるが、実際には通常級の児童・生徒とは別れて活動しているので、交流とか共同とは言えないと思う
3	あまり行われていない わからない	不登校の為、わからない
4	あまり行われていない わからない	特別支援学級の生徒ともうまくいっていないのに通常クラスの生徒との交流は無理だと思う
5	あまり行われていない わからない	不登校なので交流できていません
6	あまり行われていない わからない	分からない
7	あまり行われていない わからない	よくわかりません。
8	あまり行われていない わからない	交流はない
9	あまり行われていない わからない	交流はしていない
<学習内容>		
No.	カテゴリー	内容
1	学習内容	小集団に慣れる練習。話を聞いたり、自分の意見を言えたり。

(3) 特別支援学級または特別支援教室、きこえとことばの教室での指導内容等について

質問20-2 (特別支援教室またはきこえとことばの教室利用の方) 特別支援教室またはきこえとことばの教室においてどのような指導を受けていますか。(中学校：特別支援学級)

2	学習内容	同年代の生徒との交流が苦手なので、その輪に自分から入っていく術を学習しております。
<その他>		
No.	カテゴリー	内容
1	その他	中学も小学校のように通常級から週数時間通級に通う形式であれば、と願います。学習面よりも人との関わりを重視しているためです
2	その他	少人数クラスというだけで通常級と勉強範囲もあまり変わらず先生方もドライだなと感じました。家庭でのフォローが増え負担に感じています。せっかくの特別支援教室なので、もう少し個人に個人に合わせたアドバイスを本人の力で取り組める目標作り、また本人の力がついていくような指導があるといいなと思います。

(3) 特別支援学級または特別支援教室、きこえとことばの教室での指導内容等について

質問20-2 (特別支援教室またはきこえとことばの教室利用の方) 特別支援教室またはきこえとことばの教室においてどのような指導を受けていますか。

(小学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

※自由記述のため、未記載者あり

◆ (小・中共通) 支援教室等に在籍の人 (169 人/特別支援全体 349 人) を対象

■ 小学校 特別支援教室またはきこえとことばの教室 (139 人/小・中 支援教室等全体 169 人)

No.	カテゴリー	内容
1	社会性・コミュニケーション	個別指導、安心して人との関わり方を習得する
2	社会性・コミュニケーション	通常級に帰った時に本人が過ごしやすいような指導を受けています
3	社会性・コミュニケーション	けいご、相手の気持ち、体幹運動、集中力 (線つなぎ)、自分の気持ちを言葉にする…
4	社会性・コミュニケーション	ソーシャルスキルトレーニング
5	社会性・コミュニケーション	コミュニケーションの学び、個別でのやり取り等
6	社会性・コミュニケーション	ビジョントレーニング、あいさつ、受け答え、自分の気持ちを客観的に考える、相手の気持ちを場面に応じて考える練習
7	社会性・コミュニケーション	運筆練習として線なぞり、色ぬり カードゲーム (トラブル)、トランプを使ったゲーム (お願いトランプ)
8	社会性・コミュニケーション	・コミュニケーションのとり方 ・怒りのコントロール (対処法等)
9	社会性・コミュニケーション	姿勢 態度 苦手な説明の仕方

(3) 特別支援学級または特別支援教室、きこえとことばの教室での指導内容等について

質問20-2 (特別支援教室またはきこえとことばの教室利用の方) 特別支援教室またはきこえとことばの教室においてどのような指導を受けていますか。

(小学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

		聞く力 SOS
10	社会性・コミュニケーション	協調性を身につけるためのグループワークや、ビジョントレーニング等
11	社会性・コミュニケーション	自分の気持ちを表現できる
12	社会性・コミュニケーション	グループ活動は互いのコミュニケーションや自身の感情の抑え方を学び、 個別活動は苦手分野に重点を置いて指導していただいています
13	社会性・コミュニケーション	本人が安心して学校生活を送れるようになるための指導 気持ちのコントロール 気持ちの伝え方等
14	社会性・コミュニケーション	不安や悩みを話しやすい環境を作ってくださっているようです そして自分の考えに対して、周囲の意見も聞ける場を設けてくれているとのこと
15	社会性・コミュニケーション	個別・グループどちらも、本人の感情を引き出してよりよい、今の自分の気持ちや要望・意見を言葉にできるように工夫されているように思います 不安な気持ちが強いタイプのように、安心できる空間となっているのでは？と感じています
16	社会性・コミュニケーション	コミュニケーション 気持ちの切り替え方 運動
17	社会性・コミュニケーション	グループ指導ではゲームなどで楽しく気持ちの切り替え方や人との関わり方を学んでいるようです 個別では自分の気持ちの伝え方、5W1Hで説明できるようになど話し方を中心とした指導を受けています
18	社会性・コミュニケーション	友達との関わり方を遊びの中から学んでいる
19	社会性・コミュニケーション	苦手なこと、漢字などをどうやったら覚えられるか一緒に考える 意思表示の練習 他者と自分のちがいを知るゲームなど

(3) 特別支援学級または特別支援教室、きこえとことばの教室での指導内容等について

質問20-2 (特別支援教室またはきこえとことばの教室利用の方) 特別支援教室またはきこえとことばの教室においてどのような指導を受けていますか。

(小学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

20	社会性・コミュニケーション	TPOにあった声かけ等対人関係の練習 粗大運動など体の動かし方
21	社会性・コミュニケーション	場面にあった言葉づかいを学ぶ バランスボールなどを使い体感を鍛えている
22	社会性・コミュニケーション	SOSが出せるように 意見が言えるように コミュニケーションスキルが上がるトレーニング
23	社会性・コミュニケーション	・相手との関わり方や接し方、協調性等 ・体の動かし方
24	社会性・コミュニケーション	友達とコミュニケーションを円滑にとれるように
25	社会性・コミュニケーション	集中力をつける 分からないことを質問することが出来るようになる
26	社会性・コミュニケーション	・通常学級で困っていることのサポート ・自分の意見の上手な伝え方 ・できることを増やしていく ・困った時に助けを求める方法
27	社会性・コミュニケーション	困った時の対処の仕方など
28	社会性・コミュニケーション	自分の気持ちを理解する 自分の気持ちを相手に伝える
29	社会性・コミュニケーション	本人が苦手とすることや、うまくできないことについてどうしていったらいいかなど、活動を通してわかりやすく伝えてもらっているよう
30	社会性・コミュニケーション	相手にわかりやすく伝える言葉づかい 自分の思い込みではなく、一般的な考え方を身につける

(3) 特別支援学級または特別支援教室、きこえとことばの教室での指導内容等について

質問20-2 (特別支援教室またはきこえとことばの教室利用の方) 特別支援教室またはきこえとことばの教室においてどのような指導を受けていますか。

(小学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

31	社会性・コミュニケーション	伝え方、話し方 伝わらなかった時の対処方法
32	社会性・コミュニケーション	整理整頓 他者との関わり 自分の気持ちへの気づきと表現
33	社会性・コミュニケーション	気持ちの切り替えが苦手なので、本人が落ち込んだ時、悩みがあるときはその解決法として、こんなふうに考えてみるとか？こんなふうにしてみたら？など家族以外の大人からのアドバイスをしてもらっている。人とのやり取りでも伝える事が苦手なので少人数の中で伝える事の経験の積み重ねをした。
34	社会性・コミュニケーション	言葉の理解、言葉で伝える方法、聞き方、やりとりの仕方、について。
35	社会性・コミュニケーション	少人数クラス、個別クラスで気持ちの切り替えができるように、自分の気持ちを言葉や文章にすることで自覚したり、先生からの言葉で気づかされたりするような内容で進めていただいていると思います。
36	社会性・コミュニケーション	集団でのコミュニケーション 体の使い方 集団での多様な方法、視点への気づき 個別のケースワーク
37	社会性・コミュニケーション	思ったことをそのまま言うのではなく、柔らかい言い方で友達に伝える。 人によって気持ちや感じ方が違うことに気付かせる。 自分が感じる気持ちは変えられないが、その後の行動は変えられる。 行動で相手とのコミュニケーションをうまくとることができる。
38	社会性・コミュニケーション	話す順番を意識する。 お友達とのコミュニケーションの仕方。
39	社会性・コミュニケーション	本人のコミュニケーション上の課題をご配慮いただきながら、友達と協力して取り組むことをサポートいただいている。
40	社会性・コミュニケーション	思ったことを言葉にして相手に分かりやすく伝えること。

(3) 特別支援学級または特別支援教室、きこえとことばの教室での指導内容等について

質問20-2 (特別支援教室またはきこえとことばの教室利用の方) 特別支援教室またはきこえとことばの教室においてどのような指導を受けていますか。

(小学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

41	社会性・コミュニケーション	少人数の中で声を出す、会話のやりとりをする。それによりそこではリラックスして話せるようになった。学校でも話せる場ができた クラスで声を出し、発表する、自分の意見をいう練習
42	社会性・コミュニケーション	コミュニケーションや、考え方、捉え方を学んでいるんだろうなと感じます。
43	社会性・コミュニケーション	まずは本児の様子を理解し、関係性を深めていく。ゲームや会話を通して、吃音に対する本児の様子や理解、課題を見つけていく。
44	社会性・コミュニケーション	タイピング練習 発表や気持ちを伝える練習 文でなく単語で答えてしまうので、単語を文で説明するゲーム
45	社会性・コミュニケーション	お友達とのコミュニケーションの取り方や 問題を解く際に、かんがえなしにすすめるのではなく、確認しながら進めたりする方法を学んだりしています。
46	社会性・コミュニケーション	友達、先生とのコミュニケーションの練習。手先の訓練。など。
47	社会性・コミュニケーション	個別及びグループで、コミュニケーションや発言方法などを学んでいる。
48	社会性・コミュニケーション	一番の課題は人との距離感や関わり方だと思っています。支援教室のお陰で本人もかなり成長していると実感していますが、その分、周りのお友達も成長していて、新学年に進むごとに新しい課題が生まれている事も感じています。
49	社会性・コミュニケーション	困りごとの際に相談が出来るという点について、支援教室の先生にも、学級の先生にもきちんと相談する事ができており。きちんと指導できていると思います。
50	社会性・コミュニケーション	今まで一人遊びが好きでやりたい事しか興味を示さなかったが、最近は落ち着いてきており、ルールのもと複数人で遊ぶ楽しさを丁寧に教えてもらい、また、集中力を持続できるようご指導いただいている。
51	社会性・コミュニケーション	グループ指導(色んな場面での人とのやりとり、自分の気持ちの落ち着かせ方など) 個別指導(トラブルがあった時の対処方法などの相談、トラブルを防ぐ為の事前予告(特別な行事がある時など))
52	社会性・コミュニケーション	自分の気持ちを表現し、不安感を軽減するという事を目標として、個別で先生とのゲーム遊びなどを通じてコミュニケーションをとり、気持ちを表現できる場としています。

(3) 特別支援学級または特別支援教室、きこえとことばの教室での指導内容等について

質問20-2 (特別支援教室またはきこえとことばの教室利用の方) 特別支援教室またはきこえとことばの教室においてどのような指導を受けていますか。

(小学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

		小集団では他学年のお子さんと接する中でコミュニケーションの方法を知ったり、実践をしています。
53	社会性・コミュニケーション	グループと個別の時間があり、グループではテーマを決めて話し合うことで、相手の話を聞くことや、自分の意見をわかりやすく伝えることを学んでいます。 個別の時間は、聞き取りのワークをしたり、自分の感情を理解したり、リラックスタイムに遊んだりしています。 低学年のときは、ただただ楽しいという気持ちで通っていたようですが、中学年になり、自己理解が深まり、他者とのコミュニケーションについて学びたいという気持ちが芽生えているようです。
54	社会性・コミュニケーション	・不安な事を先生に話アドバイスをもらう ・授業出できなかったことをもう一度教えてもらう
55	社会性・コミュニケーション	簡単なゲームを用いて、言葉や物事の考え方などを楽しく学ばせてもらってます。
56	社会性・コミュニケーション	現在のめあては【確認をする】。読み飛ばしやうっかりミスが頻発するので、最後に自分で指でなぞったりしながら見直しをする習慣を、様々な教材や成功体験を通して身につける。
57	社会性・コミュニケーション	手先のトレーニング。 自分の意見を表現する。
58	社会性・コミュニケーション	低学年の頃は発話のしやすさなどに力点をおいており、中高学年からは話す内容を整理して話すといった指導にシフトしてきている。
59	社会性・コミュニケーション	友達とのやり取りの練習 体の運動 気持ちの表現
60	社会性・コミュニケーション	話し方の工夫、困った時の対応等です。
61	社会性・コミュニケーション	社会性の成長の促し、自分と他人の感情を大事にするなど
62	社会性・コミュニケーション	子供の課題にそってアドバイス等もらえたり、友達とのやり取りで声かけの練習をしたりしている。

(3) 特別支援学級または特別支援教室、きこえとことばの教室での指導内容等について

質問20-2 (特別支援教室またはきこえとことばの教室利用の方) 特別支援教室またはきこえとことばの教室においてどのような指導を受けていますか。

(小学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

63	社会性・コミュニケーション	学校生活での困り事の聞き取り、吃音をからかわれた時の対応 通い始めなので、これから指導は増えてくる
64	社会性・コミュニケーション	自分の気持ちに気づく、白か黒かではない、中間の選択肢もあることを知る 相手の気持ちを知る
65	社会性・コミュニケーション	話をしている人に注目する。 TPOに応じた態度、声の大きさを保つ。
66	社会性・コミュニケーション	気持ちの切り替え方、わからないことを先生に相談する方法など
67	社会性・コミュニケーション	スピーチ、ロールプレイ、小集団での振る舞いや言葉掛けなどのコミュニケーションスキル
68	社会性・コミュニケーション	気持ちのコントロールの仕方 自分の気持ちの伝え方 声の大きさのコントロール 短期記憶向上の為のトレーニング ビジョントレーニング コーディネイトレーニング 体幹、身体の使い方のトレーニング
69	社会性・コミュニケーション	グループ指導ではカードやボードゲームなどを利用したsstが多いので、本人はとても楽しく通っています。 個別指導では、今の自分の気持ちや状態を先生に伝える、絵本、トランポリンやバランスを取る動き、等行っているそうです。
70	社会性・コミュニケーション	吃音についての学習、他者への対応や考え方、話し方の練習、音読、先生との会話、絵を見て説明、吃音をもった先輩達がどのように考えたり、困ったことに対処してきたかを聞いたりした。
71	社会性・コミュニケーション	吃音についての気持ち、考え、発表の練習、他の吃音の友達とのグループワーク 吃音の場面で困った時の対応
72	社会性・コミュニケーション	個別で指導していただいている。自己理解ができるよう、話し合いやワークシート。自分が困ったときに、周りの人に相談できるよう、話し合いやワークシート、カードゲームなどを通して、自分の気持ちを伝えるのを学んでいる。

(3) 特別支援学級または特別支援教室、きこえとことばの教室での指導内容等について

質問20-2 (特別支援教室またはきこえとことばの教室利用の方) 特別支援教室またはきこえとことばの教室においてどのような指導を受けていますか。

(小学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

73	社会性・コミュニケーション	個別指導とグループ指導。気持ちのコントロールについて等を取り入れてくださっています。
74	社会性・コミュニケーション	少人数のコミュニケーションを学んだり、個別ではていねいに字を書く、という課題を進めていただいています。
75	社会性・コミュニケーション	身体を使った遊びと都度与えられた指示通りに動く事
76	社会性・コミュニケーション	どこで、誰が、何をしたなど、言葉を繋げる練習をしたり、なぞなぞを作ったり(答えに繋がるヒントを自作する)、お題にそった答えを考たり、言葉を上手く使えるように指導してもらっている
No.	カテゴリー	内容
1	特性に合った学習指導	カ行、ガ行の発語ができるような専門的指導
2	特性に合った学習指導	主に国語に関する指導
3	特性に合った学習指導	吃に関しての自己認識 ことばをそっと言い始めたり、ゆっくりと話すこと
4	特性に合った学習指導	めあて：まっすぐに座ろうを子供が実践できるように、見守りつつ、姿勢が崩れた場合や課題困った際に声かけや手助けをしていただいています。
5	特性に合った学習指導	(特別支援教室の頃、コミュニケーション力を伸ばす) ことばの教室 苦手な発音の練習
6	特性に合った学習指導	本人に合わせた学習を行って来ています
7	特性に合った学習指導	発音指導、吃音との向き合い方
8	特性に合った学習指導	個別と集団
9	特性に合った学習指導	発音について重点を置かれていた時は、音読のプリントを使用して自宅でも発音練習をしていました。

(3) 特別支援学級または特別支援教室、きこえとことばの教室での指導内容等について

質問20-2 (特別支援教室またはきこえとことばの教室利用の方) 特別支援教室またはきこえとことばの教室においてどのような指導を受けていますか。

(小学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

	習指導	書取りや読みでは、プリントを使用して書くこと読み取りのスピードも時間を測定して、数字でもできたことを自覚できるように関わってくれていました。
10	特性に合った学習指導	気持ちの切り替え方や書字の手順など本人の苦手な部分を補うような指導をゲームや実践などで行っている。
11	特性に合った学習指導	個別、集団によるきめ細かな指導、声かけ
12	特性に合った学習指導	ことばさがし、読み聞かせ、漢字の読み取り
13	特性に合った学習指導	個別指導と小集団指導
14	特性に合った学習指導	構音障害の対応として、舌の動かし方や発音のトレーニング
15	特性に合った学習指導	今は、息子の苦手な事をおさらいしている。また、息子ときこえとことばの先生が話をして、「今困っている事、苦手な事」を聞いて下さり息子がわかりやすく理解出来る様指導して下さいます。
16	特性に合った学習指導	ひらがなの読み書き
17	特性に合った学習指導	吃音についての学習、他者への対応や考え方、話し方の練習、音読、先生との会話、絵を見て説明、吃音をもった先輩達がどのように考えたり、困ったことに対処してきたかを聞いたりした。
18	特性に合った学習指導	吃音についての気持ち、考え、発表の練習、他の吃音の友達とのグループワーク 吃音の場面で困った時の対応
19	特性に合った学習指導	今は、息子の苦手な事をおさらいしている。また、息子ときこえとことばの先生が話をして、「今困っている事、苦手な事」を聞いて下さり息子がわかりやすく理解出来る様指導して下さいます。
20	特性に合った学習指導	ひらがなの読み書き
21	特性に合った学習指導	語彙を増やす為の課題の取り組み(作文やクロスワード等) 話し方(説明)の訓練→順序立てて話す練習

(3) 特別支援学級または特別支援教室、きこえとことばの教室での指導内容等について

質問20-2 (特別支援教室またはきこえとことばの教室利用の方) 特別支援教室またはきこえとことばの教室においてどのような指導を受けていますか。

(小学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

22	特性に合った学習指導	個別 とても熱心に楽しく、そして真面目に
23	特性に合った学習指導	個人の習得度にあわせてお勉強と、少しの遊びも交えながら楽しんでできるようにしてくださっています。
24	特性に合った学習指導	個別学習において本人固有の特性に合わせた指導を受けている。
No.	カテゴリー	内容
1	その他	通常級に帰った時に本人が過ごしやすような指導を受けています
2	その他	発声練習、吃音への指導、助詞の使い方、媒体を用いて言葉を(文章を)作っていける事など
3	その他	現在小3ですが、小2秋から行かなくなったので、交流や学習はしていません(席だけあります)
4	その他	グループワークと個別指導です 先生方は親身に丁寧に接してくださり、実際に子どもも学校に行きしぶる事がなくなりました ただ、私母自信がどうしたらよいか分からず常に接し方に迷っています
5	その他	個別の際に自分から相談ができるようにじっくりと向き合った。 本人の気持ちを尊重しながら、その気持ちについて言語化する練習をしていた。 悩みや学習状況について聞き取りを行い、対処法について一緒に考えた。
6	その他	本人の苦手とすることを支援していただいている 本人がどのようにしたら前向きになれるか、個人を理解してもらい、できたことをできるようになったことを評価してもらえるのはとても有難い
7	その他	子どもがクラスから離れて支援教室に行くのを嫌がっているため、初回以外はほぼ欠席しています。
8	その他	本人に合わせて指導していただいていると思います。
9	その他	子どもひとりひとりに合わせた指導をしてきている 無理に覚えさせたり、覚えさせようとしないので、子どもも嫌がらずに通えている

(3) 特別支援学級または特別支援教室、きこえとことばの教室での指導内容等について

質問20-2 (特別支援教室またはきこえとことばの教室利用の方) 特別支援教室またはきこえとことばの教室においてどのような指導を受けていますか。

(中学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

■中学校 特別支援教室またはきこえとことばの教室 (30人/小・中支援教室等全体 169人)

No.	カテゴリー	内容
1	社会性・コミュニケーション	コミュニケーション力
2	社会性・コミュニケーション	小集団活動の中で、ゲームなどを通して自分の考えや気持ちを伝える練習をしている 個別では、苦手な漢字の基礎的な練習、担任の先生との会話を通して、考えや気持ちを伝える練習以外にも、定期テストに関する課題の配布物の確認などを通して意欲を引き出していただいた
3	社会性・コミュニケーション	主にコミュニケーションの訓練
4	社会性・コミュニケーション	物、情報の管理、整理 学校生活の困り事、日常の相談等
5	社会性・コミュニケーション	自分の考えや気持ちの表現方法など
6	社会性・コミュニケーション	自分のことを表現する (ジェスチャーでも、また目標や結果を言葉では難しい場合はパーセントで表現)
7	社会性・コミュニケーション	SST、小集団などを通して、コミュニケーションを中心に学んでいます。
8	社会性・コミュニケーション	まだ一度しか利用していないので、自己紹介やお話をしただけだと思います
9	社会性・コミュニケーション	切り替えや、相手の気持ち・立場に立つのが苦手なのでそこを強化できるような支援だと思います。
10	社会性・コミュニケーション	本人にとってどのようにしたら良いか等
11	社会性・コミュニケーション	人とのコミュニケーション、伝え方、振る舞いなど

(3) 特別支援学級または特別支援教室、きこえとことばの教室での指導内容等について

質問20-2 (特別支援教室またはきこえとことばの教室利用の方) 特別支援教室またはきこえとことばの教室においてどのような指導を受けていますか。

(中学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

12	社会性・コミュニケーション	忘れ物をしてしまった時や、わからない時、困った時の対処法や、先生への伝え方。何か不測の事態が起きた時に、キレたり泣いたり怒ったりせずに伝えるロールプレイ。 友達とのやり取りの中で、友達がどう感じるかを意見交換したりして、気づきなっている。
13	社会性・コミュニケーション	困った時の援助要請、 整理整頓 周りの人とのコミュニケーション
No.	カテゴリー	内容
1	特性に合った学習指導	先生と1対1で学習している
2	特性に合った学習指導	話をきいてもらう
3	特性に合った学習指導	計算問題の復習、SST
4	特性に合った学習指導	テスト勉強の際の具体的な取り組み方や、漢字や計算問題の復習。SST。
5	特性に合った学習指導	質問3と被るのですが、その後もロイロノートの活用の整理整頓のサポートしていただきました。
6	特性に合った学習指導	学習の仕方を身につけて、通常学級や家庭で生かす。
7	特性に合った学習指導	コミュニケーション、教材の整理整頓、定期テストに向けての情報整理など
8	特性に合った学習指導	「生活を振り返りながら課題や提出物の確認をする」
No.	カテゴリー	内容
1	その他	会話、ゲーム(プリント)、何に対しての支援なのか 面談時に力をつけて欲しい事、助けて欲しい事を話していましたが、支援内容が変わる事はありませんでした

(3) 特別支援学級または特別支援教室、きこえとことばの教室での指導内容等について

質問20-2 (特別支援教室またはきこえとことばの教室利用の方) 特別支援教室またはきこえとことばの教室においてどのような指導を受けていますか。

(中学校：特別支援教室またはきこえとことばの教室)

2	その他	よくわかりません
3	その他	最近あまり参加できていない

(3) 特別支援学級または特別支援教室、きこえとことばの教室での指導内容等について

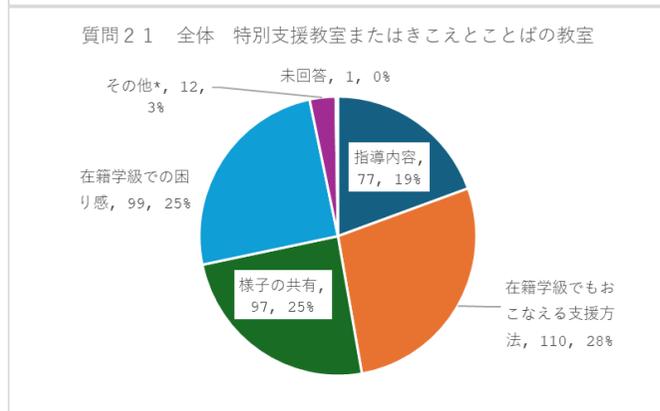
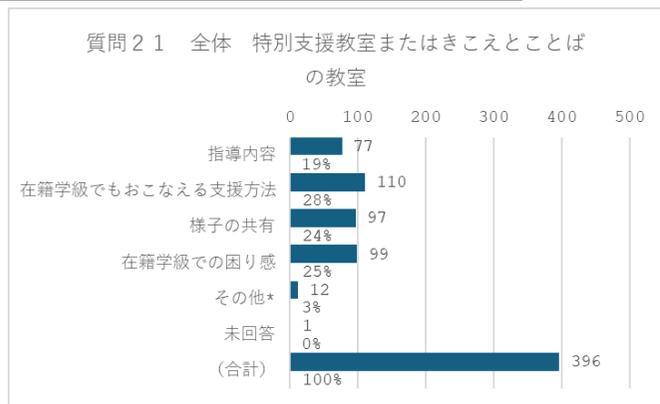
質問2 1 (特別支援教室またはきこえとことばの教室利用の方) 特別支援教室と在籍学級の間で、どのようなことを共有したり、調整したりしてほしいですか? 特に大切だと思うものを選んでください (複数回答可)

※ (小・中共通) 支援教室等に在籍の人 (169人/特別支援全体 349人) を対象

※あらかじめ「複数回答可」とする項目

■全体 (169人/小・中特別支援全体 349人) ※あらかじめ「複数回答可」とする項目

項目	回答数	割合
指導内容	77	19%
在籍学級でもおこなえる支援方法	110	28%
様子の共有	97	24%
在籍学級での困り感	99	25%
その他*	12	3%
未回答	1	0%
(合計)	396	100%



(3) 特別支援学級または特別支援教室、きこえとことばの教室での指導内容等について

質問2 2 (特別支援教室またはきこえとことばの教室利用の方) 特別支援教室の退室にあたって重要と考えることは何ですか。

※複数回答を含む総数

■全体 (169人/小・中特別支援全体 349人) ※複数回答を含む総数

項目	回答数	割合
在籍学級での適応	77	36%
本人の意思	78	37%
特別支援教室の判断	36	17%
保護者の意思	13	6%
その他*	6	3%
未回答	1	0%
(合計)	211	100%

